



NOREN Content Server6.1
Basic ActionTag Guide

NOREN6 Content Server

●販売元 **株式会社のれん**

E-mail:noren_mkt@ashisuto.co.jp

URL:http://noren.ashisuto.co.jp/

※株式会社のれんは、I-ON COMMUNICATIONS Co.,Ltd.の日本国内における総代理店です。

●開発元 **I-ON Communications Co.,Ltd.**

© 2015 I-ON Communications. All rights reserved.



The information contained in this document represents the current view of I-ON Communications on the issues discussed as of the date of publication. Because I-ON Communications must respond to changing market conditions, it should not be interpreted to be a commitment on the part of I-ON Communications, and I-ON Communications cannot guarantee the accuracy of any information presented after the date of publication.



This White Paper is for informational purposes only. I-ON Communications MAKES NO WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, IN THIS DOCUMENT. Other product or company names mentioned herein may be the trademarks of their respective owners. I-ON Communications. 823-39 I-ON Building, Yeoksam-dong, Gangnam-gu, Seoul, 135-080, Korea



本文中には、™、®マークは明記しておりません。
本書で使用される会社名および製品名はそれぞれの会社の商標および登録商標です。
本書に記載されている内容は、株式会社のれんの文書による許可なくして、いかなる手段による使用、複製も禁止します。
Copyright©2015 NOREN Corporation All rights reserved.

Basic ActionTag Guide

I. Basic ActionTag Guide	7
II. アクションタグの文法	8
III. アクションタグの一覧	10
IV. 機能別各タグの説明.....	15
■ 繰り返し処理	15
1. アクションタグ	15
1-1 Action.....	15
1-2 ArtAction	23
1-3 RelatedAction	26
1-4 ForCategory	29
1-5 RangeAction.....	33
1-6 MultiCatAction	39
1-7 For.....	44
1-8 ForTemplate	45
2. ページングタグ	46
2-1 PageNav.....	46
2-2 PageNavList	47
2-3 LimitLength.....	48
2-4 LimitLine	49
■ 条件文	50
3. 条件文	50
3-1 If / Then / Else	50
■ コンテンツタグ	54
4. コンテンツタグ	54
4-1 ArtWriter	54
4-2 ArtWriterEmail.....	55
4-3 ArtLastWriter.....	56
4-4 ArtImage	57
4-5 ArtText	58
4-6 ArtTitle	60
4-7 ArtID	61
4-8 ArtIndex	62
4-9 ArtAddress.....	63
4-10 ArtUrl	65

4-11 ArtCatID	66
4-12 ArtCatTitle	67
4-13 ArtCatAddress	68
4-14 ArtKeyword	69
4-15 ArtLastWriterEmail	70
5. 日付タグ	71
5-1 ArtWriteDate	71
5-2 ArtWriteTime	73
5-3 ArtStartDate	75
5-4 ArtStartTime	77
5-5 ArtEndDate	79
5-6 ArtLastUpDate	81
5-7 Date	83
5-8 Time	85
5-9 DayOfWeek	87
6. アクションフィールドタグ	88
6-1 ArtFieldName	88
6-2 ArtFieldValue	89
6-3 ArtFieldImage	91
6-4 ArtFieldFileNameValue	92
6-5 ArtFieldFileSizeValue	93
7. ページング関連タグ	94
7-1 ArtNext	94
7-2 ArtNextTitle	95
7-3 ArtPrev	96
7-4 ArtPrevTitle	97
7-5 PageNavFirst	98
7-6 PageNavLast	99
7-7 PageNavPrev	100
7-8 PageNavNext	101
7-9 PageNavPrevTerm	102
7-10 PageNavNextTerm	103
■ 一般タグ	104
8. カテゴリタグ	104
8-1 CatID	104
8-2 CatIdSub	105
8-3 CatDirSub	106

8-4 CatSub	107
8-5 CatAddress.....	108
8-6 CatTitle	109
8-7 CountArt	110
8-8 Charset.....	111
8-9 CatType	112
8-10 CatExp.....	113
8-11 CatMetaName.....	114
8-12 CatMetaValue	115
8-13 CatMetalmage	116
8-14 CatIndex	117
9. ディレクトリタグ	118
9-1 RootDir	118
9-2 CurDir	119
9-3 ImgRootDir	120
9-4 ImgCurDir	121
10. その他のタグ	122
10-1 BreakAction	122
10-2 Print	123
10-3 PublishOnly	124
10-4 PreviewOnly	125
10-5 DateFormat	126
10-6 SubString.....	129
10-7 NextCategory	130
10-8 Tplid.....	131
10-9 TplLastUpdateDate.....	132
10-10 TplKind	134
10-11 Replace.....	135
10-12 StopWatch	136
10-13 EscapeXml	137
10-14 URLEncoder.....	138
10-15 DynamicInfo	139
10-16 CurTplid.....	140
■ 変数タグ	141
11. 変数タグ	141
11-1 Define	141
11-2 Record	143

11-3 Write	145
11-4 Remove	146
11-5 アクションタグ内での変数呼び出し	147
■ ビジュアル編集タグ.....	148
12. ビジュアル編集タグ.....	148
12-1 SourceEditTool	148
12-2 ArticleActionTool	149
12-3 ArticleEditTool.....	150
■ コンポーネント	151
13. コンポーネント	151
13-1 コンポーネント ID 指定呼び出し	151
13-2 Custom	152
V. NOREN6 CS で追加されたアクションタグ・属性・予約語・演算子.....	153
VI. 変数が展開できるアクションタグ	155
VII. コンポーネント ID の予約語	157
VIII. エラーリファレンス	158

I. Basic ActionTag Guide

1. 概要

NOREN6 Content Server(以下 NOREN6 CS)では Web ページ生成の基礎として「テンプレート」という仕組みを使用します。

テンプレートは NOREN6 CS 独自のスクリプト言語(ActionTag)で記述を行い、Web ページで表示する部品化した各種情報(ロゴやコンテンツ情報)やレイアウトなどが記述されます。

アクションタグは NOREN6 CS の基本的な仕組みと使用方法を理解した上で使用していただく必要があるため、各『User's_Guide』をあわせて参照してください。

2. 補足

NOREN6 CS ではコンテンツとアーティクルという概念がありますが、本ドキュメントではアーティクルも含めて「コンテンツ」と表記しています。

コンテンツとアーティクルの違いにつきましては『NOREN6_04_User's_Guide_SiteManager』を参照してください。

II. アクションタグの文法

1. アクションタグの基本的な構文

アクションタグは NOREN6 CS 独自のタグで、HTML ページ生成の基礎となるテンプレート内で使用します。
基本的な構文は以下の通りです。

・基本的な構文

```
[[--Tag 名,属性名 1:属性値 1,属性名 2:属性値 2,...--]]
```

・繰り返し表示する場合の構文

```
[[--Tag 名 Start,属性名 1:属性値 1,属性名 2:属性値 2,...--]]
```

繰り返し表示する内容

```
[[--Tag 名 End--]]
```

・コメントの構文

```
[[---コメント内容---]]
```

全てのアクションタグは上記の基本的な構文と同様に「[[--」と「--]]」で囲まれる形式で使用し、コメントは「[[---」と「---]]」で囲まれます。

アクションタグは単独で使用するタグと、繰り返し表示するタグに分類され、繰り返し表示するタグを記述する場合はアクションタグ名の後ろに「Start」「End」の予約語を記述します。アクションタグは 1 つ以上の属性を持っており、各属性はアクションタグ名の後ろに「,」を区切り文字として記述します。**区切り文字「,」自体を文字列として指定したい場合は、「\,」または「\\,」のように「\」（半角）または「\\」でエスケープしてください。**複数属性が存在する場合は、順序を意識する必要はありません。（言語環境や使用するフォントにより、「\」または「\」（半角）」と表示されます。）

なお、テンプレートやコンポーネントに記述された改行や Tab は、生成される HTML ページなどにそのまま出力されます。

HTML ページなどに出力したくない改行や Tab は、テンプレートやコンポーネント上に記述しないようご注意ください。（記述する場合は置換を行なうアクションタグを使用し、改行や Tab を除去することも可能です。）

Note パフォーマンスに影響するタグ

「Start」「End」の予約語を使用する繰り返し表示するタグを多用すると、配信時のページ生成や、プレビューなどのパフォーマンスに影響があります。

search や row などのパラメータを使用し、取得するデータ量を制限することで、パフォーマンスの低下を防ぐことができます。

Note コンテンツタグとカテゴリタグ

コンテンツタグは、基本的にコンテンツ（アーティクル）の情報を取得するためのアクションタグです。ストーリーテンプレートに記述する場合は特に問題ありませんが、コンテンツタグをリストテンプレートに記述する場合、「ActionStart」「ActionEnd」内に記述する必要があります。

カテゴリタグは、カテゴリの情報を取得するためのアクションタグです。「ForCategory」などでカテゴリの情報を取得する場合などに使用します。

Note アクションフィールドのデータの取り扱い

NOREN6 CS では、アクションフィールドにデータを入力せずに登録した場合、データは null 値として格納されます。

また、条件文 IF～Then～Else の is 属性での比較を行う際は、値が入力されていないアクションフィールドは空文字(長さが 0 の文字列)に変換されて比較されますので、ご注意ください。

III. アクションタグの一覧

1. NOREN6 CS で使用するアクションタグ

以下は NOREN6 CS で使用可能な全てのアクションタグです。
各アクションタグでの詳細な説明およびオプションに関しては、IV章以降をご確認ください。

分類	タグ名	オプション	説明
繰り返し処理 (アクションタグ)	Action (P.15)	category, row, size, search, sort, skip, index, series / nid, continue, below, countid	指定したカテゴリからコンテンツを取得し、一覧表示します。
	ArtAction (P.23)	category, row, size, sort, skip, index	Action (Start) タグの中に記述を行い、下位コンテンツを繰り返し表示します。
	RelatedAction (P.26)	category, row, size, sort, skip, index	Action (Start) タグの中に記述を行い、関連コンテンツを繰り返し表示します。
	ForCategory (P.29)	search, row, sort, type	カテゴリ情報を一覧表示します。
	RangeAction (P.33)	category, row, size, search, sort, skip, index, below	ページナビゲーションのタグと組み合わせて前後のコンテンツを表示します。
	MultiCatAction (P.39)	catids, row, size, search, sort, skip, index, series / nid	指定した複数のカテゴリからコンテンツを取得し、一覧表示します。
	For (P.44)	name, in, from, to, step	Start / End タグに囲まれた部分を繰り返し実行します。
	forTemplate (P.45)	category	特定カテゴリにあるテンプレート情報を表示します。
繰り返し処理 (ページングタグ)	PageNav (P.46)	nid, term	コンテンツをリスト表示する際に、ページを分割して表示するページナビゲーションを表示します。
	PageNavList (P.47)	pagediv, curpageformat, pageformat	コンテンツをリスト表示する際に、ページを分割して表示するページナビゲーションを表示します。
	LimitLength (P.48)	series / nid, length	文字数で区切ってページを分割して表示するページナビゲーションを表示します。
	LimitLine (P.49)	series / nid, length	ラインで区切ってページを分割して表示するページナビゲーションを表示します。
条件文	If / Then / Else (P.50)	exist, is, type	条件により分岐処理を行います。
コンテンツタグ	ArtWriter (P.54)	depth, parent	コンテンツの登録者名を表示します。
	ArtWriterEmail (P.55)	depth, parent	コンテンツの登録者の E メールを表示します。
	ArtLastWriter (P.56)	depth, parent	コンテンツの最終変更者の名前を表示します。
	ArtImage (P.57)	depth, parent	コンテンツのサムネイル(画像)のパスを表示します。

	ArtText (P.58)	length, action, depth, parent	コンテンツの本文を表示します。
	ArtTitle (P.60)	length, depth, parent	コンテンツのタイトルを表示します。
	ArtID (P.61)	depth, parent	コンテンツの ID を表示します。
	ArtIndex (P.62)	depth, parent	コンテンツに対して連番を振ります。
	ArtAddress (P.63)	category, form, id, depth, parent, tplid	コンテンツのアドレス情報を表示します。
	ArtUrl (P.65)	depth, parent	コンテンツの「URL リンク」に指定した URL を表示します。
	ArtCatID (P.66)	なし	コンテンツが登録されているカテゴリのカテゴリ ID を表示します。
	ArtCatTitle (P.67)	category	コンテンツが登録されているカテゴリのカテゴリ名を表示します。
	ArtCatAddress (P.68)	category, form, tplid	コンテンツが登録されているカテゴリのリストページのアドレス情報を表示します。
	ArtKeyWord (P.69)	depth, parent,	コンテンツのキーワードを表示します。
	ArtLastWriterEmail (P.70)	depth, parent	コンテンツの最終変更者の E メールアドレスを表示します。
コンテンツ タグ (日付タグ)	ArtWriteDate (P.71)	format, pattern, locale, depth, parent	コンテンツの登録日を表示します。
	ArtWriteTime (P.73)	format, pattern, locale, depth, parent	コンテンツの登録時刻を表示します。
	ArtStartDate (P.75)	format, pattern, locale, depth, parent	コンテンツの掲示開始日を表示します。
	ArtStartTime (P.77)	format, pattern, locale, depth, parent	コンテンツの掲示開始時刻を表示します。
	ArtEndDate (P.79)	format, pattern, locale, depth, parent	コンテンツの掲示終了日を表示します。
	ArtLastUpdate (P.81)	format, pattern, locale, depth, parent	コンテンツの最終変更日を表示します。
	Date (P.83)	format, pattern, locale, dday	配信もしくはプレビューされた日付を表示します。
	Time (P.85)	format, pattern, locale	配信もしくはプレビューされた時刻を表示します。
	DayOfWeek (P.87)	pattern, locale	配信もしくはプレビューされた曜日を表示します。
コンテンツ タグ (アクション フィールド)	ArtFieldName (P.88)	field, depth, parent	アクションフィールド名を表示します。
	ArtFieldValue (P.89)	field, length, depth, parent	アクションフィールドの値を表示します。
	ArtFieldImage (P.91)	field	アクションフィールドのアップロード画像ファイルを表示します。

	ArtFieldFileNameValue (P.92)	field, depth, parent	File / Image タイプのアクションフィールドにアップロードしたファイル名を表示します。
	ArtFieldFileSizeValue (P.93)	field	アクションフィールドのアップロードファイルのサイズを表示します。
コンテンツタグ (ページング 関連タグ)	ArtNext (P.94)	form, tplid	ページナビゲーションで、次のコンテンツのアドレス情報を表示します。
	ArtNextTitle (P.95)	length	ページナビゲーションで、次のコンテンツのタイトルを表示します。
	ArtPrev (P.96)	form, tplid	ページナビゲーションで、前のコンテンツのアドレス情報を表示します。
	ArtPrevTitle (P.97)	length	ページナビゲーションで、前のコンテンツのタイトルを表示します。
	PageNavFirst (P.98)	なし	ページナビゲーションで、最初のページのアドレス情報を表示します。
	PageNavLast (P.99)	なし	ページナビゲーションで、最後のページのアドレス情報を表示します。
	PageNavPrev (P.100)	なし	ページナビゲーションで、前のページのアドレス情報を表示します。
	PageNavNext (P.101)	なし	ページナビゲーションで、次のページのアドレス情報を表示します。
	PageNavPrevTerm (P.102)	なし	ページナビゲーションで分割された、前のタームのアドレス情報を表示します。
	PageNavNextTerm (P.103)	なし	ページナビゲーションで分割された、次のタームのアドレス情報を表示します。
一般タグ (カテゴリ タグ)	CatID (P.104)	category	カテゴリ ID を表示します。
	CatIDSub (P.105)	category, skip, separator	最上位カテゴリから指定カテゴリまでのカテゴリ ID のパスを「/」で区切って表示します。
	CatDirSub (P.106)	category, skip, separator	最上位カテゴリから指定カテゴリまでのディレクトリパスを「/」で区切って表示します。
	CatSub (P.107)	category, skip, separator, style, metaid	現在表示しているページがどのカテゴリに位置するのを確認するため、現在のカテゴリから最上位カテゴリまでを「CatA > CatB > CatC > CatD」形式で表示します。(パンくずリスト)
	CatAddress (P.108)	category, form, tplid	カテゴリに登録されているリストページの URL を表示します。
	CatTitle (P.109)	category	カテゴリ名を表示します。
	CountArt (P.110)	category, below	カテゴリに登録されたコンテンツ数を表示します。
	Charset (P.111)	category	カテゴリに指定された文字セットを表示します。
	CatType (P.112)	category	カテゴリのタイプを表示します。

	CatExp (P.113)	category	カテゴリの説明を表示します。
	CatMetaName (P.114)	category, metaid	カテゴリのメタ情報名を表示します。
	CatMetaValue (P.115)	category, metaid	カテゴリのメタ情報値を表示します。
	CatMetaImage (P.116)	metaid	カテゴリの画像タイプのメタ情報を表示します。
	CatIndex (P.117)	なし	カテゴリに対して連番を振ります。
一般タグ (ディレクトリ タグ)	RootDir (P.118)	なし	最上位のディレクトリ情報を表示するときに 使用します。
	CurDir (P.119)	category	現在のディレクトリ情報を表示するときに使用 します。
	ImgRootDir (P.120)	なし	ファイルサーバ(イメージサーバ)の最上位の ディレクトリ情報を表示するときに使用します。
	ImgCurDir (P.121)	category	ファイルサーバ(イメージサーバ)の現在の ディレクトリ情報を表示するときに使用します。
一般タグ (その他の タグ)	BreakAction (P.122)	endmessages	Action (Start) の繰り返し処理の途中で、 明示的に次のコンテンツに移動させます。
	Print (P.123)	なし	Start と End の間の内容をそのまま表示 します。
	PublishOnly (P.124)	なし	配信時のみ Start と End の間の内容が表示 されます。
	PreviewOnly (P.125)	なし	プレビュー時のみ Start と End の間の内容が 表示されます。
	DateFormat (P.126)	from, to, locale, op, opvalue	文字列を日付書式に変換します。
	Substring (P.129)	数字 1～数字 2	Start / End タグに囲まれた対象文字列を 指定した文字数で抜き出します。
	NextCategory (P.130)	endmessage	ForCategory (Start) の繰り返しの処理の途中 で、明示的に次のカテゴリに移動させます。
	Tplid (P.131)	category, form, kind	テンプレート ID を表示します。
	TplLastUpdateDate (P.132)	pattern, format, locale	リスト、ストーリーテンプレートの最終変更日 を表示します。
	TplKind (P.134)	なし	タグが作成されたテンプレートが リストテンプレートか、ストーリーテンプレートかを 区分します。
	Replace (P.135)	regex, to	Start / End タグに囲まれた対象文字列の 中で、指定された正規表現に一致する全ての 部分文字列を置換します。
	StopWatch (P.136)	なし	プレビュー開始時からの経過時間をミリ秒単位 で出力します。
	EscapeXml (P.137)	なし	配信時、XMLファイル形式に変換します。
	URLEncoder (P.138)	なし	StartとEnd 間に内容をサイトカテゴリに設定 されたエンコード方法に変換します。

	DynamicInfo (P.139)	name	Dynamicサービス情報を表示します。
	CurTplid (P.140)	なし	タグが記述されたテンプレートのIDを表示します。
変数タグ	Define (P.141)	name, value, update, write	Start と End の間の内容を変数として宣言します。 アクションタグが記述してある場合は、変換せずに文字として宣言されます。
	Record (P.143)	name, value, update, write,	Start と End の間の内容を変数として宣言します。 アクションタグが記述されている場合は、変換された内容が変数として宣言されます。
	Write (P.145)	name, action	変数の値を表示します。
	Remove (P.146)	name	変数を削除します。
	アクションタグ内での 変数呼び出し (P.147)	[%変数名%] または 変数名	変数で指定した内容をアクションタグの記述内で呼び出します。
ビジュアル 編集タグ	SourceEditTool (P.148)	なし	プレビュー画面でテンプレートソースを変更できます。
	ArticleActionTool (P.149)	category, id	プレビュー画面でアーティクルを別のアーティクルに切り替えます。
	ArticleEditTool (P.150)	なし	プレビュー画面で特定のアーティクルに対して、コンテンツ情報を変更したり、アーティクルの設定値を変更することができます。
コンポーネント	コンポーネント ID 指定 呼び出し (P.151)	parameter	コンポーネント ID を直接アクションタグとして記述し、コンポーネントを呼び出します。
	Custom (P.152)	tag, parameter	コンポーネントを呼び出します。

表 III-1 : NOREN6 CS で使用するアクションタグ

IV. 機能別各タグの説明

タグを機能別に分類し、各タグの詳細を説明します。

■ 繰り返し処理

繰り返しコンテンツを表示する際に使用されるアクションタグです。
コンテンツを一覧で表示する際などに使用します。
属性ではカテゴリ ID の指定、表示するコンテンツの件数、検索条件、並び替えの順序などを指定することができます。

1. アクションタグ

1-1 Action

指定したカテゴリからコンテンツを取得し、一覧表示します。

属性	属性説明
category	コンテンツを表示するカテゴリ ID を指定します。 属性名、カテゴリ ID は省略可能です。カテゴリ ID を指定しない場合は現在のカテゴリを意味します。
	●予約値 ./ : 現在のカテゴリ ../ : 1 つ上のカテゴリ ※カテゴリ ID を直接指定するよりパフォーマンスは低下します。
	●例 1 us_ion カテゴリのコンテンツを表示します。 [[--ActionStart,category:us_ion--]] 繰り返し表示する内容 [[--ActionEnd--]]
	●例 2 us_ion カテゴリのコンテンツを表示します。属性名は省略可能です。 [[--ActionStart,us_ion--]] 繰り返し表示する内容 [[--ActionEnd--]]
	●例 3 現在のカテゴリのコンテンツを表示します。属性名・カテゴリ ID を省略します。 [[--ActionStart--]] 繰り返し表示する内容 [[--ActionEnd--]]

row	表示するコンテンツの数を指定します。 指定しない場合は 1 件のコンテンツのみを表示します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●予約値 * : 全てのコンテンツを表示します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●例 コンテンツを 5 件表示します。 <pre>[[--ActionStart,row:5--]] 繰り返し表示する内容 [[--ActionEnd--]]</pre>
size	取得するコンテンツ数を指定します。 ページナビゲーションと組み合わせて使用します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●予約値 * : 全てのコンテンツを取得します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●例 1 10 件のコンテンツを取得します。row は指定されていないため、1 件だけ表示されます。 <pre>[[--ActionStart,size:10--]] 繰り返し表示する内容 [[--ActionEnd--]]</pre> ●例 2 10 件のコンテンツを取得し、3 件を表示します。 <pre>[[--ActionStart,size:10,row:3--]] 繰り返し表示する内容 [[--ActionEnd--]]</pre>
search	検索条件を指定します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●フィールド * 数値形式 id : コンテンツの ID parentid : 上位のコンテンツ ID priority : コンテンツの重要度 * 文字列形式 keyword : コンテンツのキーワード subject : コンテンツのタイトル reportid : コンテンツの登録者 ID ※ _(underscore) は、文字列の検索キーワードとして使用できません。

	<p>* 日付形式</p> <p>writedate : コンテンツの登録日 (YYYYMMDD 形式)</p> <p>writetime : コンテンツの登録時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>startdate : コンテンツの掲示開始日時 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>starttime : コンテンツの掲示開始時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>enddate : コンテンツの掲示終了日時 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>endtime : コンテンツの掲示終了時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>日付の指定は「20120101」(年 4 桁 月 2 桁 日 2 桁)</p> <p>時間の指定は「180000」(時間 2 桁 分 2 桁 秒 2 桁)で指定します。</p> <p>* その他</p> <p>#exist : search 条件フィールドの値が存在するかどうか</p> <p>If タグの exist 属性と同じ効果があります。</p> <p>必ず #exist=[フィールド] の形式で指定します。</p> <p>[フィールド]には parentid, keyword 以外のフィールド(アクションフィールド ID を含む)が指定可能です。</p> <p>[アクションフィールド ID] : アクションフィールドの値</p> <p>アクションフィールドは以下のタイプが使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •String / LongString •Number / Currency * 数値形式 •Boolean * 条件値 : T / F •Date * 日付形式 <ul style="list-style-type: none"> * 完全一致する条件値 : 20120101-000000 (年 4 桁月 2 桁日 2 桁-時間 2 桁 分 2 桁 秒 2 桁) 日付形式のフィールドは「yyyymmdd」の先頭 8 文字に対して比較・演算することができます(ただし「==」を除く)。 •File / Image * 完全一致する条件値 : /2012/01/01/ファイル名 (/年 4 桁/月 2 桁/日 2 桁/ファイル名) <p>ただし、Editor / Summary タイプは search で直接検索できません。</p> <p>[文字列] : 上記のいずれにも該当しない場合は単純な文字列</p> <p>●演算子</p> <p><> : 以外</p> <p>== : 含む (数値形式の場合は「=」と等しい)</p> <p>>= : 以上</p> <p><= : 以下</p> <p>= : 等しい</p> <p>> : 大きい</p> <p>< : 小さい</p> <p>&& : and 条件</p> <p> : or 条件</p> <p>! : 式の否定値を返します。例) !(式)</p> <p>※数値形式のフィールドは数値として比較・演算します。</p> <p>※文字列に対する大小比較の結果は Oracle の照合規則に従います。</p> <p>ただし、keyword 文字列は比較・演算することができません。</p>
--	--

- 演算子の優先順位
(,) , !
< > , == , >= , <= , = , > , <
&& , ||
- 条件の値として使用できない記号
(使用する場合は「\」および「|」でエスケープすること)
【演算子記号】 = < > >= <= > < && || ! ,
【演算子の優先順位記号】 () != && ||
【特殊文字】 \ \ % * 半角スペース
(半角スペースは「¥」および「|」でエスケープ不可)
※「|」を指定したい場合、「|」のように 2 個連続させる必要があります。
- 変数の値として使用できる記号
(「\」または「|」を使って記号を処理することができます。)
【演算子記号】 : > < = !
【特殊文字】 : & % * , " ' " ' \ \ \ \
※「|」を指定したい場合、「|」のように 2 個連続させる必要があります。
- 例 1
重要度が「3」以上のコンテンツを表示します。
row が指定されていないため、1 件のみ表示されます。
[[--ActionStart,search:priority>=3--]]
繰り返し表示する内容
[[--ActionEnd--]]
- 例 2
重要度が「3」以上かつコンテンツ掲示開始日が 2012 年 1 月 1 日 9 時 0 分 0 秒以降のコンテンツを表示します。
[[--ActionStart,row:*,search:priority>=3&&startdate>=20120101-090000--]]
繰り返し表示する内容
[[--ActionEnd--]]
- 例 3
重要度が「3」以上かつコンテンツ掲示開始日が 2012 年 1 月 1 日 9 時 0 分 0 秒以降の条件に当てはまらないコンテンツを表示します。(単項演算)
[[--ActionStart,row:*,search:!(priority>=3&&startdate>=20120101-090000)--]]
繰り返し表示する内容
[[--ActionEnd--]]
- 例 4
Date タイプアクションフィールド af_date の値が 2012 年 1 月 1 日 (時・分・秒) については任意) のコンテンツを表示します。
[[--ActionStart,row:*,search:af_date=20120101--]]
繰り返し表示する内容
[[--ActionEnd--]]

	<p>●例 5</p> <p>アクションフィールド ID が af_string のアクションフィールドに値が存在する (値が指定されている) コンテンツを表示します。</p> <pre>[[--ActionStart,row:*,search:#exist=af_string--]]</pre> <p>繰り返し表示する内容</p> <pre>[[--ActionEnd--]]</pre> <p>●例 6</p> <p>アクションフィールド ID が af_string のアクションフィールドに値が存在し、かつ値が「(c)」という文字列を持つコンテンツを表示します。</p> <pre>[[--ActionStart,row:*,search:#exist=af_string&&af_string=\ (c\)--]]</pre> <p>繰り返し表示する内容</p> <pre>[[--ActionEnd--]]</pre> <p>●例 7</p> <p>変数 var1 と var2 に格納されている文字列が一致する場合、コンテンツを全件表示します。</p> <pre>[[--ActionStart,row:*,search:[%var1%]=[%var2%]--]]</pre> <p>繰り返し表示する内容</p> <pre>[[--ActionEnd--]]</pre> <p>●例 8</p> <p>アクションフィールド ID が test のアクションフィールドの値が「<」を持つコンテンツを表示します。</p> <pre>[[--ActionStart,row:*,search:test=\ <]--]]</pre> <p>繰り返し表示する内容</p> <pre>[[--ActionEnd--]]</pre>
--	---

sort	<p>表示するコンテンツの順序を指定します。指定しない場合にはアーティクル ID の降順で表示します。</p> <p>●条件予約語</p> <p>id : コンテンツの ID</p> <p>priority : コンテンツの重要度</p> <p>subject : コンテンツのタイトル</p> <p>reportid : コンテンツの登録者 ID</p> <p>writedate : コンテンツの登録日 (YYYYMMDD 形式)</p> <p>writetime : コンテンツの登録時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>startdate : コンテンツの掲示開始日 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>starttime : コンテンツの掲示開始時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>enddate : コンテンツの掲示終了日 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>endtime : コンテンツの掲示終了時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>moddate : コンテンツの最終変更日 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>#DEFAULT# : [アーティクルの整列]で指定した順番</p> <p>※「#DEFAULT#」は大文字で指定します。小文字は使用できません。</p> <p>orderNo : [アーティクルの整列]で指定した順番</p> <p>※「orderNo」は#DEFAULT# のような整列機能を持っていますが、演算子を使って整列が必要な場合に使用します。</p> <p>[アクションフィールド ID] : アクションフィールドの値</p> <p>アクションフィールドは以下のタイプが使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •String / LongString •Number / Currency * 数値としてソート •Boolean * 条件値 : T / F •Date * 条件値 : 20120101-000000 (年 4 桁 月 2 桁 日 2 桁-時間 2 桁 分 2 桁 秒 2 桁) •File / Image * 条件値 : /2012/01/01/ファイル名 (/年 4 桁/月 2 桁/日 2 桁/ファイル名) <p>ただし、Editor / Summary タイプは sort で整列できません。</p> <p>●予約語 (必須)</p> <p>asc : 昇順</p> <p>desc : 降順</p> <p>●演算子</p> <p>= : asc / desc を指定する際に使用します。</p> <p>&& : 複数並び替えの条件を指定する際に使用します。</p> <p>※「#DEFAULT#」の場合、asc / desc の指定はできません。</p> <p>●例 1</p> <p>コンテンツの ID を基準に昇順で表示します。</p> <pre> [[-ActionStart,row:*,sort:id=asc-]] 繰り返し表示する内容 [[-ActionEnd-]] </pre>
------	--

	<p>●例 2</p> <p>[アーティクルの整列]で指定した順番で表示します。</p> <pre>[[--ActionStart,row:*,sort:#DEFAULT#--]] 繰り返し表示する内容 [[--ActionEnd--]]</pre> <p>●例3</p> <p>[アーティクルの整列]の降順とアクションフィールドIDが「af_order」の値の昇順で表示します。</p> <pre>[[--ActionStart, sort: orderNo=desc&&af_order=asc,row:10--]] 繰り返し表示する内容 [[--ActionEnd--]]</pre>
skip	<p>Action (Start) で返されるコンテンツから、指定した数をスキップして表示します。</p> <p>●例</p> <p>コンテンツを 10 件スキップして表示します。</p> <pre>[[--ActionStart,row:*,skip:10--]] 繰り返し表示する内容 [[--ActionEnd--]]</pre>
index	<p>[[--ArtIndex--]] を使用した際の連番の並び順を指定します。指定しない場合は昇順に表示します。</p> <p>●データ値の予約語（必須）</p> <p>asc : 昇順 desc : 降順</p> <p>●例</p> <p>コンテンツの連番を降順で表示します。</p> <pre>[[--ActionStart,row:*,index:desc--]] [[--ArtIndex--]] [[--ActionEnd--]]</pre>
series / nid	<p>取得したコンテンツを、複数ページに分けて表示します。</p> <p>●条件予約語</p> <p>series : ページを分ける際に指定します。(yes / no) size : 取得するコンテンツ数を指定します。 row : 1 ページに表示するコンテンツ数を指定します。 nid : ページナビゲーションを表示する際に、他のページナビゲーションと区別するために使用する ID です。</p> <p>●データ値の予約語</p> <p>yes : 使用する</p> <p>●例</p> <p>コンテンツを 100 件取得し、1 ページに 10 件表示します。</p> <p>[[--PageNavStart--]] を使用し、ページナビゲーションを表示します。</p> <pre>[[--ActionStart,size:100,row:10,series:yes,nid:list1--]] 繰り返し表示する内容 [[--ActionEnd--]] [[--PageNavStart,nid:list1--]][[--PageNavList--]][[--PageNavEnd--]]</pre>

continue	直前の Action で使用したパラメータを引き継ぎ、続きのコンテンツを表示します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●データ値の予約語 yes : 使用する
	<ul style="list-style-type: none"> ●例 1 つ目の Action で表示する 2 件のコンテンツには【新作】をつけて表示します。 2 つ目の Action では 1 つ目の search 条件を引き継ぎつつ、続きのコンテンツを【新作】を付けずに表示します。 <pre> [[-ActionStart,row:2,search:priority>=5--]] 【新作】[[-ArtTitle--]]
 [[-ActionEnd--]] [[-ActionStart,row:*,continue:yes--]] [[-ArtTitle--]]
 [[-ActionEnd--]] </pre>
below	<p>下位カテゴリのコンテンツも含めて表示します。</p> <p>関連する下位カテゴリの数が 300 個を超えるような利用は極力控えてください。 下位カテゴリの数が多すぎると、プレビュー・配信のパフォーマンスが低下することがあります。below はできるだけ小さい範囲で使用してください。</p> <p>たとえば、下位カテゴリを多数持つ最上位のカテゴリから below を指定すると、プレビュー・配信のパフォーマンスが著しく低下することがあります。</p> <p>もし対象とするカテゴリ ID が判明している場合は、MultiCatAction タグの使用を検討してください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●データ値の予約語 yes : 使用する
	<ul style="list-style-type: none"> ●例 us_ion カテゴリの下位カテゴリにあるコンテンツも含めて表示します。 <pre> [[-ActionStart,category:us_ion,below:yes--]] 繰り返し表示する内容 [[-ActionEnd--]] </pre>
countid	<p>検索結果の全体の件数を、指定した変数に格納します。</p> <p>countid に全体件数を保存する変数を指定して、write タグを使ってその変数の内容を出力します。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●例 Actionタグで記述されたrow:10 に関係なく、countidは全体コンテンツ数を表示します。 <pre> [[-Actionstart,row:10,countid:cnt_value--]] [[-Arttitle--]]
 [[-ActionEnd--]] <hr> total count : [[-write,cnt_value--]] </pre>

1-2 ArtAction

Action(Start)タグの中に記述を行い[下位コンテンツ]を繰り返し表示します。

属性	属性説明
category	<p>Action(Start)でカテゴリ指定を行うため、ArtAction では category の指定は行いません。</p> <p>●例</p> <p>us_ion カテゴリに登録されている下位コンテンツを表示します。</p> <pre> [[-ActionStart,category:us_ion,row:*--]] [[-ArtActionStart,row:*--]] 繰り返し表示する内容 [[-ArtActionEnd--]] [[-ActionEnd--]] </pre>
row	<p>表示する下位コンテンツの数を指定します。 指定しない場合は 1 件の下位コンテンツのみを表示します。</p> <p>●予約値</p> <p>* : 全ての下位コンテンツを表示します。</p> <p>●例</p> <p>下位コンテンツを 2 件表示します。</p> <pre> [[-ActionStart,us_ion,row:*--]] [[-ArtActionStart,row:2--]] 繰り返し表示する内容 [[-ArtActionEnd--]] [[-ActionEnd--]] </pre>
size	<p>取得する下位コンテンツ数を指定します。</p> <p>●予約値</p> <p>* : 全ての下位コンテンツを取得します。</p> <p>●例 1</p> <p>10 件の下位コンテンツを取得します。row は指定されていないため、1 件だけ表示されます。</p> <pre> [[-ActionStart,us_ion,row:*--]] [[-ArtActionStart,size:10--]] 繰り返し表示する内容 [[-ArtActionEnd--]] [[-ActionEnd--]] </pre> <p>●例 2</p> <p>10 件の下位コンテンツを取得し、その内の 3 件を表示します。</p> <pre> [[-ActionStart,us_ion,row:*--]] [[-ArtActionStart,size:10,row:3--]] 繰り返し表示する内容 [[-ArtActionEnd--]] [[-ActionEnd--]] </pre>

sort	<p>表示する下位コンテンツの順序を指定します。指定しない場合にはアーティクル ID の降順で表示します。</p> <p>●条件予約語</p> <p>id : コンテンツの ID</p> <p>priority : コンテンツの重要度</p> <p>subject : コンテンツのタイトル</p> <p>reportid : コンテンツの登録者 ID</p> <p>writedate : コンテンツの登録日 (YYYYMMDD 形式)</p> <p>writetime : コンテンツの登録時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>startdate : コンテンツの掲示開始日 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>starttime : コンテンツの掲示開始時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>enddate : コンテンツの掲示終了日 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>endtime : コンテンツの掲示終了時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>moddate : コンテンツの最終変更日 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>[アクションフィールド ID] : アクションフィールドの値</p> <p>アクションフィールドは以下のタイプが使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •String / LongString •Number / Currency * 数値としてソート •Boolean * 条件値 : T / F •Date * 条件値 : 20120101-000000 (年 4 桁 月 2 桁 日 2 桁-時間 2 桁 分 2 桁 秒 2 桁) •File / Image * 条件値 : /2012/01/01/ファイル名 (/年 4 桁/月 2 桁/日 2 桁/ファイル名) <p>ただし、Editor / Summary タイプは sort で整列できません。</p> <p>●データ値の予約語 (必須)</p> <p>asc : 昇順</p> <p>desc : 降順</p> <p>●演算子</p> <p>= : asc / desc を指定する際に使用します。</p> <p>&& : 複数並び替えの条件を指定する際に使用します。</p> <p>●例</p> <p>下位コンテンツの ID を基準に降順で表示します。</p> <pre> [[-ActionStart,category:us_ion,row:*--]] [[--ArtActionStart,row:*,sort:id=desc--]] 繰り返し表示する内容 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]] </pre>
------	---

skip	ArtAction (Start) で返される下位コンテンツから、指定した数分をスキップして表示します。
	<ul style="list-style-type: none">●例 下位コンテンツを 10 件スキップして表示します。 [[--ActionStart--]] [[--ArtActionStart,row:*,skip:10--]] 繰り返し表示する内容 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]
index	[[--ArtIndex--]] を使用した際の連番の並び順を指定します。指定しない場合は昇順に表示します。
	<ul style="list-style-type: none">●データ値の予約語（必須） asc : 昇順 desc : 降順
	<ul style="list-style-type: none">●例 下位コンテンツの連番を降順で表示します。 [[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart,row:*,index:desc--]] [[--ArtIndex--]] [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]

1-3 RelatedAction

Action(Start)タグの中に記述を行い、[関連アーティクル]を繰り返し表示します。

属性	属性説明
category	<p>Action(Start)でカテゴリ指定を行うため、RelatedAction では category の指定は行いません。</p> <p>●例 us_ion カテゴリから関連アーティクルを表示します。 <pre> [[-ActionStart,category:us_ion,row:*--]] [[-RelatedActionStart,row:*--]] 繰り返し表示する内容 [[-RelatedActionEnd--]] [[-ActionEnd--]] </pre> </p>
row	<p>表示する関連アーティクルの数を指定します。 指定しない場合は 1 件の関連アーティクルのみを表示します。</p> <p>●予約値 * : 全ての関連アーティクルを表示します。</p> <p>●例 関連アーティクルを 2 件ずつ表示します。 <pre> [[-ActionStart,us_ion,row:* --]] [[-RelatedActionStart,row:2--]] 繰り返し表示する内容 [[-RelatedActionEnd--]] [[-ActionEnd--]] </pre> </p>
size	<p>取得する関連アーティクル数を指定します。</p> <p>●予約値 * : 全ての関連アーティクルを取得します。</p> <p>●例 1 10 件の関連アーティクルを取得します。row は指定されていないため、1 件だけ表示されます。 <pre> [[-ActionStart,us_ion,row:* --]] [[-RelatedActionStart,size:10--]] 繰り返し表示する内容 [[-RelatedActionEnd--]] [[-ActionEnd--]] </pre> </p> <p>●例 2 10 件の関連アーティクルを取得し、3 件を表示します。 <pre> [[-ActionStart,us_ion,row:*--]] [[-RelatedActionStart,size:10,row:3--]] 繰り返し表示する内容 [[-RelatedActionEnd--]] [[-ActionEnd--]] </pre> </p>

sort	表示する関連アーティクルの順序を指定します。指定しない場合にはアーティクル ID の降順で表示します。
	<p>●条件予約語</p> <p>id : コンテンツの ID</p> <p>priority : コンテンツの重要度</p> <p>subject : コンテンツのタイトル</p> <p>reportid : コンテンツの登録者 ID</p> <p>writedate : コンテンツの登録日 (YYYYMMDD 形式)</p> <p>writetime : コンテンツの登録時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>startdate : コンテンツの掲示開始日 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>starttime : コンテンツの掲示開始時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>enddate : コンテンツの掲示終了日 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>endtime : コンテンツの掲示終了時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>moddate : コンテンツの最終変更日 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>[アクションフィールド ID] : アクションフィールドの値</p> <p>アクションフィールドは以下のタイプが使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •String / LongString •Number / Currency * 数値としてソート •Boolean * 条件値 : T / F •Date * 条件値 : 20120101-000000 (年 4 桁月 2 桁日 2 桁-時間 2 桁 分 2 桁 秒 2 桁) •File / Image * 条件値 : /2012/01/01/ファイル名 (/年 4 桁/月 2 桁/日 2 桁/ファイル名) <p>ただし、Editor / Summary タイプは sort で整列できません。</p>
	<p>●データ値の予約語 (必須)</p> <p>asc : 昇順</p> <p>desc : 降順</p>
	<p>●演算子</p> <p>= : asc / desc を指定する際に使用します。</p> <p>&& : 複数並び替えの条件を指定する際に使用します。</p>
	<p>●例</p> <p>関連アーティクルの ID を基準に降順で表示します。</p> <pre> [[-ActionStart,category:us_ion,row:*--]] [[--RelatedActionStart,row:*,sort:id=desc--]] 繰り返し表示する内容 [[--RelatedActionEnd--]] [[--ActionEnd--]] </pre>

skip	RelatedAction (Start)で返される関連アーティクルから、指定した数分をスキップして表示します。
	<div>●例</div> <div>関連アーティクルを 10 件スキップして表示します。</div> <div>[[--ActionStart--]]</div> <div>[[--RelatedActionStart,row:*,skip:10--]]</div> <div>繰り返し表示する内容</div> <div>[[--RelatedActionEnd--]]</div> <div>[[--ActionEnd--]]</div>
index	[[--ArtIndex--]] を使用した際の連番の並び順を指定します。指定しない場合は昇順に表示します。
	<div>●データ値の予約語（必須）</div> <div>asc : 昇順</div> <div>desc : 降順</div>
	<div>●例</div> <div>関連アーティクルの連番を降順で表示します。</div> <div>[[--ActionStart,row:*--]]</div> <div>[[--RelatedActionStart,row:*,index:desc--]]</div> <div>[[--ArtIndex--]]</div> <div>[[--RelatedActionEnd--]]</div> <div>[[--ActionEnd--]]</div>

1-4 ForCategory

カテゴリ情報を一覧表示します。

属性	属性説明
search	<p>カテゴリの検索条件を指定します。 指定しない場合は、現在のカテゴリの下位カテゴリ情報を表示します。</p> <p>●予約語</p> <p>* 数値形式 depth : 最上位カテゴリを 0 とした、カテゴリ階層の深さを表します。</p> <p>* 文字列形式 id : カテゴリ ID parentid : 上位のカテゴリ ID name : カテゴリ名 type : カテゴリのタイプ (general, resource, blank のいずれか) ※ _(underscore)は、文字列検索キーワードとして使用できません。</p> <p>* その他 [メタ情報 ID] : サイトカテゴリのメタ情報の値 メタ情報では以下のタイプが使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •String / LongString •Number * 数値形式 •Boolean * 条件値 : T / F •Date * 日付形式 * 完全一致する条件値 : 20120101-000000 (年 4 桁月 2 桁日 2 桁-時間 2 桁 分 2 桁 秒 2 桁) 日付形式のフィールドは「yyyymmdd」の先頭 8 文字に対して比較・演算することができます。 •File / Image * 完全一致する条件値 : /2012/01/01/ファイル名 (/年 4 桁/月 2 桁/日 2 桁/ファイル名) <p>●演算子</p> <p><> : 以外 == : 含む >= : 以上 <= : 以下 = : 等しい > : 大きい < : 小さい && : and 条件 : or 条件 ! : 式の否定値を返します。例) !(式) ※ 数値形式のフィールドは数値として比較・演算します。 ※ 文字列に対する大小比較の結果は Oracle の照合規則に従います。</p>

[[--ForCategoryEnd--]]

	<p>●例 5</p> <p>Date タイプのメタ情報 ID「mt_date」の値が 2012 年 1 月 1 日(時・分・秒については任意)で、かつ階層が 3 以下のカテゴリ情報を表示します。search 条件に id, parentid, name のいずれも指定していないので、全てのサイトカテゴリが対象になります。</p> <pre>[[--ForCategoryStart,search:mt_date=20120101&&depth<=3--]]</pre> <p>繰り返し表示する内容</p> <pre>[[--ForCategoryEnd--]]</pre>
row	<p>表示するカテゴリ情報の数を指定します。</p> <p>指定しない場合は全てのカテゴリ情報を表示します。</p> <p>●予約値</p> <p>* : 全てのカテゴリ情報を表示します。(デフォルト)</p> <p>●例</p> <p>現在のカテゴリの下位カテゴリ情報を 5 件表示します。</p> <pre>[[--ForCategoryStart,row:5--]]</pre> <p>繰り返し表示する内容</p> <pre>[[--ForCategoryEnd--]]</pre>
sort	<p>表示するカテゴリ情報の順序を指定します。指定しない場合には並び順は不定になります。</p> <p>●予約語</p> <p>id : カテゴリ ID</p> <p>parentid : 上位のカテゴリ ID</p> <p>name : カテゴリ名</p> <p>orderno : カテゴリ整列値</p> <p>type : カテゴリのタイプ (general, resource, blank のいずれか)</p> <p>depth : 最上位カテゴリを 0 とし、カテゴリ階層の深さを表します。</p> <p>[メタ情報 ID] : サイトカテゴリのメタ情報の値</p> <p>メタ情報では以下のタイプが使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •String / LongString •Number * 数値として判定 •Boolean * 条件値 : T / F •Date * 条件値 : 20120101-000000 (年 4 桁月 2 桁日 2 桁-時間 2 桁 分 2 桁 秒 2 桁) •File / Image * 条件値 : /2012/01/01/ファイル名 (/年 4 桁/月 2 桁/日 2 桁/ファイル名) <p>●予約値 (必須)</p> <p>asc : 昇順</p> <p>desc : 降順</p> <p>●演算子</p> <p>= : asc / desc を指定する際に使用します。</p> <p>&& : 複数並び替えの条件を指定する際に使用します。</p>

	<ul style="list-style-type: none">●例 カテゴリ ID を基準に降順で表示します。 [[--ForCategoryStart,sort:id=desc--]] 繰り返し表示する内容 [[--ForCategoryEnd--]]
type	特定のタイプのカテゴリを表示します。
	<ul style="list-style-type: none">●予約値 general : 一般 resource : リソース blank : ブランク
	<ul style="list-style-type: none">●演算子 : or 条件
	<ul style="list-style-type: none">●例 カテゴリ情報のタイプが resource のカテゴリ情報を表示します。 [[--ForCategoryStart,type:resource--]] 繰り返し表示する内容 [[--ForCategoryEnd--]]

1-5 RangeAction

[[--ArtPrev--]], [[--ArtNext--]], [[--ArtPrevTitle--]], [[--ArtNextTitle--]] のページング関連タグと組み合わせて、前後のコンテンツを表示する際に使用します。

指定した属性に従って Prev / Next の順番を制御することができます。

上記ページング関連タグは、ストーリーテンプレート内に記述することで、あるカテゴリ下に含まれるストーリーページの集まりを「設定されたページ順」に従って各ページに次のページや前のページのリンクおよびタイトルを生成します。

RangeAction タグはこの「ページ順」を設定するために用います。

たとえば、リストテンプレートでコンテンツの一覧(ストーリーページの一覧)の並びをタイトル順に設定し、ストーリーページ同士の次のページや前のページの繋がりも同じようにタイトル順にしたいとします。

この場合、リストテンプレートでコンテンツの一覧を表示させた条件および並び順と同じ設定で RangeAction タグをストーリーテンプレートに記述すると、その中で使用されているページング関連タグはタイトル順を基準とし次のコンテンツまたは前のコンテンツを示すようになります。

※ ストーリーテンプレートプレビューは任意のアーティクルをプレビュー対象にできないため、指定した条件に外れるアーティクルがプレビュー対象となった場合はプレビュー画面には何も表示されません。

確実にプレビューを行うためには、リストテンプレートプレビューから条件に合致したアーティクルへ遷移してください。

属性	属性説明
category	コンテンツを表示するカテゴリ ID を指定します。 属性名、カテゴリ ID は省略可能です。カテゴリ ID を指定しない場合は現在のカテゴリを意味します。
	●予約値 ./ : 現在のカテゴリ ../ : 1 つ上のカテゴリ ※カテゴリ ID を直接指定するよりパフォーマンスは低下します。
	●例 1 us_ion カテゴリのコンテンツを表示します。 [[--RangeActionStart,us_ion--]] 繰り返し表示する内容 [[--RangeActionEnd--]] ●例 2 us_ion カテゴリのコンテンツを表示します。ページング関連タグと組み合わせます。 [[--RangeActionStart,us_ion--]] <p>前へ</p> <p>次へ</p> [[--RangeActionEnd--]]

row	表示するコンテンツの数を指定します。Action(Start) タグの row と同じ数を指定します。指定しない場合は 1 件のコンテンツのみを表示します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●予約値 * : 全てのコンテンツを表示します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●例 コンテンツを 100 件取得し、10 件表示します。 [--RangeActionStart,size:100,row:10--] 繰り返し表示する内容 [--RangeActionEnd--]
size	取得するコンテンツ数を指定します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●予約値 * : 全てのコンテンツを取得します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●例 1 10 件のコンテンツを取得します。row は指定されていないため、1 件だけ表示されます。 [--RangeActionStart,size:10--] 繰り返し表示する内容 [--RangeActionEnd--] <ul style="list-style-type: none"> ●例 2 10 件のコンテンツを取得し、3 件を表示します。 [--RangeActionStart,size:10,row:3--] 繰り返し表示する内容 [--RangeActionEnd--]
search	検索条件を指定します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●フィールド * 数値形式 id : コンテンツの ID parentid : 上位のコンテンツ ID priority : コンテンツの重要度 * 文字列形式 keyword : コンテンツのキーワード subject : コンテンツのタイトル reportid : コンテンツの登録者 ID ※ _ (underscore) は、文字列検索キーワードとして使用できません。

	<p>* 日付形式</p> <p>writedate : コンテンツの登録日 (YYYYMMDD 形式)</p> <p>writetime : コンテンツの登録時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>startdate : コンテンツの掲示開始日時 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>starttime : コンテンツの掲示開始時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>enddate : コンテンツの掲示終了日時 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>endtime : コンテンツの掲示終了時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>日付の指定は「20120101」(年 4 桁 月 2 桁 日 2 桁)</p> <p>時間の指定は「180000」(時間 2 桁 分 2 桁 秒 2 桁)で指定します。</p>
	<p>* その他</p> <p>#exist : search 条件フィールドの値が存在するかどうか</p> <p>If タグの exist 属性と同じ効果があります。</p> <p>必ず #exist=[フィールド] の形式で指定します。</p> <p>[フィールド]には parentid, keyword 以外のフィールド(アクションフィールド ID を含む)が指定可能です。</p> <p>[アクションフィールド ID] : アクションフィールドの値</p> <p>アクションフィールドは以下のタイプが使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •String / LongString •Number / Currency * 数値形式 •Boolean * 条件値 : T / F •Date * 日付形式 <ul style="list-style-type: none"> * 完全一致する条件値 : 20120101-000000 (年 4 桁月 2 桁日 2 桁-時間 2 桁 分 2 桁 秒 2 桁) 日付形式のフィールドは「yyymdd」の先頭 8 文字に対して比較・演算することができます(ただし「==」を除く)。 •File / Image * 完全一致する条件値 : /2012/01/01/ファイル名 (/年 4 桁/月 2 桁/日 2 桁/ファイル名) <p>ただし、Editor / Summary タイプは search で直接検索できません。</p> <p>[文字列] : 上記のいずれにも該当しない場合は単純な文字列</p>
	<p>●演算子</p> <p><> : 以外</p> <p>== : 含む (数値形式の場合は「=」と等しい)</p> <p>>= : 以上</p> <p><= : 以下</p> <p>= : 等しい</p> <p>> : 大きい</p> <p>< : 小さい</p> <p>&& : and 条件</p> <p> : or 条件</p> <p>! : 式の否定値を返します。例) !(式)</p> <p>※数値形式のフィールドは数値として比較・演算します。</p> <p>※文字列に対する大小比較の結果は Oracle の照合規則に従います。</p> <p>ただし、keyword 文字列は 比較・演算できません。</p>

[[--RangeActionEnd--]]

sort	表示するコンテンツの順序を指定します。指定しない場合にはアーティクル ID の降順で表示します。
	<p>●条件予約語</p> <p>id : コンテンツの ID</p> <p>priority : コンテンツの重要度</p> <p>subject : コンテンツのタイトル</p> <p>reportid : コンテンツの登録者 ID</p> <p>writedate : コンテンツの登録日 (YYYYMMDD 形式)</p> <p>writetime : コンテンツの登録時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>startdate : コンテンツの掲示開始日 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>starttime : コンテンツの掲示開始時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>enddate : コンテンツの掲示終了日 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>endtime : コンテンツの掲示終了時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>moddate : コンテンツの最終変更日 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>#DEFAULT# : [アーティクルの整列]で指定した順番</p> <p>※「#DEFAULT#」は大文字で指定します。小文字は使用できません。</p> <p>[アクションフィールド ID] : アクションフィールドの値</p> <p>アクションフィールドは以下のタイプが使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •String / LongString •Number / Currency * 数値としてソート •Boolean * 条件値 : T / F •Date * 条件値 : 20120101-000000 (年 4 桁月 2 桁日 2 桁-時間 2 桁 分 2 桁 秒 2 桁) •File / Image * 条件値 : /2012/01/01/ファイル名 (/年 4 桁/月 2 桁/日 2 桁/ファイル名) <p>ただし、Editor / Summary タイプは sort で整列できません。</p>
	<p>●予約語 (必須)</p> <p>asc : 昇順</p> <p>desc : 降順</p>
	<p>●演算子</p> <p>= : asc / desc を指定する際に使用します。</p> <p>&& : 複数並び替えの条件を指定する際に使用します。</p> <p>※「#DEFAULT#」の場合、asc / desc は使用できません。</p>

	<p>●例</p> <p>コンテンツの ID を基準に昇順で表示します。リストテンプレートと同じ条件を指定することで、ページング関連タグの並び順を制御します。</p> <p>【リストテンプレート】</p> <pre> [[-ActionStart,row:*,sort:id=asc-]] [[--ArtTitle--]] [[-ActionEnd--]] </pre> <p>【ストーリーテンプレート】</p> <pre> [[-RangeActionStart,row:*,sort:id=asc-]] <p>前へ</p> <p>次へ</p> [[-RangeActionEnd--]] </pre>
skip	<p>RangeAction(Start) で返されるコンテンツから、指定した数をスキップして表示します。</p> <p>●例</p> <p>コンテンツを 10 件スキップして表示します。</p> <pre> [[-RangeActionStart,row:*,skip:10-]] 繰り返し表示する内容 [[-RangeActionEnd--]] </pre>
index	<p>[[--ArtIndex--]] を使用した際の連番の並び順を指定します。指定しない場合は昇順に表示します。</p> <p>●データ値の予約語（必須）</p> <p>asc : 昇順 desc : 降順</p> <p>●例</p> <p>コンテンツの連番を降順で表示します。</p> <pre> [[-RangeActionStart,row:*,index:desc-]] [[--ArtIndex--]] [[-RangeActionEnd--]] </pre>
below	<p>下位カテゴリのコンテンツも含めて表示します。</p> <p>関連する下位カテゴリの数が 300 個を超えるような利用は極力控えてください。下位カテゴリの数が多すぎると、プレビュー・配信のパフォーマンスが低下することがあります。below はできるだけ小さい範囲で使用してください。</p> <p>たとえば、下位カテゴリを多数持つ最上位のカテゴリから below を指定すると、プレビュー・配信のパフォーマンスが著しく低下することがあります。</p> <p>対象とするカテゴリ ID が判明している場合は、MultiCatAction タグの使用を検討してください。</p> <p>●データ値の予約語</p> <p>yes : 使用する</p> <p>●例</p> <p>us_ion カテゴリの下位カテゴリにあるコンテンツも含めて表示します。</p> <pre> [[-RangeActionStart,category:us_ion,below:yes-]] 繰り返し表示する内容 [[-RangeActionEnd--]] </pre>

1-6 MultiCatAction

指定したカテゴリからコンテンツを取得し、一覧表示します。

Action (Start)タグと基本的には同じですが、複数のカテゴリを同時に指定することができます。
 ただし、continue および below 属性の指定は出来ません。

属性	属性説明
catids	コンテンツを表示するカテゴリ ID を指定します。 複数のカテゴリ ID を「; (セミコロン)」で区切って指定します。 catids を省略した場合は現在のカテゴリのみを意味します。
	<p>●例 1</p> <p>us_c_in, us_c_over, us_c_pr の 3 つのカテゴリからコンテンツを表示します。</p> <pre>[[--MultiCatActionStart,catids:us_c_in;us_c_over;us_c_pr--]] 繰り返し表示する内容 [[--MultiCatActionEnd--]]</pre> <p>●例 2</p> <p>現在のカテゴリのコンテンツを表示します。属性名・カテゴリ ID を省略します。</p> <pre>[[--MultiCatActionStart--]] 繰り返し表示する内容 [[--MultiCatActionEnd--]]</pre>
row	表示するコンテンツの数を指定します。 指定しない場合は 1 件のコンテンツのみを表示します。
	<p>●予約値</p> <p>* : 全てのコンテンツを表示します。</p> <p>●例</p> <p>us_c_in, us_c_over の 2 つのカテゴリからコンテンツを 5 件表示します。</p> <pre>[[--MultiCatActionStart,catids:us_c_in;us_c_over,row:5--]] 繰り返し表示する内容 [[--MultiCatActionEnd--]]</pre>
size	取得するコンテンツ数を指定します。 ページナビゲーションと組み合わせて使用します。
	<p>●予約値</p> <p>* : 全てのコンテンツを取得します。</p> <p>●例 1</p> <p>us_c_in, us_c_over の 2 つのカテゴリから 10 件のコンテンツを取得し、3 件を表示します。</p> <pre>[[--MultiCatActionStart,catids:us_c_in;us_c_over,size:10,row:3--]] 繰り返し表示する内容 [[--MultiCatActionEnd--]]</pre>

search	<p>検索条件を指定します。</p> <p>●フィールド</p> <p>* 数値形式</p> <p>id : コンテンツの ID</p> <p>parentid : 上位のコンテンツ ID</p> <p>priority : コンテンツの重要度</p> <p>* 文字列形式</p> <p>keyword : コンテンツのキーワード</p> <p>subject : コンテンツのタイトル</p> <p>reportid : コンテンツの登録者 ID</p> <p>※ _ (underscore) は、文字列検索キーワードとして使用できません。</p> <p>* 日付形式</p> <p>writedate : コンテンツの登録日 (YYYYMMDD 形式)</p> <p>writetime : コンテンツの登録時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>startdate : コンテンツの掲示開始日時 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>starttime : コンテンツの掲示開始時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>enddate : コンテンツの掲示終了日時 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>endtime : コンテンツの掲示終了時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>日付の指定は「20050101」(年 4 桁 月 2 桁 日 2 桁)</p> <p>時間の指定は「180000」(時間 2 桁 分 2 桁 秒 2 桁)で指定します。</p> <p>* その他</p> <p>#exist : search 条件フィールドの値が存在するかどうか</p> <p>If タグの exist 属性と同じ効果があります。</p> <p>必ず #exist=[フィールド] の形式で指定します。</p> <p>[フィールド]には parentid, keyword 以外のフィールド (アクションフィールド ID を含む)が指定可能です。</p> <p>[アクションフィールド ID] : アクションフィールドの値</p> <p>アクションフィールドは以下のタイプが使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・String / LongString ・Number / Currency * 数値形式 ・Boolean * 条件値 : T / F ・Date * 日付形式 * 完全一致する条件値 : 20120101-000000 (年 4 桁月 2 桁日 2 桁-時間 2 桁 分 2 桁 秒 2 桁) 日付形式のフィールドは「yyyymmdd」の先頭 8 文字に対して比較・演算することができます(ただし「==」を除く)。 ・File / Image * 完全一致する条件値 : /2005/01/01/ファイル名 (/年 4 桁/月 2 桁/日 2 桁/ファイル名) <p>ただし、Editor / Summary タイプは search で直接検索できません。</p> <p>[文字列] : 上記のいずれにも該当しない場合は文字列</p>
--------	--

	<p>●演算子</p> <p><> : 以外</p> <p>== : 含む（数値形式の場合は「=」と等しい）</p> <p>>= : 以上</p> <p><= : 以下</p> <p>= : 等しい</p> <p>> : 大きい</p> <p>< : 小さい</p> <p>&& : and 条件</p> <p> : or 条件</p> <p>! : 式の否定値を返します。例) !(式)</p> <p>※数値形式のフィールドは数値として比較・演算します。</p> <p>※文字列に対する大小比較の結果は Oracle の照合規則に従います。</p> <p>ただし、keyword 文字列は比較・演算できません。</p>
	<p>●演算子の優先順位</p> <p>(,) , !</p> <p><> , == , >= , <= , = , > , <</p> <p>&& , </p>
	<p>●条件の値として使用できない記号 (使用する場合は「\」または「\'」でエスケープすること)</p> <p>【演算子記号】 = <> >= <= > < && ! ,</p> <p>【演算子の優先順位記号】 () != && </p> <p>【特殊文字】 \ \% * 半角スペース (半角スペースは「\」または「\'」でエスケープ不可)</p> <p>※' を指定したい場合、「"」のように 2 個連続させる必要があります。</p> <p>●変数の値として使用できる記号</p> <p>(「\」または「\'」を使って記号を処理することができます。)</p> <p>【演算子記号】> <= !</p> <p>【特殊文字】: & % * , " ' ` ~`</p> <p>※' を指定したい場合、「"」のように 2 個連続させる必要があります。</p>
	<p>●例</p> <p>us_c_in, us_c_over の 2 つのカテゴリに所属する重要度が「3」以上のコンテンツを表示します。</p> <pre>[[--MultiCatActionStart,catids:us_c_in;us_c_over,search:priority>=3--]]</pre> <p>繰り返し表示する内容</p> <pre>[[--MultiCatActionEnd--]]</pre>

sort	<p>表示するコンテンツの順序を指定します。指定しない場合にはアーティクル ID の降順で表示します。</p> <p>●条件予約語</p> <p>id : コンテンツの ID</p> <p>priority : コンテンツの重要度</p> <p>subject : コンテンツのタイトル</p> <p>reportid : コンテンツの登録者 ID</p> <p>writedate : コンテンツの登録日 (YYYYMMDD 形式)</p> <p>writetime : コンテンツの登録時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>startdate : コンテンツの掲示開始日 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>starttime : コンテンツの掲示開始時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>enddate : コンテンツの掲示終了日 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>endtime : コンテンツの掲示終了時刻 (HHMISS 形式)</p> <p>moddate : コンテンツの最終変更日 (YYYYMMDD-HHMISS 形式)</p> <p>[アクションフィールド ID] : アクションフィールドの値</p> <p>#DEFAULT# : [アーティクルの整列]で指定した順番</p> <p>※「#DEFAULT#」は大文字で指定します。小文字は使用できません。</p> <p>※複数カテゴリ指定時に sort を「#DEFAULT#」にした場合、アーティクルの表示順が不定です。</p> <p>[アクションフィールド ID] : アクションフィールドの値</p> <p>アクションフィールドは以下のタイプが使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •String / LongString •Number / Currency * 数値としてソート •Boolean * 条件値 : T / F •Date * 条件値 : 20120101-000000 (年 4 桁 月 2 桁 日 2 桁-時間 2 桁 分 2 桁 秒 2 桁) •File / Image * 条件値 : /2012/01/01/ファイル名 (/年 4 桁/月 2 桁/日 2 桁/ファイル名) <p>ただし、Editor / Summary タイプは sort で整列できません。</p> <p>●予約語 (必須)</p> <p>asc : 昇順</p> <p>desc : 降順</p> <p>●演算子</p> <p>= : asc / desc を指定する際に使用します。</p> <p>&& : 複数並び替えの条件を指定する際に使用します。</p> <p>※「#DEFAULT#」の場合、asc / desc の指定はできません。</p>
------	--

	<p>●例</p> <p>us_c_in, us_c_over の 2 つのカテゴリから全てのコンテンツを ID の昇順で表示します。</p> <pre>[[--MultiCatActionStart,catids:us_c_in;us_c_over,row:*,sort:id=asc--]]</pre> <p>繰り返し表示する内容</p> <pre>[[--MultiCatActionEnd--]]</pre>
skip	<p>MultiCatAction で返されるコンテンツから、指定した数をスキップして表示します。</p> <p>●例</p> <p>us_c_in, us_c_over の 2 つのカテゴリからコンテンツを 10 件スキップして表示します。</p> <pre>[[--MultiCatActionStart,catids:us_c_in;us_c_over,row:*,skip:10--]]</pre> <p>繰り返し表示する内容</p> <pre>[[--MultiCatActionEnd--]]</pre>
index	<p>[[--ArtIndex--]] を使用した際の連番の並び順を指定します。指定しない場合は昇順に表示します。</p> <p>●データ値の予約語（必須）</p> <p>asc : 昇順 desc : 降順</p> <p>●例</p> <p>us_c_in, us_c_over の 2 つのカテゴリから全てのコンテンツを連番の降順で表示します。</p> <pre>[[--MultiCatActionStart,catids:us_c_in;us_c_over,row:*,index:desc--]]</pre> <pre>[[--ArtIndex--]]</pre> <pre>[[--MultiCatActionEnd--]]</pre>
series / nid	<p>取得したコンテンツを、複数ページに分けて表示します。</p> <p>●条件予約語</p> <p>series : ページを分ける際に指定します。(yes / no) size : 取得するコンテンツ数を指定します。 row : 1 ページに表示するコンテンツ数を指定します。 nid : ページナビゲーションを表示する際に、他のページナビゲーションと区別するために使用する ID です。</p> <p>●データ値の予約語</p> <p>yes : 使用する</p> <p>●例</p> <p>us_c_in, us_c_over の 2 つのカテゴリからコンテンツを 100 件取得し、1 ページに 10 件表示します。</p> <p>[[--PageNavStart--]] を使用し、ページナビゲーションを表示します。</p> <pre>[[--MultiCatActionStart,catids:us_c_in;us_c_over,size:100,row:10,series:yes,nid:list1--]]</pre> <p>繰り返し表示する内容</p> <pre>[[--MultiCatActionEnd--]]</pre> <pre>[[--PageNavStart,nid:list1--]][[--PageNavList--]][[--PageNavEnd--]]</pre>

1-7 For

Start / End タグに囲まれた部分を繰り返し実行します。

属性	属性説明
name	For の対象となるデータから取得した値を格納する変数の名前を指定します。 通常は in 属性や from, to 属性と共に使用します。変数のスコープは「template」となります。
in	繰り返し対象とするデータを「; (セミicolon)」で区切って指定します。 先頭から順に処理されます。 ●例 アクションフィールド ID が「check1」と「check2」の値を順に表示します。 [[--ForStart,name:key,in:check1;check2--]] [[--ArtFieldValue,field:[%key%]--]] [[--ForEnd--]]
from to	from : 繰り返しの開始番号 to : 繰り返しの終了番号 from が to になるまで step の値を加算しながら繰り返し処理します。 ●例 0～5 の数値を表示します。 [[--ForStart,name:index,from:0,to:5--]] [[--Write,name:index--]] [[--ForEnd--]]
step	from, to 属性と共に使用します。ループごとの増分値を指定します。 Step の値を特に指定しない場合は、以下の基本値が設定されます。 from 値 > to 値 「-1」 from 値 < to 値 「1」 ●例 0, 2, 4 の数値を表示します。 [[--ForStart,name:index,from:0,to:5,step:2--]] [[--Write,name:index--]] [[--ForEnd--]]

1-8 ForTemplate

指定したカテゴリからテンプレート情報を取得して表示します。

属性	属性説明
category	<p>テンプレート情報を表示するカテゴリ ID を指定します。 属性名、カテゴリ ID は省略可能です。 カテゴリを指定しない場合は現在のカテゴリを意味します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ForTemplate タグ内のみ、使用できるテンプレートタグ <p>TplId : テンプレート ID TplName : テンプレート名 TplKind : テンプレートの種類 TplLastUpdateDate : テンプレートの最新変更日の情報</p> <ul style="list-style-type: none"> リスト/ストーリーテンプレートの URL 取得方法 <p>ForTemplate タグを使用するため、ArtAddress タグと CatAddress タグの tplid の値を変数で指定して使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 例 1 <p>現在カテゴリのテンプレート ID、テンプレート名、テンプレートの種類、テンプレートの最新変更日の情報を表示します。</p> <pre> [[-ForTemplateStart-]] [[-TplId-]]. Name: [[-TplName-]] / Kind: [[-TplKind-]] / lastupdate: [[-TplLastUpdateDate-]]<p> [[-ForTemplateEnd-]] </pre> <ul style="list-style-type: none"> 例 2 <p>現在のカテゴリのリストテンプレート URL を表示します。</p> <pre> [[-ForTemplateStart-]] [[-RecordStart, ccc-]][[-TplKind-]][[-RecordEnd-]] [[-IfStart, is:[%ccc%]=l-]] [[-RecordStart, ddd-]][[-TplId-]][[-RecordEnd-]] [[-ThenStart-]] [[-TplId-]]. [[-CatAddress, tplid:[%ddd%-]]] <p> [[-ThenEnd-]] [[-IfEnd-]] [[-ForTemplateEnd-]] </pre> <ul style="list-style-type: none"> 例 3 <p>現在カテゴリのストーリーテンプレート URL を表示します。</p> <pre> [[-ForTemplateStart-]] [[-RecordStart, ccc-]][[-TplKind-]][[-RecordEnd-]] [[-IfStart, is:[%ccc%]=s-]] [[-ThenStart-]] [[-RecordStart, eee-]][[-TplId-]][[-RecordEnd-]] [[-TplId-]]. [[-actionStart, row:*-]][[-ArtAddress, tplid:[%eee%-]]] [[-ActionEnd-]]<p> [[-ThenEnd-]] [[-IfEnd-]] [[-ForTemplateEnd-]] </pre>

2. ページングタグ

2-1 PageNav

コンテンツをリスト表示する際に、ページを分割して表示するページナビゲーションを表示するタグです。

PageNav タグは単独で使用するのではなく PageNavList タグなどと組み合わせて使用します。

属性	属性説明
nid	ページナビゲーションを表示する際に、他のページナビゲーションと区別するために使用する ID です。
	<p>●例</p> <p>[[--PageNavList--]] と組み合わせて、ページナビゲーションを表示します。 1 ページ内に複数のページナビゲーションを表示するため、それぞれのページナビゲーションに「list1」、「list2」という nid を付けます。</p> <p>[[--ActionStart,size:100,row:10,series:yes,nid:list1--]] 繰り返し表示する内容 1 [[--ActionEnd--]] [[--PageNavStart,nid:list1--]][[--PageNavList--]][[--PageNavEnd--]]</p> <p>[[--ActionStart,us_ion,size:50,row:5,series:yes,nid:list2--]] 繰り返し表示する内容 2 [[--ActionEnd--]] [[--PageNavStart,nid:list2--]][[--PageNavList--]][[--PageNavEnd--]]</p>
term	分割されたページを指定した数でまとめます。
	<p>●例</p> <p>[[--PageNavList--]] と組み合わせて、ページナビゲーションを表示します。 term を 5 に指定し、5 ページを1つの term として扱います。</p> <p>[[--ActionStart,size:100,row:10,series:yes,nid:list1--]] 繰り返し表示する内容 [[--ActionEnd--]] [[--PageNavStart,nid:list1,term:5--]][[--PageNavList--]][[--PageNavEnd--]]</p>

2-2 PageNavList

コンテンツをリスト表示する際に、ページを分割して表示するページナビゲーションを表示するタグです。

PageNavList タグは単独で使用するのではなく PageNav タグと組み合わせて使用します。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 <pre>[[--PageNav--]] と組み合わせて、ページナビゲーションを表示します。 [[--ActionStart,row:3,series:yes,nid:list1--]] 繰り返し表示する内容 [[--ActionEnd--]] [[--PageNavStart,nid:list1--]][[--PageNavList--]][[--PageNavEnd--]]</pre>
pagediv	<p>ページ間の文字を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none">●例 <p>ページ間の文字を「 」に指定します。</p> <pre>[[--ActionStart,row:3,series:yes,nid:list1--]] 繰り返し表示する内容 [[--ActionEnd--]] [[--PageNavStart,nid:list1--]][[--PageNavList,pagediv: --]][[--PageNavEnd--]]</pre>
curpageformat	<p>現在のページ番号の表示スタイルを変更します。</p> <ul style="list-style-type: none">●予約語 <p>%s : ページ番号を表します。変更はできません。</p> <ul style="list-style-type: none">●例 <p>現在のページ番号を「 [] 」で囲みます。</p> <pre>[[--ActionStart,row:3,series:yes,nid:list1--]] 繰り返し表示する内容 [[--ActionEnd--]] [[--PageNavStart,nid:list1--]] [[--PageNavList,curpageformat:[%s]--]] [[--PageNavEnd--]]</pre>
pageformat	<p>全てのページ番号の表示スタイルを変更します。</p> <ul style="list-style-type: none">●予約語 <p>%s : ページ番号を表します。変更はできません。</p> <ul style="list-style-type: none">●例 <p>全てのページ番号を「 [] 」で囲みます。</p> <pre>[[--ActionStart,row:3,series:yes,nid:list1--]] 繰り返し表示する内容 [[--ActionEnd--]] [[--PageNavStart,nid:list1--]] [[--PageNavList,pageformat:[%s]--]] [[--PageNavEnd--]]</pre>

2-3 LimitLength

文字数で区切ってページを分割して表示するページナビゲーションを表示するタグです。

本ドキュメントでは見やすいよう便宜上改行してありますが、実際には Start から End タグ間に改行を入れません。
改行も文字列の一部とみなされますのでご注意ください。

属性	属性説明
series / nid	series : ページを分ける際に指定します。(yes / no) nid : ページナビゲーションを表示する際に、他のページナビゲーションと区別するために使用する ID です。
	●データ値の予約語 yes : 使用する
length	区切る文字数を指定します。HTML タグもカウントされます。
	●例 [[--PageNavList--]] と組み合わせて、ページナビゲーションを表示します。 1 ページ内に複数のページナビゲーションを表示するため、それぞれのページナビゲーションに nid をつけます。 [[--LimitLengthStart,length:2,series:yes,nid:imode--]] 1234567890 [[--LimitLengthEnd--]] [[--PageNavStart,nid:imode--]][[--PageNavList--]][[--PageNavEnd--]]

2-4 LimitLine

ライン数で区切ってページを分割して表示するページナビゲーションを表示するタグです。

本ドキュメントでは見やすいよう便宜上改行してありますが、実際には Start から End タグ間に改行を入れません。
改行も文字列の一部とみなされますのでご注意ください。

属性	属性説明
series / nid	series : ページを分ける際に指定します。(yes / no) nid : ページナビゲーションを表示する際に、他のページナビゲーションと区別するために使用する ID です。
	●データ値の予約語 yes : 使用する
Line	区切るライン数を指定します。ラインとは改行(Enter キー)の単位のことです。 ラインにより HTML タグが分かされると、タグが無効になるのでご注意ください。
	●例 [[--PageNavList--]] と組み合わせて、ページナビゲーションを表示します。 1 ページ内に複数のページナビゲーションを表示するため、それぞれのページナビゲーションに nid をつけます。 [[--LimitLineStart,line:2,series:yes,nid:imode--]] 1234567890 [[--LimitLineEnd--]] [[--PageNavStart,nid:imode--]][[--PageNavList--]][[--PageNavEnd--]]

■ 条件文

3. 条件文

3-1 If / Then / Else

条件により分岐処理を行います。If 文をネストさせることも可能です。

If の属性の中で「exist」と「is」は同時に使用は出来ません。

属性	属性説明
exist	<p>指定したフィールドが存在するか判別を行います。</p> <p>●フィールド</p> <p>ArtImage : コンテンツのサムネイル(画像)</p> <p>ArtPrev : 前のコンテンツ</p> <p>ArtNext : 後のコンテンツ</p> <p>PagePrev : 前のページ</p> <p>PageNext : 次のページ</p> <p>PagePrevTerm : 前のターム</p> <p>PageNextTerm : 次のターム</p> <p>Url_Link : アーティクルの URL リンク</p> <p>[アクションフィールド ID] :</p> <p>アーティクルが所属するサイトカテゴリに該当のアクションフィールド ID が適用されており、かつ値があるかどうかを判定します。</p> <p>[変数名] :</p> <p>上記のいずれにも該当しない場合、変数として宣言されているかどうかを判定します。値は参照しません。</p> <p>●演算子</p> <p>&& : and 条件</p> <p> : or 条件</p> <p>! : 式の否定値を返します。必ず () と共に使用します。例) !(式)</p> <p>●演算子の優先順位</p> <p>(,) , !</p> <p>&& , </p> <p>●例</p> <p>表示するコンテンツにサムネイル(画像)が登録されている場合のみ、サムネイル(画像)を表示します。</p> <pre> [[-ActionStart,row:*-]] [[-IfStart,exist:ArtImage-]] [[-ThenStart-]] [[-ThenEnd-]] [[-IfEnd-]] [[-ActionEnd-]] </pre>

is	<p>指定したフィールドの値と指定した値が等しいか判別を行います。 フィールドは左辺・右辺どちらにも指定可能です。</p> <hr/> <p>●フィールド [アクションフィールド ID] : アクションフィールドの値 アクションフィールドは以下のタイプが使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •String / LongString / Summary / Editor •Number / Currency * 文字列として判定 •Boolean * 条件値 : T / F •Date * 完全一致する条件値 : 20050101-000000 (年 4 桁月 2 桁日 2 桁-時間 2 桁分 2 桁秒 2 桁) •File / Image * 完全一致する条件値 : 拡張子を含めたファイル名 (例:test.jpg) <p>[変数名] : 変数の値 上記のいずれにも該当しない場合、変数が宣言されていればその変数の値を参照します。</p> <p>#BLANK# : 上記のいずれにも該当しない場合、空文字</p> <p>[文字列] : 上記のいずれにも該当しない場合は単純な文字列</p> <hr/> <p>●演算子</p> <p>= : 等しい == : 含む(数値形式の場合は[=]と同一) <> : 以外 >= : 以上 <= : 以下 > : 大きい < : 小さい && : and 条件 : or 条件 ! : 式の否定値を返します。例) !(式)</p> <p>※文字列に対する大小比較の結果は java.text.Collator クラスの compare()メソッドの照合規則に従います。</p> <hr/> <p>●演算子の優先順位</p> <p>(,) , ! = && , </p> <hr/> <p>●条件の値として使用できない記号 (使用する場合は「\」または「」でエスケープすること)</p> <p>【演算子記号】 = <> >= <= > < && ! , 【演算子の優先順位記号】 () != && 【特殊文字】 \ \ 半角スペース (半角スペースは「\」または「」でエスケープ不可)</p>
----	---

●例 1

表示するコンテンツでアクションフィールド「check」の値が「yes」の場合、アクションフィールドの値を表示します。

```
[[--IfStart,is:check=yes--]]
  [[--ThenStart--]]
    [[--ArtFieldValue,field:check--]]
  [[--ThenEnd--]]
[[--IfEnd--]]
```

●例 2

「buf」という ID のアクションフィールドが登録されてない条件下において、変数「buf」に格納されている値が「yes」の場合、変数の値を表示します。

```
[[--IfStart,is:buf=yes--]]
  [[--ThenStart--]]
    [[--Write,name:buf--]]
  [[--ThenEnd--]]
[[--IfEnd--]]
```

●例 3

変数「buf」に格納されている値を展開し、その文字列が「yes」の場合、変数の値を表示します。ただし、例 2 よりも非効率です。

```
[[--IfStart,is:[%buf%]=yes--]]
  [[--ThenStart--]]
    [[--Write,name:buf--]]
  [[--ThenEnd--]]
[[--IfEnd--]]
```

●例 4

表示するコンテンツでカテゴリの説明が空文字（長さ 0 の文字列）の場合、「NG」という文字列を表示します。

```
[[--RecordStart,name:catexp--]][[--CatExp--]][[--RecordEnd--]]
[[--IfStart,is:catexp=#BLANK#--]]
  [[--ThenStart--]]
    <p>NG</p>
  [[--ThenEnd--]]
[[--IfEnd--]]
```

●例 5

us_c_pr カテゴリで、アクションフィールドIDが「test1」のアクションフィールドの値が「if」を含む場合、コンテンツタイトルを出力します。

```
[[--ActionStart,us_c_pr,row:10--]]
[[--IfStart,IS:test1==if--]]
  [[--Arttitle--]]<br>
  -ActionField([[--Artfieldname,test1--]])= [[--Artfieldvalue,test1--]]<p>
[[--IfEnd--]]
[[--ActionEnd--]]
```

Then / Else	<p>If の条件結果によって処理を分岐します。</p> <p>Then : If の条件が満たされた場合に表示する内容を指定します。</p> <p>Else : If の条件に満たされなかった場合に表示する内容を指定します。</p> <p>※Else の中に If 文を記述することにより複雑な分岐処理にも対応可能です。</p> <p>●例</p> <p>表示するコンテンツにサムネイル(画像)が登録されている場合サムネイル(画像)を表示し、サムネイル(画像)が登録されていない場合は「準備中」というテキストを表示します。</p> <pre> [[--ActionStart,row:*--]] [[--IfStart,exist:ArtImage--]] [[--ThenStart--]] [[--ThenEnd--]] [[--ElseStart--]] 準備中 [[--ElseEnd--]] [[--IfEnd--]] [[--ActionEnd--]] </pre> <p>【注意事項】</p> <p>If 文に Then タグを使用しない場合、条件に合致しない際には If 文内に指定した内容の表示は行われませんが、内部的にアクションタグの解釈は行われますので注意してください。</p> <p>また、アクションタグの解釈を行う分、パフォーマンスが低下します。</p> <p>たとえば以下のような記述の場合、「check=yes」が成立しなくても変数「v01」には ArtText タグの値が格納されます。</p> <p>●例</p> <pre> [[--IfStart,is:check=yes--]] [[--RecordStart,name:v01--]][[--ArtText--]][[--RecordEnd--]] [[--IfEnd--]] </pre>
Type	<p>比較する対象に number または string タイプで指定します。</p> <p>●例</p> <p>us_c_pr カテゴリで、アクションフィールドIDが「test1」のアクションフィールド値を「number」タイプで比較をしたら、123456789より大きいと同じで値の場合コンテンツタイトルを出力します。</p> <pre> [[--ActionStart,us_c_pr,row:10--]] [[--IfStart,is:test1>=123456789,type:number--]] [[--Arttitle--]]
 -ActionField([[--Artfieldname,test1--]])= [[--Artfieldvalue,test1--]]<p> [[--IfEnd--]] [[--ActionEnd--]] </pre> <p>※ typeを未指定の場合、デフォルトで「String」タイプが設定されます。</p> <p>※ActionStart の search オプションの場合、それぞれのフィールドタイプで比較します。</p>

■ コンテンツタグ

4. コンテンツタグ

4-1 ArtWriter

コンテンツの登録者名を表示するタグです。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none"> ●例 [[--ArtWriter--]]
depth	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 1 : 自分(子コンテンツ) 2 : 親コンテンツ ●例 [[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtWriter--]] ... 子コンテンツの登録者 [[--ArtWriter,depth:2--]] ... 親コンテンツの登録者 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]
parent	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 yes : 使用する ●例 [[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtWriter--]] ... 子コンテンツの登録者 [[--ArtWriter,parent:yes--]] ... 親コンテンツの登録者 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]

4-2 ArtWriterEmail

コンテンツ登録者の E メールを表示するタグです。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 [[--ArtWriterEmail--]]
depth	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none">●予約語 1 : 自分(子コンテンツ) 2 : 親コンテンツ●例 [[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtWriterEmail--]] ... 子コンテンツの登録者のメール [[--ArtWriterEmail,depth:2--]] ... 親コンテンツの登録者のメール [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]
parent	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none">●予約語 yes : 使用する●例 [[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtWriterEmail--]] ... 子コンテンツの登録者のメール [[--ArtWriterEmail,parent:yes--]] ... 親コンテンツの登録者のメール [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]

4-3 ArtLastWriter

コンテンツの最終変更者の名前を表示します。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[[--ArtLastWriter--]]</pre>
depth	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 <pre>1 : 自分(子コンテンツ)</pre> <pre>2 : 親コンテンツ</pre> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtLastWriter--]] ... 子コンテンツの最終変更者 [[--ArtLastWriter,depth:2--]] ... 親コンテンツの最終変更者 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>
parent	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 <pre>yes : 使用する</pre> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtLastWriter--]] ... 子コンテンツの最終変更者 [[--ArtLastWriter,parent:yes--]] ... 親コンテンツの最終変更者 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>

4-4 ArtImage

コンテンツのサムネイル(画像)のパスを表示するタグです。コンテンツにサムネイルがない場合、配信およびプレビューエラーになります。If タグを使用して、画像がある場合のみ ArtImage を生成するように実装してください。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre></pre>
depth	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 <p>1 : 自分(子コンテンツ) 2 : 親コンテンツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[[:ActionStart,row:*-]] [[:ArtActionStart-]] ... 子コンテンツのサムネイル ... 親コンテンツのサムネイル [[:ArtActionEnd-]] [[:ActionEnd-]]</pre>
parent	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 <p>yes : 使用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[[:ActionStart,row:*-]] [[:ArtActionStart-]] ... 子コンテンツのサムネイル ... 親コンテンツのサムネイル [[:ArtActionEnd-]] [[:ActionEnd-]]</pre>

4-5 ArtText

コンテンツの[内容]を表示するタグです。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[[--ArtText--]]</pre>
Length	<p>表示する文字の長さを文字数で制限します。指定した文字数を超えた文字は「 ... 」にまとめられます。</p> <p>文字列の中に含まれる HTML タグは半角スペース 1 文字に置換された後、さらに連続する半角スペースを 1 文字として文字数をカウントします。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●例 <p>コンテンツの[内容]で表示される文字数を 20 文字に制限して表示します。</p> <pre>[[--ActionStart--]] [[--ArtText,length:20--]] [[--ActionEnd--]]</pre>
action	<p>コンテンツの[内容]に記述されたアクションタグを変換するか、文字として扱うかを指定します。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●データ値の予約語 <p>yes : 変換する(デフォルト)</p> <p>no : 変換せずにそのまま表示します。</p>
depth	<ul style="list-style-type: none"> ●例 <p>コンテンツの[内容]に記述されたアクションタグを変換せずにそのまま表示します。</p> <pre>[[--ActionStart--]] [[--ArtText,action:no--]] [[--ActionEnd--]]</pre>
	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。</p> <p>ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p>
parent	<ul style="list-style-type: none"> ●予約語 <p>1 : 自分(子コンテンツ)</p> <p>2 : 親コンテンツ</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtText--]] ... 子コンテンツのエディタ [[--ArtText,depth:2--]] ... 親コンテンツのエディタ [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>
parent	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。</p> <p>ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●予約語 <p>yes : 使用する</p>

	<div>●例</div> <div>[[--ActionStart,row:*--]]</div> <div> [[--ArtActionStart--]]</div> <div> [[--ArtText--]] ... 子コンテンツのエディタ</div> <div> [[--ArtText,parent:yes--]] ... 親コンテンツのエディタ</div> <div> [[--ArtActionEnd--]]</div> <div>[[--ActionEnd--]]</div>
--	--

4-6 ArtTitle

コンテンツのタイトルを表示するタグです。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[[--ArtTitle--]]</pre>
length	<p>表示する文字の長さを文字数で制限します。指定した文字数を超えた文字は「 ... 」にまとめられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <p>コンテンツのタイトルで表示される文字数を 20 文字に制限して表示します。</p> <pre>[[--ActionStart--]] [[--ArtTitle,length:20--]] [[--ActionEnd--]]</pre>
depth	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 <p>1 : 自分(子コンテンツ) 2 : 親コンテンツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtTitle--]] ... 子コンテンツのタイトル [[--ArtTitle,depth:2--]] ... 親コンテンツのタイトル [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>
parent	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 <p>yes : 使用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtTitle--]] ... 子コンテンツのタイトル [[--ArtTitle,parent:yes--]] ... 親コンテンツのタイトル [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>

4-7 ArtID

コンテンツの ID を表示するタグです。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 [[--ArtID--]]
depth	ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。
	<ul style="list-style-type: none">●予約語 1 : 自分(子コンテンツ) 2 : 親コンテンツ
	<ul style="list-style-type: none">●例 [[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtID--]] ... 子コンテンツの ID [[--ArtID,depth:2--]] ... 親コンテンツの ID [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]
parent	ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。
	<ul style="list-style-type: none">●予約語 yes : 使用する
	<ul style="list-style-type: none">●例 [[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtID--]] ... 子コンテンツの ID [[--ArtID,parent:yes--]] ... 親コンテンツの ID [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]

4-8 ArtIndex

コンテンツに対して連番を割り振り、表示します。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtIndex--]] [[--ActionEnd--]]</pre>
depth	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 <ul style="list-style-type: none"> 1 : 自分(子コンテンツ) 2 : 親コンテンツ ●例 <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtIndex--]] ... 子コンテンツの連番 [[--ArtIndex,depth:2--]] ... 親コンテンツの連番 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>
parent	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 <ul style="list-style-type: none"> yes : 使用する ●例 <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtIndex--]] ... 子コンテンツの連番 [[--ArtIndex,parent:yes--]] ... 親コンテンツの連番 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>

4-9 ArtAddress

コンテンツのアドレス情報を表示します。リンク先のストーリーテンプレートが存在しない場合、配信およびプレビューエラーになります。

アーティクルの[URL リンク]にアドレスを入力し「使用」にチェックを入れた場合、[URL リンク]に記述したアドレスを表示します。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 <code>リンクテキスト</code>
category	表示するコンテンツが登録されているカテゴリのカテゴリ ID を指定します。属性名は省略可能です。 ID 属性と組み合わせて使用します。
	<ul style="list-style-type: none">●例 us_ion カテゴリにあるコンテンツ ID:20 のアドレス情報を表示します。 <code>[[:ArtAddress,us_ion,id:20-]]</code>
form	カテゴリにストーリーテンプレートが複数存在する場合、テンプレート番号を指定します。 指定しない場合はテンプレート番号 1 のアドレスが指定されます。
	<ul style="list-style-type: none">●例 テンプレート番号 2 のアドレス情報を表示します。 <code>[[:ArtAddress,form:2-]]</code>
id	コンテンツ ID を明示的に指定します。 category 属性と組み合わせて使用します。
	<ul style="list-style-type: none">●例 us_ion カテゴリにある ID:20 のコンテンツアドレス情報を表示します。 <code>[[:ArtAddress,us_ion,id:20-]]</code>
depth	ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。
	<ul style="list-style-type: none">●予約語 1 : 自分(子コンテンツ) 2 : 親コンテンツ
	<ul style="list-style-type: none">●例 <code>[[:ActionStart,row:*-]] [[:ArtActionStart-]] [[:ArtTitle-]] ... 子コンテンツストーリーページへのリンク [[:ArtTitle-]] ... 親コンテンツストーリーページへのリンク [[:ArtActionEnd-]] [[:ActionEnd-]]</code>

parent	ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。
	●予約語 yes : 使用する
	●例 [[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtTitle--]] ... 子コンテンツストーリーページへのリンク [[--ArtTitle--]] ... 親コンテンツストーリーページへのリンク [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]
tplid	サイトカテゴリにストーリーテンプレートが複数存在する場合、テンプレート ID を指定します。 指定しない場合はカテゴリの 1 番のストーリーテンプレートが指定されます。
	●例 ID が 1192 のテンプレートのアドレス情報を表示します。 [[--ArtAddress,tplid:1192--]]

4-10 ArtUrl

アートの[URL リンク]に指定した URL を表示します。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>リンク</pre>
depth	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 <pre>1 : 自分(子コンテンツ) 2 : 親コンテンツ</pre> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[--ActionStart,row:*--] [--ArtActionStart--] [--ArtUrl--] ... 子コンテンツの URL へのリンク [--ArtUrl,depth:2--] ... 親コンテンツ URL へのリンク [--ArtActionEnd--] [--ActionEnd--]</pre>
parent	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 <pre>yes : 使用する</pre> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[--ActionStart,row:*--] [--ArtActionStart--] [--ArtUrl--] ... 子コンテンツの URL へのリンク [--ArtUrl--] ... 親コンテンツ URL へのリンク [--ArtActionEnd--] [--ActionEnd--]</pre>

4-11 ArtCatID

コンテンツが登録されているカテゴリのカテゴリ ID を表示します。

属性	属性説明
なし	●例 [[--ArtCatID--]]

4-12 ArtCatTitle

コンテンツが登録されているカテゴリのカテゴリ名を表示します。

属性	属性説明
なし	●例 [[--ArtCatTitle--]]
category	コンテンツが登録されているカテゴリのカテゴリ ID を指定します。
	●例 us_ion カテゴリに登録されたコンテンツのカテゴリ名を表示します。 [[--ArtCatTitle,category:us_ion--]]

4-13 ArtCatAddress

コンテンツが登録されているカテゴリのリストページのアドレス情報を表示します。リンク先のリストテンプレートが存在しないと配信およびプレビューエラーになります。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 <code>リンクテキスト</code>
category	<p>コンテンツが登録されているカテゴリのカテゴリ ID を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none">●例 us_ion カテゴリに登録されたリストページのアドレス情報を表示します。 <code>[ArtCatAddress,category:us_ion]</code>
form	<p>カテゴリにリストテンプレートが複数存在する場合、テンプレート番号を指定します。 指定しない場合はテンプレート番号 1 のアドレス情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none">●例 テンプレート番号 2 のリストページのアドレス情報を表示します。 <code>[ArtCatAddress,form:2]</code>
tplid	<p>サイトカテゴリにリストテンプレートが複数存在する場合、テンプレート ID を指定します。 指定しない場合はサイトカテゴリの 1 番のリストテンプレートが指定されます。</p> <ul style="list-style-type: none">●例 ID が 1192 のテンプレートのアドレス情報を表示します。 <code>[ArtCatAddress,tplid:1192]</code>

4-14 ArtKeyword

コンテンツのキーワードを表示します。各キーワードはカンマ「,」で区切られた状態で出力されます。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 [[--ArtKeyword--]]
depth	ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。
	<ul style="list-style-type: none">●予約語 1 : 自分(子コンテンツ) 2 : 親コンテンツ
	<ul style="list-style-type: none">●例 [[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtKeyword--]] ... 子コンテンツのキーワード [[--ArtKeyword,depth:2--]] ... 親コンテンツのキーワード [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]
parent	ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。
	<ul style="list-style-type: none">●予約語 yes : 使用する
	<ul style="list-style-type: none">●例 [[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtKeyword--]] ... 子コンテンツのキーワード [[--ArtKeyword,parent:yes--]] ... 親コンテンツのキーワード [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]

4-15 ArtLastWriterEmail

コンテンツの最終変更者の E メールアドレスを表示します。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none"> ●例 <code>[[--ArtLastWriterEmail--]]</code>
depth	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 1 : 自分(子コンテンツ) 2 : 親コンテンツ ●例 <code>[[--ActionStart,row:*--]]</code> <code>[[--ArtActionStart--]]</code> <code>[[--ArtLastWriterEmail--]]</code> ... 子コンテンツ最終変更者の E メールアドレス <code>[[--ArtLastWriterEmail,depth:2--]]</code> ... 親コンテンツの最終変更者の E メールアドレス <code>[[--ArtActionEnd--]]</code> <code>[[--ActionEnd--]]</code>
parent	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 yes : 使用する ●例 <code>[[--ActionStart,row:*--]]</code> <code>[[--ArtActionStart--]]</code> <code>[[--ArtLastWriterEmail--]]</code> ... 子コンテンツ最終変更者のメールアドレス <code>[[--ArtLastWriterEmail,parent:yes--]]</code> ... 親コンテンツ最終変更者のメールアドレス <code>[[--ArtActionEnd--]]</code> <code>[[--ActionEnd--]]</code>

5. 日付タグ

5-1 ArtWriteDate

コンテンツの登録日を表示します。属性を特に指定しない場合、コンテンツの登録日を「yyyy-mm-dd」形式で表示します。

属性	属性説明																																																												
format	日付表記のフォーマットを指定します。																																																												
	●予約値																																																												
	<table><tr><th>文字</th><th>説明</th><th>例</th></tr><tr><td>%Y</td><td>年(4 文字)</td><td>2012</td></tr><tr><td>%y</td><td>年(2 文字)</td><td>12</td></tr><tr><td>%m</td><td>月</td><td>03</td></tr><tr><td>%d</td><td>日</td><td>25</td></tr></table>	文字	説明	例	%Y	年(4 文字)	2012	%y	年(2 文字)	12	%m	月	03	%d	日	25																																													
	文字	説明	例																																																										
	%Y	年(4 文字)	2012																																																										
%y	年(2 文字)	12																																																											
%m	月	03																																																											
%d	日	25																																																											
大文字小文字を区別します。																																																													
●例																																																													
登録日を「2012 年 5 月 30 日」形式で表示します。 [[--ArtWriteDate,format:%Y 年%m 月%d 日--]]																																																													
pattern	format 属性より詳細な日付表記が可能です。 Java「java.text.SimpleDateFormat」クラスのフォーマット規則に従います。																																																												
	●予約値																																																												
	<table><tr><th>文字</th><th>説明</th><th>例</th></tr><tr><td>G</td><td>紀元</td><td>西暦</td></tr><tr><td>y</td><td>年</td><td>2012,12</td></tr><tr><td>M</td><td>月</td><td>07</td></tr><tr><td>w</td><td>年における週</td><td>27</td></tr><tr><td>W</td><td>月における週</td><td>2</td></tr><tr><td>D</td><td>年における日</td><td>189</td></tr><tr><td>d</td><td>月における日</td><td>10</td></tr><tr><td>F</td><td>月における曜日</td><td>2</td></tr><tr><td>E</td><td>曜日</td><td>木</td></tr><tr><td>a</td><td>午前/午後</td><td>午後</td></tr><tr><td>H</td><td>一日における時(0~23)</td><td>0</td></tr><tr><td>k</td><td>一日における時(1~24)</td><td>24</td></tr><tr><td>K</td><td>午前/午後の時(0~11)</td><td>0</td></tr><tr><td>h</td><td>午前/午後の時(1~12)</td><td>12</td></tr><tr><td>m</td><td>分</td><td>30</td></tr><tr><td>s</td><td>秒</td><td>55</td></tr><tr><td>S</td><td>ミリ秒</td><td>978</td></tr><tr><td>z</td><td>タイムゾーン</td><td>JST,Japan Standard Time</td></tr><tr><td>Z</td><td>RFC822 タイムゾーン</td><td>+0900</td></tr></table>	文字	説明	例	G	紀元	西暦	y	年	2012,12	M	月	07	w	年における週	27	W	月における週	2	D	年における日	189	d	月における日	10	F	月における曜日	2	E	曜日	木	a	午前/午後	午後	H	一日における時(0~23)	0	k	一日における時(1~24)	24	K	午前/午後の時(0~11)	0	h	午前/午後の時(1~12)	12	m	分	30	s	秒	55	S	ミリ秒	978	z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time	Z	RFC822 タイムゾーン	+0900
文字	説明	例																																																											
G	紀元	西暦																																																											
y	年	2012,12																																																											
M	月	07																																																											
w	年における週	27																																																											
W	月における週	2																																																											
D	年における日	189																																																											
d	月における日	10																																																											
F	月における曜日	2																																																											
E	曜日	木																																																											
a	午前/午後	午後																																																											
H	一日における時(0~23)	0																																																											
k	一日における時(1~24)	24																																																											
K	午前/午後の時(0~11)	0																																																											
h	午前/午後の時(1~12)	12																																																											
m	分	30																																																											
s	秒	55																																																											
S	ミリ秒	978																																																											
z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time																																																											
Z	RFC822 タイムゾーン	+0900																																																											
	大文字小文字を区別します。																																																												

	<ul style="list-style-type: none"> ●例 <p>登録日を「西暦 2012/03/18 at 14:47:33 JST」形式で表示します。</p> <pre>[[--ArtWriteDate,pattern:Gyyyy/MM/dd 'at' HH:mm:ss z--]]</pre>
locale	<p>pattern 文字列の言語設定を指定します。使用可能な値は以下の URL をご確認ください。</p> <p>ISO Language Code(ISO-639 に定義された小文字二文字コード) http://www.loc.gov/standards/iso639-2/php/English_list.php</p> <p>ISOCountryCode(ISO-3166 に定義された小文字二文字コード) http://www.chemie.fu-berlin.de/diverse/doc/ISO_3166.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約値 <p>ja : 日本語 en : 英語 ko : 韓国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <p>登録日を「AD2012/03/18 at 14:47:33 JST」形式で表示します。</p> <pre>[[--ArtWriteDate,pattern:Gyyyy/MM/dd 'at' HH:mm:ss z,locale:en--]]</pre>
depth	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。</p> <p>ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 <p>1 : 自分(子コンテンツ) 2 : 親コンテンツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtWriteDate --]] ... 子コンテンツの登録日 [[--ArtWriteDate,depth:2--]] ... 親コンテンツの登録日 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>
parent	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。</p> <p>ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 <p>yes : 使用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtWriteDate--]] ... 子コンテンツの登録日 [[--ArtWriteDate,parent:yes--]] ... 親コンテンツの登録日 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>

5-2 ArtWriteTime

コンテンツの登録時刻を表示します。特に属性を指定しない場合、コンテンツ登録時刻を「hh:mm:ss」形式で表示します。

属性	属性説明																																																												
format	日付表記のフォーマットを指定します。																																																												
	●予約値																																																												
	<table><tr><th>文字</th><th>説明</th><th>例</th></tr><tr><td>%H</td><td>時(24 時間)</td><td>21</td></tr><tr><td>%h</td><td>時(12 時間)</td><td>09</td></tr><tr><td>%M</td><td>分</td><td>24</td></tr><tr><td>%S</td><td>秒</td><td>25</td></tr><tr><td>%p</td><td>午前/午後</td><td>午前,午後</td></tr></table>	文字	説明	例	%H	時(24 時間)	21	%h	時(12 時間)	09	%M	分	24	%S	秒	25	%p	午前/午後	午前,午後																																										
	文字	説明	例																																																										
	%H	時(24 時間)	21																																																										
%h	時(12 時間)	09																																																											
%M	分	24																																																											
%S	秒	25																																																											
%p	午前/午後	午前,午後																																																											
大文字小文字を区別します。																																																													
●例																																																													
登録時刻を「午後 1 時 20 分」形式で表示します。 [[--ArtWriteTime,format:%p%h 時%M 分--]]																																																													
pattern	format 属性より詳細な時間表記が可能です。 Java「java.text.SimpleDateFormat」クラスのフォーマット規則に従います。																																																												
	●予約値																																																												
	<table><tr><th>文字</th><th>説明</th><th>例</th></tr><tr><td>G</td><td>紀元</td><td>西暦</td></tr><tr><td>y</td><td>年</td><td>2012,12</td></tr><tr><td>M</td><td>月</td><td>07</td></tr><tr><td>w</td><td>年における週</td><td>27</td></tr><tr><td>W</td><td>月における週</td><td>2</td></tr><tr><td>D</td><td>年における日</td><td>189</td></tr><tr><td>d</td><td>月における日</td><td>10</td></tr><tr><td>F</td><td>月における曜日</td><td>2</td></tr><tr><td>E</td><td>曜日</td><td>木</td></tr><tr><td>a</td><td>午前/午後</td><td>午後</td></tr><tr><td>H</td><td>一日における時(0~23)</td><td>0</td></tr><tr><td>k</td><td>一日における時(1~24)</td><td>24</td></tr><tr><td>K</td><td>午前/午後の時(0~11)</td><td>0</td></tr><tr><td>h</td><td>午前/午後の時(1~12)</td><td>12</td></tr><tr><td>m</td><td>分</td><td>30</td></tr><tr><td>s</td><td>秒</td><td>55</td></tr><tr><td>S</td><td>ミリ秒</td><td>978</td></tr><tr><td>z</td><td>タイムゾーン</td><td>JST,Japan Standard Time</td></tr><tr><td>Z</td><td>RFC822 タイムゾーン</td><td>+0900</td></tr></table>	文字	説明	例	G	紀元	西暦	y	年	2012,12	M	月	07	w	年における週	27	W	月における週	2	D	年における日	189	d	月における日	10	F	月における曜日	2	E	曜日	木	a	午前/午後	午後	H	一日における時(0~23)	0	k	一日における時(1~24)	24	K	午前/午後の時(0~11)	0	h	午前/午後の時(1~12)	12	m	分	30	s	秒	55	S	ミリ秒	978	z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time	Z	RFC822 タイムゾーン	+0900
文字	説明	例																																																											
G	紀元	西暦																																																											
y	年	2012,12																																																											
M	月	07																																																											
w	年における週	27																																																											
W	月における週	2																																																											
D	年における日	189																																																											
d	月における日	10																																																											
F	月における曜日	2																																																											
E	曜日	木																																																											
a	午前/午後	午後																																																											
H	一日における時(0~23)	0																																																											
k	一日における時(1~24)	24																																																											
K	午前/午後の時(0~11)	0																																																											
h	午前/午後の時(1~12)	12																																																											
m	分	30																																																											
s	秒	55																																																											
S	ミリ秒	978																																																											
z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time																																																											
Z	RFC822 タイムゾーン	+0900																																																											
	大文字小文字を区別します。																																																												

	<ul style="list-style-type: none"> ●例 <p>登録時刻を「at 15:15:23 JST」形式で表示します。</p> <pre>[[--ArtWriteTime,pattern:'at' HH:mm:ss z--]]</pre>
locale	<p>pattern 文字列の言語設定を指定します。使用可能な値は以下の URL をご確認ください。</p> <p>ISO Language Code(ISO-639 に定義された小文字二文字コード) http://www.loc.gov/standards/iso639-2/php/English_list.php</p> <p>ISOCountryCode(ISO-3166 に定義された小文字二文字コード) http://www.chemie.fu-berlin.de/diverse/doc/ISO_3166.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約値 <p>ja : 日本語 en : 英語 ko : 韓国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <p>登録時刻を「at 14:47:33 JST」形式で表示します。</p> <pre>[[--ArtWriteTime,pattern:'at' HH:mm:ss z,locale:en--]]</pre>
depth	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 <p>1 : 自分(子コンテンツ) 2 : 親コンテンツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtWriteTime--]] ... 子コンテンツの登録時刻 [[--ArtWriteTime,depth:2--]] ... 親コンテンツの登録時刻 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>
parent	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 <p>yes : 使用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtWriteTime--]] ... 子コンテンツの登録時刻 [[--ArtWriteTime,parent:yes--]] ... 親コンテンツの登録時刻 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>

5-3 ArtStartDate

コンテンツの掲示開始日を表示します。特に属性を指定しない場合、掲示開始日を「yyyy-mm-dd」形式で表示します。

属性	属性説明																																																												
format	日付表記のフォーマットを指定します。																																																												
	●予約値																																																												
	<table><tr><th>文字</th><th>説明</th><th>例</th></tr><tr><td>%Y</td><td>年(4文字)</td><td>2012</td></tr><tr><td>%y</td><td>年(2文字)</td><td>12</td></tr><tr><td>%m</td><td>月</td><td>03</td></tr><tr><td>%d</td><td>日</td><td>25</td></tr></table>	文字	説明	例	%Y	年(4文字)	2012	%y	年(2文字)	12	%m	月	03	%d	日	25																																													
	文字	説明	例																																																										
	%Y	年(4文字)	2012																																																										
%y	年(2文字)	12																																																											
%m	月	03																																																											
%d	日	25																																																											
大文字小文字を区別します。																																																													
●例																																																													
掲示開始日を「2012 年 03 月 18 日」形式で表示します。 [[--ArtStartDate,format:%Y 年%m 月%d 日--]]																																																													
pattern	format 属性より詳細な日付表記が可能です。 Java「java.text.SimpleDateFormat」クラスのフォーマット規則に従います。																																																												
	●予約値																																																												
	<table><tr><th>文字</th><th>説明</th><th>例</th></tr><tr><td>G</td><td>紀元</td><td>西暦</td></tr><tr><td>y</td><td>年</td><td>2012,12</td></tr><tr><td>M</td><td>月</td><td>07</td></tr><tr><td>w</td><td>年における週</td><td>27</td></tr><tr><td>W</td><td>月における週</td><td>2</td></tr><tr><td>D</td><td>年における日</td><td>189</td></tr><tr><td>d</td><td>月における日</td><td>10</td></tr><tr><td>F</td><td>月における曜日</td><td>2</td></tr><tr><td>E</td><td>曜日</td><td>木</td></tr><tr><td>a</td><td>午前/午後</td><td>午後</td></tr><tr><td>H</td><td>一日における時(0~23)</td><td>0</td></tr><tr><td>k</td><td>一日における時(1~24)</td><td>24</td></tr><tr><td>K</td><td>午前/午後の時(0~11)</td><td>0</td></tr><tr><td>h</td><td>午前/午後の時(1~12)</td><td>12</td></tr><tr><td>m</td><td>分</td><td>30</td></tr><tr><td>s</td><td>秒</td><td>55</td></tr><tr><td>S</td><td>ミリ秒</td><td>978</td></tr><tr><td>z</td><td>タイムゾーン</td><td>JST,Japan Standard Time</td></tr><tr><td>Z</td><td>RFC822 タイムゾーン</td><td>+0900</td></tr></table>	文字	説明	例	G	紀元	西暦	y	年	2012,12	M	月	07	w	年における週	27	W	月における週	2	D	年における日	189	d	月における日	10	F	月における曜日	2	E	曜日	木	a	午前/午後	午後	H	一日における時(0~23)	0	k	一日における時(1~24)	24	K	午前/午後の時(0~11)	0	h	午前/午後の時(1~12)	12	m	分	30	s	秒	55	S	ミリ秒	978	z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time	Z	RFC822 タイムゾーン	+0900
文字	説明	例																																																											
G	紀元	西暦																																																											
y	年	2012,12																																																											
M	月	07																																																											
w	年における週	27																																																											
W	月における週	2																																																											
D	年における日	189																																																											
d	月における日	10																																																											
F	月における曜日	2																																																											
E	曜日	木																																																											
a	午前/午後	午後																																																											
H	一日における時(0~23)	0																																																											
k	一日における時(1~24)	24																																																											
K	午前/午後の時(0~11)	0																																																											
h	午前/午後の時(1~12)	12																																																											
m	分	30																																																											
s	秒	55																																																											
S	ミリ秒	978																																																											
z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time																																																											
Z	RFC822 タイムゾーン	+0900																																																											
	大文字小文字を区別します。																																																												

	<ul style="list-style-type: none"> ●例 <p>掲示開始日を「2012.03.18 西暦」形式で表示します。</p> <pre>[[--ArtStartDate,pattern:yyyy.MM.dd G--]]</pre>
locale	<p>pattern 文字列の言語設定を指定します。使用可能な値は以下の URL をご確認ください。</p> <p>ISO Language Code(ISO-639 に定義された小文字二文字コード) http://www.loc.gov/standards/iso639-2/php/English_list.php</p> <p>ISOCountryCode(ISO-3166 に定義された小文字二文字コード) http://www.chemie.fu-berlin.de/diverse/doc/ISO_3166.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約値 <p>ja : 日本語 en : 英語 ko : 韓国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <p>掲示開始日を「2012.03.18 AD」形式で表示します。</p> <pre>[[--ArtStartDate,pattern:yyyy.MM.dd G,locale:en--]]</pre>
depth	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 <p>1 : 自分(子コンテンツ) 2 : 親コンテンツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtStartDate--]] ... 子コンテンツの掲示開始日 [[--ArtStartDate,depth:2--]] ... 親コンテンツの掲示開始日 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>
parent	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 <p>yes : 使用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtStartDate--]] ... 子コンテンツの掲示開始日 [[--ArtStartDate,parent:yes--]] ... 親コンテンツの掲示開始日 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>

5-4 ArtStartTime

コンテンツの掲示開始時刻を表示します。特に属性を指定しない場合、掲示開始時刻を「hh:mm:ss」形式で表示します。

属性	属性説明																																																												
format	日付表記のフォーマットを指定します。																																																												
	●予約値																																																												
	<table><tr><th>文字</th><th>説明</th><th>例</th></tr><tr><td>%H</td><td>時(24 時間)</td><td>21</td></tr><tr><td>%h</td><td>時(12 時間)</td><td>09</td></tr><tr><td>%M</td><td>分</td><td>24</td></tr><tr><td>%S</td><td>秒</td><td>25</td></tr><tr><td>%p</td><td>午前/午後</td><td>午前,午後</td></tr></table>	文字	説明	例	%H	時(24 時間)	21	%h	時(12 時間)	09	%M	分	24	%S	秒	25	%p	午前/午後	午前,午後																																										
	文字	説明	例																																																										
	%H	時(24 時間)	21																																																										
%h	時(12 時間)	09																																																											
%M	分	24																																																											
%S	秒	25																																																											
%p	午前/午後	午前,午後																																																											
大文字小文字を区別します。																																																													
●例																																																													
掲示開始時刻を「午後 02 時 50 分」形式で表示します。 [[--ArtStartTime,format:%p%h 時%M 分--]]																																																													
pattern	format 属性より詳細な時間表記が可能です。 Java「java.text.SimpleDateFormat」クラスのフォーマット規則に従います。																																																												
	●予約値																																																												
	<table><tr><th>文字</th><th>説明</th><th>例</th></tr><tr><td>G</td><td>紀元</td><td>西暦</td></tr><tr><td>y</td><td>年</td><td>2012,12</td></tr><tr><td>M</td><td>月</td><td>07</td></tr><tr><td>w</td><td>年における週</td><td>27</td></tr><tr><td>W</td><td>月における週</td><td>2</td></tr><tr><td>D</td><td>年における日</td><td>189</td></tr><tr><td>d</td><td>月における日</td><td>10</td></tr><tr><td>F</td><td>月における曜日</td><td>2</td></tr><tr><td>E</td><td>曜日</td><td>木</td></tr><tr><td>a</td><td>午前/午後</td><td>午後</td></tr><tr><td>H</td><td>一日における時(0~23)</td><td>0</td></tr><tr><td>k</td><td>一日における時(1~24)</td><td>24</td></tr><tr><td>K</td><td>午前/午後の時(0~11)</td><td>0</td></tr><tr><td>h</td><td>午前/午後の時(1~12)</td><td>12</td></tr><tr><td>m</td><td>分</td><td>30</td></tr><tr><td>s</td><td>秒</td><td>55</td></tr><tr><td>S</td><td>ミリ秒</td><td>978</td></tr><tr><td>z</td><td>タイムゾーン</td><td>JST,Japan Standard Time</td></tr><tr><td>Z</td><td>RFC822 タイムゾーン</td><td>+0900</td></tr></table>	文字	説明	例	G	紀元	西暦	y	年	2012,12	M	月	07	w	年における週	27	W	月における週	2	D	年における日	189	d	月における日	10	F	月における曜日	2	E	曜日	木	a	午前/午後	午後	H	一日における時(0~23)	0	k	一日における時(1~24)	24	K	午前/午後の時(0~11)	0	h	午前/午後の時(1~12)	12	m	分	30	s	秒	55	S	ミリ秒	978	z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time	Z	RFC822 タイムゾーン	+0900
文字	説明	例																																																											
G	紀元	西暦																																																											
y	年	2012,12																																																											
M	月	07																																																											
w	年における週	27																																																											
W	月における週	2																																																											
D	年における日	189																																																											
d	月における日	10																																																											
F	月における曜日	2																																																											
E	曜日	木																																																											
a	午前/午後	午後																																																											
H	一日における時(0~23)	0																																																											
k	一日における時(1~24)	24																																																											
K	午前/午後の時(0~11)	0																																																											
h	午前/午後の時(1~12)	12																																																											
m	分	30																																																											
s	秒	55																																																											
S	ミリ秒	978																																																											
z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time																																																											
Z	RFC822 タイムゾーン	+0900																																																											
	大文字小文字を区別します。																																																												

	<p>●例</p> <p>掲示開始時刻を「at 15:15:23 JST」形式で表示します。</p> <pre>[[--ArtStartTime,pattern:'at' HH:mm:ss z--]]</pre>
locale	<p>pattern 文字列の言語設定を指定します。使用可能な値は以下の URL をご確認ください。</p> <p>ISO Language Code(ISO-639 に定義された小文字二文字コード) http://www.loc.gov/standards/iso639-2/php/English_list.php</p> <p>ISOCountryCode(ISO-3166 に定義された小文字二文字コード) http://www.chemie.fu-berlin.de/diverse/doc/ISO_3166.html</p> <p>●予約値</p> <p>ja : 日本語 en : 英語 ko : 韓国語</p> <p>●例</p> <p>掲示開始時刻を「at 14:50:23 JST」形式で表示します。</p> <pre>[[--ArtStartTime,pattern:'at' HH:mm:ss z,locale:en--]]</pre>
depth	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <p>●予約語</p> <p>1 : 自分(子コンテンツ) 2 : 親コンテンツ</p> <p>●例</p> <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtStartTime--]] ... 子コンテンツの掲示開始時刻 [[--ArtStartTime,depth:2--]] ... 親コンテンツの掲示開始時刻 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>
parent	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <p>●予約語</p> <p>yes : 使用する</p> <p>●例</p> <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtStartTime--]]...子コンテンツの掲示開始時刻 [[--ArtStartTime,parent:yes--]]...親コンテンツの掲示開始時刻 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>

5-5 ArtEndDate

コンテンツの掲示終了日を表示します。特に属性を指定しない場合、掲示終了日を「yyyy-mm-dd 形式で表示します。

属性	属性説明																																																												
format	日付表記のフォーマットを指定します。																																																												
	●予約値																																																												
	<table><tr><th>文字</th><th>説明</th><th>例</th></tr><tr><td>%Y</td><td>年(4文字)</td><td>2012</td></tr><tr><td>%y</td><td>年(2文字)</td><td>12</td></tr><tr><td>%m</td><td>月</td><td>03</td></tr><tr><td>%d</td><td>日</td><td>25</td></tr></table>	文字	説明	例	%Y	年(4文字)	2012	%y	年(2文字)	12	%m	月	03	%d	日	25																																													
	文字	説明	例																																																										
	%Y	年(4文字)	2012																																																										
%y	年(2文字)	12																																																											
%m	月	03																																																											
%d	日	25																																																											
大文字小文字を区別します。																																																													
●例																																																													
掲示終了日を「12 月 31 日 2012 年」形式で表示します。 [[--ArtEndDate,format:%m 月%d 日%Y 年--]]																																																													
pattern	format 属性より詳細な日付表記が可能です。 Java「java.text.SimpleDateFormat」クラスのフォーマット規則に従います。																																																												
	●予約値																																																												
	<table><tr><th>文字</th><th>説明</th><th>例</th></tr><tr><td>G</td><td>紀元</td><td>西暦</td></tr><tr><td>y</td><td>年</td><td>2012,12</td></tr><tr><td>M</td><td>月</td><td>07</td></tr><tr><td>w</td><td>年における週</td><td>27</td></tr><tr><td>W</td><td>月における週</td><td>2</td></tr><tr><td>D</td><td>年における日</td><td>189</td></tr><tr><td>d</td><td>月における日</td><td>10</td></tr><tr><td>F</td><td>月における曜日</td><td>2</td></tr><tr><td>E</td><td>曜日</td><td>木</td></tr><tr><td>a</td><td>午前/午後</td><td>午後</td></tr><tr><td>H</td><td>一日における時(0~23)</td><td>0</td></tr><tr><td>k</td><td>一日における時(1~24)</td><td>24</td></tr><tr><td>K</td><td>午前/午後の時(0~11)</td><td>0</td></tr><tr><td>h</td><td>午前/午後の時(1~12)</td><td>12</td></tr><tr><td>m</td><td>分</td><td>30</td></tr><tr><td>s</td><td>秒</td><td>55</td></tr><tr><td>S</td><td>ミリ秒</td><td>978</td></tr><tr><td>z</td><td>タイムゾーン</td><td>JST,Japan Standard Time</td></tr><tr><td>Z</td><td>RFC822 タイムゾーン</td><td>+0900</td></tr></table>	文字	説明	例	G	紀元	西暦	y	年	2012,12	M	月	07	w	年における週	27	W	月における週	2	D	年における日	189	d	月における日	10	F	月における曜日	2	E	曜日	木	a	午前/午後	午後	H	一日における時(0~23)	0	k	一日における時(1~24)	24	K	午前/午後の時(0~11)	0	h	午前/午後の時(1~12)	12	m	分	30	s	秒	55	S	ミリ秒	978	z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time	Z	RFC822 タイムゾーン	+0900
文字	説明	例																																																											
G	紀元	西暦																																																											
y	年	2012,12																																																											
M	月	07																																																											
w	年における週	27																																																											
W	月における週	2																																																											
D	年における日	189																																																											
d	月における日	10																																																											
F	月における曜日	2																																																											
E	曜日	木																																																											
a	午前/午後	午後																																																											
H	一日における時(0~23)	0																																																											
k	一日における時(1~24)	24																																																											
K	午前/午後の時(0~11)	0																																																											
h	午前/午後の時(1~12)	12																																																											
m	分	30																																																											
s	秒	55																																																											
S	ミリ秒	978																																																											
z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time																																																											
Z	RFC822 タイムゾーン	+0900																																																											
	大文字小文字を区別します。																																																												

	<ul style="list-style-type: none"> ●例 <p>掲示終了日を「2012.12.31 西暦」で表示します。</p> <pre>[[--ArtEndDate,pattern:yyyy.MM.dd G--]]</pre>
locale	<p>pattern 文字列の言語設定を指定します。使用可能な値は以下の URL をご確認ください。</p> <p>ISO Language Code(ISO-639 に定義された小文字二文字コード) http://www.loc.gov/standards/iso639-2/php/English_list.php</p> <p>ISOCountryCode(ISO-3166 に定義された小文字二文字コード) http://www.chemie.fu-berlin.de/diverse/doc/ISO_3166.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約値 <p>ja : 日本語 en : 英語 ko : 韓国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <p>掲示終了日を「2012.12.31 AD」形式で表示します。</p> <pre>[[--ArtEndDate,pattern:yyyy.MM.dd G,locale:en--]]</pre>
depth	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 <p>1 : 自分(子コンテンツ) 2 : 親コンテンツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtEndDate--]] ... 子コンテンツの掲示終了日 [[--ArtEndDate,depth:2--]] ... 親コンテンツの掲示終了日 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>
parent	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予約語 <p>yes : 使用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●例 <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtEndDate--]] ... 子コンテンツの掲示終了日 [[--ArtEndDate,parent:yes--]] ... 親コンテンツの掲示終了日 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>

5-6 ArtLastUpDate

コンテンツの最終変更日を表示します。特に属性を指定しない場合、最終変更日を「yyyy-mm-dd hh:mi:ss」形式で表示します。

属性	属性説明																																																												
format	日付表記のフォーマットを指定します。																																																												
	●予約値																																																												
	<table><tr><th>文字</th><th>説明</th><th>例</th></tr><tr><td>%Y</td><td>年(4文字)</td><td>2012</td></tr><tr><td>%y</td><td>年(2文字)</td><td>12</td></tr><tr><td>%m</td><td>月</td><td>03</td></tr><tr><td>%d</td><td>日</td><td>25</td></tr></table>	文字	説明	例	%Y	年(4文字)	2012	%y	年(2文字)	12	%m	月	03	%d	日	25																																													
	文字	説明	例																																																										
	%Y	年(4文字)	2012																																																										
%y	年(2文字)	12																																																											
%m	月	03																																																											
%d	日	25																																																											
大文字小文字を区別します。																																																													
●例																																																													
最終変更日を「12 月 31 日 2012 年」形式で表示します。 [[--ArtLastUpDate,format:%m 月%d 日%Y 年--]]																																																													
pattern	format 属性より詳細な時間表記が可能です。 Java「java.text.SimpleDateFormat」クラスのフォーマット規則に従います。																																																												
	●予約値																																																												
	<table><tr><th>文字</th><th>説明</th><th>例</th></tr><tr><td>G</td><td>紀元</td><td>西暦</td></tr><tr><td>y</td><td>年</td><td>2012,12</td></tr><tr><td>M</td><td>月</td><td>07</td></tr><tr><td>w</td><td>年における週</td><td>27</td></tr><tr><td>W</td><td>月における週</td><td>2</td></tr><tr><td>D</td><td>年における日</td><td>189</td></tr><tr><td>d</td><td>月における日</td><td>10</td></tr><tr><td>F</td><td>月における曜日</td><td>2</td></tr><tr><td>E</td><td>曜日</td><td>木</td></tr><tr><td>a</td><td>午前 / 午後</td><td>午後</td></tr><tr><td>H</td><td>一日における時(0~23)</td><td>0</td></tr><tr><td>k</td><td>一日における時(1~24)</td><td>24</td></tr><tr><td>K</td><td>午前 / 午後の時(0~11)</td><td>0</td></tr><tr><td>h</td><td>午前 / 午後の時(1~12)</td><td>12</td></tr><tr><td>m</td><td>分</td><td>30</td></tr><tr><td>s</td><td>秒</td><td>55</td></tr><tr><td>S</td><td>ミリ秒</td><td>978</td></tr><tr><td>z</td><td>タイムゾーン</td><td>JST,Japan Standard Time</td></tr><tr><td>Z</td><td>RFC822 タイムゾーン</td><td>+0900</td></tr></table>	文字	説明	例	G	紀元	西暦	y	年	2012,12	M	月	07	w	年における週	27	W	月における週	2	D	年における日	189	d	月における日	10	F	月における曜日	2	E	曜日	木	a	午前 / 午後	午後	H	一日における時(0~23)	0	k	一日における時(1~24)	24	K	午前 / 午後の時(0~11)	0	h	午前 / 午後の時(1~12)	12	m	分	30	s	秒	55	S	ミリ秒	978	z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time	Z	RFC822 タイムゾーン	+0900
文字	説明	例																																																											
G	紀元	西暦																																																											
y	年	2012,12																																																											
M	月	07																																																											
w	年における週	27																																																											
W	月における週	2																																																											
D	年における日	189																																																											
d	月における日	10																																																											
F	月における曜日	2																																																											
E	曜日	木																																																											
a	午前 / 午後	午後																																																											
H	一日における時(0~23)	0																																																											
k	一日における時(1~24)	24																																																											
K	午前 / 午後の時(0~11)	0																																																											
h	午前 / 午後の時(1~12)	12																																																											
m	分	30																																																											
s	秒	55																																																											
S	ミリ秒	978																																																											
z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time																																																											
Z	RFC822 タイムゾーン	+0900																																																											
	大文字小文字を区別します。																																																												

	<p>●例 最終変更日を「2012/4/6(木)」形式で表示します。 [[--ArtLastUpdate,pattern:yyyy/M/d(E)--]]</p>
locale	<p>pattern 文字列の言語設定を指定します。使用可能な値は以下の URL をご確認ください。 ISO Language Code (ISO-639 に定義された小文字二文字コード) http://www.loc.gov/standards/iso639-2/php/English_list.php ISOCountryCode (ISO-3166 に定義された小文字二文字コード) http://www.chemie.fu-berlin.de/diverse/doc/ISO_3166.html</p> <p>●予約値 ja : 日本語 en : 英語 ko : 韓国語</p> <p>●例 最終変更日を「2012/4/6(木)」形式で表示します。 [[--ArtLastUpdate,pattern:yyyy/M/d(E),locale:en--]]</p>
depth	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <p>●予約語 1 : 自分(子コンテンツ) 2 : 親コンテンツ</p> <p>●例 [[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtLastUpdate--]] ... 子コンテンツの最終変更日 [[--ArtLastUpdate,depth:2--]] ... 親コンテンツの最終変更日 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]</p>
parent	<p>ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。</p> <p>●予約語 yes : 使用する</p> <p>●例 [[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtLastUpdate--]] ... 子コンテンツの最終変更日 [[--ArtLastUpdate,parent:yes--]] ... 親コンテンツの最終変更日 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]</p>

5-7 Date

配信もしくはプレビューされた日付を表示します。

属性	属性説明																																																												
format	日付表記のフォーマットを指定します。																																																												
	●予約値																																																												
	<table><tr><th>文字</th><th>説明</th><th>例</th></tr><tr><td>%Y</td><td>年(4文字)</td><td>2012</td></tr><tr><td>%y</td><td>年(2文字)</td><td>12</td></tr><tr><td>%m</td><td>月</td><td>03</td></tr><tr><td>%d</td><td>日</td><td>25</td></tr></table>	文字	説明	例	%Y	年(4文字)	2012	%y	年(2文字)	12	%m	月	03	%d	日	25																																													
	文字	説明	例																																																										
	%Y	年(4文字)	2012																																																										
%y	年(2文字)	12																																																											
%m	月	03																																																											
%d	日	25																																																											
大文字小文字を区別します。																																																													
●例																																																													
配信もしくはプレビューされた日付を「05 月 06 日 2012 年」形式で表示します。 [[--Date,format:%m 月%d 日%Y 年--]]																																																													
pattern	format 属性より詳細な日付表記が可能です。 Java「java.text.SimpleDateFormat」クラスのフォーマット規則に従います。																																																												
	●予約値																																																												
	<table><tr><th>文字</th><th>説明</th><th>例</th></tr><tr><td>G</td><td>紀元</td><td>西暦</td></tr><tr><td>y</td><td>年</td><td>2012,12</td></tr><tr><td>M</td><td>月</td><td>07</td></tr><tr><td>w</td><td>年における週</td><td>27</td></tr><tr><td>W</td><td>月における週</td><td>2</td></tr><tr><td>D</td><td>年における日</td><td>189</td></tr><tr><td>d</td><td>月における日</td><td>10</td></tr><tr><td>F</td><td>月における曜日</td><td>2</td></tr><tr><td>E</td><td>曜日</td><td>木</td></tr><tr><td>a</td><td>午前/午後</td><td>午後</td></tr><tr><td>H</td><td>一日における時(0~23)</td><td>0</td></tr><tr><td>k</td><td>一日における時(1~24)</td><td>24</td></tr><tr><td>K</td><td>午前 / 午後の時(0~11)</td><td>0</td></tr><tr><td>h</td><td>午前 / 午後の時(1~12)</td><td>12</td></tr><tr><td>m</td><td>分</td><td>30</td></tr><tr><td>s</td><td>秒</td><td>55</td></tr><tr><td>S</td><td>ミリ秒</td><td>978</td></tr><tr><td>z</td><td>タイムゾーン</td><td>JST,Japan Standard Time</td></tr><tr><td>Z</td><td>RFC822 タイムゾーン</td><td>+0900</td></tr></table>	文字	説明	例	G	紀元	西暦	y	年	2012,12	M	月	07	w	年における週	27	W	月における週	2	D	年における日	189	d	月における日	10	F	月における曜日	2	E	曜日	木	a	午前/午後	午後	H	一日における時(0~23)	0	k	一日における時(1~24)	24	K	午前 / 午後の時(0~11)	0	h	午前 / 午後の時(1~12)	12	m	分	30	s	秒	55	S	ミリ秒	978	z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time	Z	RFC822 タイムゾーン	+0900
	文字	説明	例																																																										
	G	紀元	西暦																																																										
	y	年	2012,12																																																										
	M	月	07																																																										
	w	年における週	27																																																										
	W	月における週	2																																																										
	D	年における日	189																																																										
d	月における日	10																																																											
F	月における曜日	2																																																											
E	曜日	木																																																											
a	午前/午後	午後																																																											
H	一日における時(0~23)	0																																																											
k	一日における時(1~24)	24																																																											
K	午前 / 午後の時(0~11)	0																																																											
h	午前 / 午後の時(1~12)	12																																																											
m	分	30																																																											
s	秒	55																																																											
S	ミリ秒	978																																																											
z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time																																																											
Z	RFC822 タイムゾーン	+0900																																																											
大文字小文字を区別します。																																																													
●例																																																													
配信もしくはプレビューされた日付を「2012.05.06 西暦」形式で表示します。 [[--Date,pattern:yyyy.MM.dd G--]]																																																													

locale	pattern 文字列の言語設定を指定します。使用可能な値は以下の URL をご確認ください。 ISO Language Code(ISO-639 に定義された小文字二文字コード) http://www.loc.gov/standards/iso639-2/php/English_list.php ISOCountryCode(ISO-3166 に定義された小文字二文字コード) http://www.chemie.fu-berlin.de/diverse/doc/ISO_3166.html
	●予約値 ja : 日本語 en : 英語 ko : 韓国語
	●例 配信もしくはプレビューされた日付を「2012.05.06 AD」形式で表示します。 [[--Date,pattern:yyyy.MM.dd G,locale:en--]]
dday	配信もしくはプレビューされた日付に対して計算します。
	●例 1 週間以内の最新ニュースリリースを表示します。 [[--RecordStart,date1--]][[--Date,dday:-7--]][[--RecordEnd--]] [[--ActionStart,row:*,search:startdate>=[%date1%]--]] [[--ArtTitle--]] [[--ActionEnd--]]

5-8 Time

配信もしくはプレビューされた時刻を表示します。

属性	属性説明																																																												
format	日付表記のフォーマットを指定します。																																																												
	●予約値																																																												
	<table><tr><th>文字</th><th>説明</th><th>例</th></tr><tr><td>%H</td><td>時(24 時間)</td><td>21</td></tr><tr><td>%h</td><td>時(12 時間)</td><td>09</td></tr><tr><td>%M</td><td>分</td><td>24</td></tr><tr><td>%S</td><td>秒</td><td>25</td></tr><tr><td>%p</td><td>午前 / 午後</td><td>午前, 午後</td></tr></table>	文字	説明	例	%H	時(24 時間)	21	%h	時(12 時間)	09	%M	分	24	%S	秒	25	%p	午前 / 午後	午前, 午後																																										
	文字	説明	例																																																										
	%H	時(24 時間)	21																																																										
%h	時(12 時間)	09																																																											
%M	分	24																																																											
%S	秒	25																																																											
%p	午前 / 午後	午前, 午後																																																											
大文字小文字を区別します。																																																													
●例																																																													
配信もしくはプレビューされた時刻を「午後 03 時 50 分」形式で表示します。 [[--Time,format:%p %h 時%M 分--]]																																																													
pattern	format 属性より詳細な時間表記が可能です。 Java「java.text.SimpleDateFormat」クラスのフォーマット規則に従います。																																																												
	●予約値																																																												
	<table><tr><th>文字</th><th>説明</th><th>例</th></tr><tr><td>G</td><td>紀元</td><td>西暦</td></tr><tr><td>y</td><td>年</td><td>2012,12</td></tr><tr><td>M</td><td>月</td><td>07</td></tr><tr><td>w</td><td>年における週</td><td>27</td></tr><tr><td>W</td><td>月における週</td><td>2</td></tr><tr><td>D</td><td>年における日</td><td>189</td></tr><tr><td>d</td><td>月における日</td><td>10</td></tr><tr><td>F</td><td>月における曜日</td><td>2</td></tr><tr><td>E</td><td>曜日</td><td>木</td></tr><tr><td>a</td><td>午前 / 午後</td><td>午後</td></tr><tr><td>H</td><td>一日における時(0~23)</td><td>0</td></tr><tr><td>k</td><td>一日における時(1~24)</td><td>24</td></tr><tr><td>K</td><td>午前/午後の時(0~11)</td><td>0</td></tr><tr><td>h</td><td>午前/午後の時(1~12)</td><td>12</td></tr><tr><td>m</td><td>分</td><td>30</td></tr><tr><td>s</td><td>秒</td><td>55</td></tr><tr><td>S</td><td>ミリ秒</td><td>978</td></tr><tr><td>z</td><td>タイムゾーン</td><td>JST,Japan Standard Time</td></tr><tr><td>Z</td><td>RFC822 タイムゾーン</td><td>+0900</td></tr></table>	文字	説明	例	G	紀元	西暦	y	年	2012,12	M	月	07	w	年における週	27	W	月における週	2	D	年における日	189	d	月における日	10	F	月における曜日	2	E	曜日	木	a	午前 / 午後	午後	H	一日における時(0~23)	0	k	一日における時(1~24)	24	K	午前/午後の時(0~11)	0	h	午前/午後の時(1~12)	12	m	分	30	s	秒	55	S	ミリ秒	978	z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time	Z	RFC822 タイムゾーン	+0900
文字	説明	例																																																											
G	紀元	西暦																																																											
y	年	2012,12																																																											
M	月	07																																																											
w	年における週	27																																																											
W	月における週	2																																																											
D	年における日	189																																																											
d	月における日	10																																																											
F	月における曜日	2																																																											
E	曜日	木																																																											
a	午前 / 午後	午後																																																											
H	一日における時(0~23)	0																																																											
k	一日における時(1~24)	24																																																											
K	午前/午後の時(0~11)	0																																																											
h	午前/午後の時(1~12)	12																																																											
m	分	30																																																											
s	秒	55																																																											
S	ミリ秒	978																																																											
z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time																																																											
Z	RFC822 タイムゾーン	+0900																																																											
	大文字小文字を区別します。																																																												

	<ul style="list-style-type: none">●例 配信もしくはプレビューされた時刻を「at 15:51:37 JST」形式で表示します。 [[--Time,pattern:'at' HH:mm:ss z--]]
locale	pattern 文字列の言語設定を指定します。使用可能な値は以下の URL をご確認ください。 ISO Language Code(ISO-639 に定義された小文字二文字コード) http://www.loc.gov/standards/iso639-2/php/English_list.php ISOCountryCode(ISO-3166 に定義された小文字二文字コード) http://www.chemie.fu-berlin.de/diverse/doc/ISO_3166.html
	<ul style="list-style-type: none">●予約値 ja : 日本語 en : 英語 ko : 韓国語
	<ul style="list-style-type: none">●例 配信もしくはプレビューされた時刻を「at 14:50:23 JST」形式で表示します。 [[--Time,pattern:'at' HH:mm:ss z,locale:en--]]

5-9 DayOfWeek

配信もしくはプレビューされた曜日表示します。

属性	属性説明																																																												
pattern	<p>詳細な時間表記が可能です。</p> <p>Java「java.text.SimpleDateFormat」クラスのフォーマット規則に従います。</p> <p>●予約値</p> <table><tr><th>文字</th><th>説明</th><th>例</th></tr><tr><td>G</td><td>紀元</td><td>西暦</td></tr><tr><td>y</td><td>年</td><td>2012,12</td></tr><tr><td>M</td><td>月</td><td>07</td></tr><tr><td>w</td><td>年における週</td><td>27</td></tr><tr><td>W</td><td>月における週</td><td>2</td></tr><tr><td>D</td><td>年における日</td><td>189</td></tr><tr><td>d</td><td>月における日</td><td>10</td></tr><tr><td>F</td><td>月における曜日</td><td>2</td></tr><tr><td>E</td><td>曜日</td><td>木</td></tr><tr><td>a</td><td>午前 / 午後</td><td>午後</td></tr><tr><td>H</td><td>一日における時(0～23)</td><td>0</td></tr><tr><td>k</td><td>一日における時(1～24)</td><td>24</td></tr><tr><td>K</td><td>午前 / 午後の時(0～11)</td><td>0</td></tr><tr><td>h</td><td>午前 / 午後の時(1～12)</td><td>12</td></tr><tr><td>m</td><td>分</td><td>30</td></tr><tr><td>s</td><td>秒</td><td>55</td></tr><tr><td>S</td><td>ミリ秒</td><td>978</td></tr><tr><td>z</td><td>タイムゾーン</td><td>JST,Japan Standard Time</td></tr><tr><td>Z</td><td>RFC822 タイムゾーン</td><td>+0900</td></tr></table> <p>大文字小文字を区別します。</p> <p>●例</p> <p>配信もしくはプレビューされた曜日を「2012/4/6(木)」形式で表示します。</p> <p>[[--DayOfWeek,pattern:yyyy/M/d(E)--]]</p>	文字	説明	例	G	紀元	西暦	y	年	2012,12	M	月	07	w	年における週	27	W	月における週	2	D	年における日	189	d	月における日	10	F	月における曜日	2	E	曜日	木	a	午前 / 午後	午後	H	一日における時(0～23)	0	k	一日における時(1～24)	24	K	午前 / 午後の時(0～11)	0	h	午前 / 午後の時(1～12)	12	m	分	30	s	秒	55	S	ミリ秒	978	z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time	Z	RFC822 タイムゾーン	+0900
文字	説明	例																																																											
G	紀元	西暦																																																											
y	年	2012,12																																																											
M	月	07																																																											
w	年における週	27																																																											
W	月における週	2																																																											
D	年における日	189																																																											
d	月における日	10																																																											
F	月における曜日	2																																																											
E	曜日	木																																																											
a	午前 / 午後	午後																																																											
H	一日における時(0～23)	0																																																											
k	一日における時(1～24)	24																																																											
K	午前 / 午後の時(0～11)	0																																																											
h	午前 / 午後の時(1～12)	12																																																											
m	分	30																																																											
s	秒	55																																																											
S	ミリ秒	978																																																											
z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time																																																											
Z	RFC822 タイムゾーン	+0900																																																											
locale	<p>pattern 文字列の言語設定を指定します。使用可能な値は以下の URL をご確認ください。</p> <p>ISO Language Code(ISO-639 に定義された小文字二文字コード) http://www.loc.gov/standards/iso639-2/php/English_list.php</p> <p>ISOCountryCode(ISO-3166 に定義された小文字二文字コード) http://www.chemie.fu-berlin.de/diverse/doc/ISO_3166.html</p> <p>●予約値</p> <p>ja : 日本語</p> <p>en : 英語</p> <p>ko : 韓国語</p> <p>●例</p> <p>配信もしくはプレビューされた曜日を「Tue」形式で表示します。</p> <p>[[--DayOfWeek,locale:en--]]</p>																																																												

6. アクションフィールドタグ

6-1 ArtFieldName

アクションフィールド名を表示します。

属性	属性説明
field	表示するアクションフィールドの ID を指定します。(必須)
	<ul style="list-style-type: none"> ●例 アクションフィールドの ID が「check」のアクションフィールド名を表示します。 <code>[[--ArtFieldName,field:check--]]</code>
depth	ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●予約語 1 : 自分(子コンテンツ) 2 : 親コンテンツ
	<ul style="list-style-type: none"> ●例 <code>[[--ActionStart,row:*--]]</code> <code>[[--ArtActionStart--]]</code> <code>[[--ArtFieldName,field:check--]]</code> ... 子コンテンツのアクションフィールド名 <code>[[--ArtFieldName,field:check,depth:2--]]</code> ... 親コンテンツのアクションフィールド名 <code>[[--ArtActionEnd--]]</code> <code>[[--ActionEnd--]]</code>
parent	ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●予約語 yes : 使用する
	<ul style="list-style-type: none"> ●例 <code>[[--ActionStart,row:*--]]</code> <code>[[--ArtActionStart--]]</code> <code>[[--ArtFieldName,field:check--]]</code> ... 子コンテンツのアクションフィールド名 <code>[[--ArtFieldName,field:check,parent:yes--]]</code> ... 親コンテンツのアクションフィールド名 <code>[[--ArtActionEnd--]]</code> <code>[[--ActionEnd--]]</code>

6-2 ArtFieldValue

アクションフィールドの値を表示します。

タイプが File / Image の場合はパスを表示します。Boolean タイプの場合、チェックを入れた場合は「T」、チェックを入れない場合は「F」が表示されます。

属性	属性説明
field	表示するアクションフィールドの ID を指定します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●例 アクションフィールドの ID が「check」のアクションフィールド値を表示します。 [[--ArtFieldValue,field:check--]]
length	表示するアクションフィールド値の文字数を制限します。指定した文字数を越えた文字は「 ... 」にまとめられます。 文字列の中に含まれる HTML タグは半角スペース 1 文字に置換された後、さらに連続する半角スペースを 1 文字として文字数をカウントします。
	<ul style="list-style-type: none"> ●例 アクションフィールドの ID が「check」のアクションフィールド値を 20 文字に制限して表示します。 [[--ArtFieldValue,field:check,length:20--]]
depth	ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●予約語 1 : 自分(子コンテンツ) 2 : 親コンテンツ
	<ul style="list-style-type: none"> ●例 [[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtFieldValue,field:check--]] ... 子コンテンツのアクションフィールド値 [[--ArtFieldValue,field:check,depth:2--]] ... 親コンテンツのアクションフィールド値 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]
parent	ArtActionStart の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●予約語 yes : 使用する

	<div>●例</div> <div>[[--ActionStart,row:*--]]</div> <div> [[--ArtActionStart--]]</div> <div> [[--ArtFieldValue,field:check--]]</div> <div> ... 子コンテンツのアクションフィールド値</div> <div> [[--ArtFieldValue,field:check,parent:yes--]]</div> <div> ... 親コンテンツのアクションフィールド値</div> <div> [[--ArtActionEnd--]]</div> <div>[[--ActionEnd--]]</div>
--	--

6-3 ArtFieldImage

Image タイプのアクションフィールドにアップロードした画像ファイルを表示します。

属性	属性説明
field	Image タイプのアクションフィールドの ID を指定します。
	<div>●例</div> <div>アクションフィールドの ID が「af_img」のアクションフィールドにアップロードした 画像ファイルを表示します。</div> <div>[[--ArtFieldValue,field:check--]]</div> <div>[[--ArtFieldImage,field:af_img--]]</div>

6-4 ArtFieldFileNameValue

File / Image タイプのアクションフィールドにアップロードしたファイル名を表示します。

[[--ArtFieldValue--]] タグとは異なり、パスではなくファイル名のみを取得します。同日にアップロードされた同名のファイルについても「ファイル名.拡張子」形式で取得することが出来ます。

属性	属性説明
field	表示するアクションフィールドの ID を指定します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●例 アクションフィールドの ID が「check」のアクションフィールドのファイル名を表示します。 [[--ArtFieldFileNameValue,field:check--]]
depth	ArtActionStat の中で、親コンテンツの情報を表示します。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●予約語 1 : 自分(子コンテンツ) 2 : 親コンテンツ
	<ul style="list-style-type: none"> ●例 [[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtFieldFileNameValue,field:check--]] ... 子コンテンツのアクションフィールドファイル名 [[--ArtFieldFileNameValue,field:check,depth:2--]] ... 親コンテンツのアクションフィールドファイル名 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]
parent	ArtActionStat の中で、親コンテンツの情報を表示します。depth:2 と同様です。 ActionStart / ArtActionStart と組み合わせて使用します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●予約語 yes : 使用する
	<ul style="list-style-type: none"> ●例 [[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtActionStart--]] [[--ArtFieldFileNameValue,field:check--]] ... 子コンテンツのアクションフィールドファイル名 [[--ArtFieldFileNameValue,field:check,parent:yes--]] ... 親コンテンツのアクションフィールドファイル名 [[--ArtActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]

6-5 ArtFieldFileSizeValue

File / Image タイプのアクションフィールドにアップロードしたファイルサイズを表示します。

属性	属性説明
field	表示するアクションフィールドの ID を指定します。
	<ul style="list-style-type: none">●例 アクションフィールドの ID が「 af_img 」のアクションフィールドにアップロードしたファイルサイズを表示します。 <code>[[--ArtFieldFileSizeValue,field:af_img--]]</code>

7. ページング関連タグ

7-1 ArtNext

ストーリーテンプレートで`[[--RangeAction--]]`タグと組合せ（必須）で次のコンテンツのアドレス情報を表示します。

属性	属性説明
なし	<div>●例</div> <pre>[[--RangeActionStart, row:*--]] 次へ [[--RangeActionEnd--]]</pre>
Form	<div>カテゴリにストーリーテンプレートが複数存在する場合、テンプレート番号を指定します。 指定しない場合はテンプレート番号 1 のアドレス情報が表示されます。</div> <div>●例</div> <div>次のコンテンツのテンプレート番号 2 のアドレス情報を表示します。</div> <pre>[[--RangeActionStart, row:*--]] 次へ [[--RangeActionEnd--]]</pre>
Tplid	<div>カテゴリにストーリーテンプレートが複数存在する場合、テンプレート ID を指定します。 指定しない場合はカテゴリの 1 番のテンプレートが指定されます。</div> <div>●例</div> <div>次のコンテンツのテンプレート ID が 1192 のテンプレートのアドレス情報を表示します。</div> <pre>[[--RangeActionStart, row:*--]] 次へ [[--RangeActionEnd--]]</pre>

7-2 ArtNextTitle

ストーリーテンプレートで`[[--RangeAction--]]`タグと組合せ（必須）で次のコンテンツのタイトルを表示します。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 <pre>[[--RangeActionStart, row:*--]] [[--ArtNextTitle--]] [[--RangeActionStart, row:*--]]</pre>
Length	<p>表示する文字の長さを文字数で制限します。指定した文字数を超えた文字は「 ... 」にまとめられます。</p> <ul style="list-style-type: none">●例 <p>次のコンテンツのタイトルを 20 文字に制限して表示します。</p> <pre>[[--RangeActionStart, row:*--]] [[--ArtNextTitle,length:20--]] [[--RangeActionEnd--]]</pre>

7-3 ArtPrev

ストーリーテンプレートで[--RangeAction--]タグと組合せ(必須)で前のコンテンツのアドレス情報を表示します。

属性	属性説明
なし	<p>●例</p> <pre> [--RangeActionStart, row:*--] 前へ [--RangeActionEnd--]</pre>
form	<p>カテゴリにストーリーテンプレートが複数存在する場合、テンプレート番号を指定します。指定しない場合はテンプレート番号 1 のアドレスが表示されます。</p> <p>●例</p> <p>前のコンテンツのテンプレート番号 2 のアドレス情報を表示します。</p> <pre> [--RangeActionStart, row:*--] 前へ [--RangeActionEnd--]</pre>
tplid	<p>カテゴリにストーリーテンプレートが複数存在する場合、テンプレート ID を指定します。指定しない場合はカテゴリの 1 番のテンプレートが指定されます。</p> <p>●例</p> <p>次のコンテンツのテンプレート ID が 1192 のページのアドレス情報を表示します。</p> <pre> [--RangeActionStart, row:*--] 次へ [--RangeActionEnd--]</pre>

7-4 ArtPrevTitle

ストーリーテンプレートで`[[--RangeAction--]]`タグと組合せ(必須)で前のコンテンツのタイトルを表示します。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 <pre>[[--RangeActionStart, row:*--]] [[--ArtPrevTitle--]] [[--RangeActionEnd--]]</pre>
length	<p>表示する文字の長さを文字数で制限します。指定した文字数を超えた文字は「 ... 」にまとめられます。</p> <ul style="list-style-type: none">●例 <p>前のコンテンツのタイトルを 20 文字に制限して表示します。</p> <pre>[[--RangeActionStart, row:*--]] [[--ArtPrevTitle,length:20--]] [[--RangeActionEnd--]]</pre>

7-5 PageNavFirst

ページナビゲーションで最初のページのアドレス情報を表示します。PageNav タグと組み合わせて使用するアクションタグです。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 最初のページへ

7-6 PageNavLast

ページナビゲーションで最後のページのアドレス情報を表示します。PageNav タグと組み合わせて使用するアクションタグです。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 <code>最後のページへ</code>

7-7 PageNavPrev

ページナビゲーションで前のページのアドレス情報を表示します。PageNav タグと組み合わせて使用するアクションタグです。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 前のページへ

7-8 PageNavNext

ページナビゲーションで次のページのアドレス情報を表示します。PageNav タグと組み合わせて使用するアクションタグです。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 次のページへ

7-9 PageNavPrevTerm

ページナビゲーションで分割された、前のタームのアドレス情報を表示します。PageNav タグと組み合わせて使用するアクションタグです。

※ターム：分割されたページをまとめた単位。

PageNav タグで「term:3」と記述を行うと 3 ページが 1Term として扱われます。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 前のタームへ

7-10 PageNavNextTerm

ページナビゲーションで分割された、次のタームのアドレス情報を表示します。PageNav タグと組み合わせて使用するアクションタグです。

※ターム : 分割されたページをまとめた単位。
PageNav タグで「term:3」と記述を行うと 3 ページが 1Term として扱われます。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 次のタームへ

■ 一般タグ

8. カテゴリタグ

8-1 CatID

カテゴリ ID を表示します。

属性	属性説明
なし	<div>●例</div> <div>現在のカテゴリのカテゴリ ID を表示します。</div> <div>[[--CatID--]]</div>
category	表示するカテゴリを指定します。
	<div>●例</div> <div>us_ion カテゴリのカテゴリ ID を表示します。</div> <div>[[--CatID,us_ion--]]</div>

8-2 CatIdSub

最上位カテゴリから指定カテゴリまでのカテゴリ ID のパスを「/」で区切って表示します。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 現在のカテゴリまでの ID をパスで表示します。 [[--CatIdSub--]]
category	カテゴリ ID の表示を開始するカテゴリを指定します。
	<ul style="list-style-type: none">●例 ius_intro カテゴリの「I-ON US/Company/Intro」の ID をパスで表示します。 [[--CatIdSub,ius_intro--]]
skip	skip で指定されたカテゴリまで除外します。複数指定する場合は「;(セミコロン)」を利用して指定します。
	<ul style="list-style-type: none">●例 ius_com カテゴリを省略して ius_intro カテゴリのパスを ius_com を除いて表示します。 [[--CatIdsub,ius_intro,skip:ius_com--]]
separator	区切り文字を指定します。デフォルトは「/」です。
	<ul style="list-style-type: none">●例 ius_intro カテゴリの「I-ON US/Company/Intro」の ID を「>」で区切って表示します。 [[--CatIdsub,ius_intro,separator:>--]]

8-3 CatDirSub

最上位カテゴリから指定カテゴリまでのディレクトリパスを「/」で区切って表示します。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 現在のカテゴリまでのディレクトリパスを表示します。 [[--CatDirSub--]]
category	カテゴリのディレクトリパスの表示を開始するカテゴリを指定します。 属性名は省略可能です。
	<ul style="list-style-type: none">●例 us_intro カテゴリの「I-ON US/Company/Intro」のディレクトリパスを表示します。 [[--CatDirSub,us_intro--]]
skip	skip で指定されたカテゴリまで除外します。複数指定する場合は「;(セミコロン)」を利用して指定します。
	<ul style="list-style-type: none">●例 ius_com カテゴリを省略して ius_intro カテゴリのパスを「I-ON US/Intro」のようにディレクトリパスで表示します。 [[--CatDirsub,ius_intro,skip:ius_com--]]
separator	区切り文字を指定します。デフォルトは「/」です。
	<ul style="list-style-type: none">●例 ius_intro カテゴリの「I-ON US/Company/Intro」のディレクトリパスを「>」で区切って表示します。 [[--CatDirsub,ius_intro,separator:>--]]

8-4 CatSub

現在表示しているページがどのカテゴリに位置するのを確認するために、現在のカテゴリから最上位カテゴリまでを「CatA > CatB > CatC > CatD」形式で表示します（パンくずリスト）。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 現在のカテゴリから最上位カテゴリまでのパスを「CatA > CatB > CatC > CatD」形式で表示します。 [[--CatSub--]]
category	指定したカテゴリから最上位カテゴリまでを表示します。属性名は省略可能です。 <ul style="list-style-type: none">●例 「CatA > CatB > CatC > CatD」というサイトの「CatA」から「CatC」までのリストを表示します。 [[--CatSub,CatC--]]
skip	skip で指定したカテゴリを除外してリストを作成します。複数指定する場合は「;(セミicolon)」で区切ります。 <ul style="list-style-type: none">●例 「CatA > CatB > CatC > CatD」というサイトの「CatB」と「CatC」を除外してリストを表示します。 [[--CatSub,skip:CatB;CatC--]]
separator	リストを表示する際の記号を指定します。 指定しない場合は「>」が使用されます。 <ul style="list-style-type: none">●例 リストの記号を「>」から「/」に変更します。 [[--CatSub,separator:/--]] omi/clothes
style	リンクの <a> タグに追加する文字列を指定します。 <ul style="list-style-type: none">●例 <a> タグに「class="link_red"」を追加します。 [[--Catsub,style:class="link_red"--]]
metaid	カテゴリのメタ情報を使用して、指定したカテゴリから最上位カテゴリまでを表示します。 サイトカテゴリ名に特殊文字を入力する場合、メタ情報に特殊文字を入力して使用することができます。ただし、メタ情報が指定されていないと表示されません。 <ul style="list-style-type: none">●例 メタ情報IDが「subtitle」のカテゴリを表示します。 [[--Catsub, metaid:subtitle--]]
	<p>※注意点</p> <p>メタ情報を使用して、指定したカテゴリから最上位カテゴリまでを表示する場合は、必ず「下位カテゴリを含む」を選択して設定してください。</p> <p>最上位カテゴリのメタ情報IDと同様のメタ情報IDを下位カテゴリに自動で割り振るオプションであり、指定したカテゴリのパス表示のために必要です。</p>

8-5 CatAddress

カテゴリに登録されているリストページの URL を表示します。リンク先のリストテンプレートが存在しないと配信およびプレビューエラーになります。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 現在のカテゴリのリストテンプレートへの URL を表示します。 [[--CatAddress--]]
category	カテゴリ ID を指定します。
	<ul style="list-style-type: none">●例 us_ion カテゴリの URL を表示します。 [[--CatAddress,us_ion--]]
form	URL を表示するリストテンプレートの番号を指定します。 指定しない場合や存在しない番号を指定した場合はテンプレート番号 1 の URL を表示します。
	<ul style="list-style-type: none">●例 リストテンプレート番号 2 の URL を表示します。 [[--CatAddress,form:2--]]
tplid	サイトカテゴリにリストテンプレートが複数存在する場合、テンプレート ID を指定します。 指定しない場合はサイトカテゴリの 1 番のリストテンプレートが指定されます。
	<ul style="list-style-type: none">●例 ID が 1100 のリストテンプレートの URL を表示します。 [[--CatAddress,tplid:1100--]]

8-6 CatTitle

カテゴリ名を表示します。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 現在のカテゴリの名前を表示します。 [[--CatTitle--]]
category	名前を表示するカテゴリを指定します。
	<ul style="list-style-type: none">●例 us_ion カテゴリの名前を表示します。 [[--CatTitle,us_ion--]]

8-7 CountArt

カテゴリに登録されたコンテンツ数を表示します。未使用のアーティクルも含みます。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none"> ●例 現在のカテゴリのコンテンツ数を表示します。 [--CountArt--]
category	コンテンツ数を表示するカテゴリを指定します。
	<ul style="list-style-type: none"> ●例 us_ion カテゴリのコンテンツ数を表示します。 [--CountArt,us_ion--]
below	下位カテゴリのコンテンツも含めて表示します。 関連する下位カテゴリの数が 300 個を超えるような利用は極力控えてください。 下位カテゴリの数が多すぎると、プレビュー・配信のパフォーマンスが低下する可能性があります。below はできるだけ小さい範囲で使用してください。 たとえば最上位のカテゴリから below を指定すると、プレビュー・配信のパフォーマンスが著しく低下することがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●予約値 yes : 使用する
	<ul style="list-style-type: none"> ●例 us_ion カテゴリの下位にある全てのコンテンツ数を表示します。 [--CountArt,us_ion,below:yes---]

8-8 Charset

カテゴリに指定された文字セットを表示します。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 現在のカテゴリの文字セットを表示します。 [[--Charset--]]
category	文字セットを表示するカテゴリを指定します。
	<ul style="list-style-type: none">●例 us_ion カテゴリの文字セットを表示します。 [[--Charset,us_ion--]]

8-9 CatType

カテゴリのタイプ (general, resource, blank) を表示します。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 現在のカテゴリのタイプを表示します。 [[--CatType--]]
category	タイプを表示するカテゴリを指定します。
	<ul style="list-style-type: none">●例 us_ion カテゴリのタイプを表示します。 [[--CatType,us_ion--]]

8-10 CatExp

カテゴリの説明を表示します。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 現在のカテゴリの説明を表示します。 [[--CatExp--]]
category	説明を表示するカテゴリを指定します。
	<ul style="list-style-type: none">●例 us_ion カテゴリの説明を表示します。 [[--CatExp,us_ion--]]

8-11 CatMetaName

カテゴリのメタ情報名を表示します。

属性	属性説明
category	カテゴリを指定します。属性名・カテゴリは省略可能です。カテゴリを省略すると現在のカテゴリを意味します。
	<div>●例</div> <div>us_ion カテゴリに登録されているメタ情報 ID が「check」のメタ情報名を表示します。</div> <div>[[--CatMetaName,us_ion,metaid:check--]]</div>
metaid	メタ情報 ID を指定します。(必須)
	<div>●例</div> <div>現在のカテゴリのメタ情報 ID が「check」のメタ情報名を表示します。</div> <div>[[--CatMetaName,metaid:check--]]</div>

8-12 CatMetaValue

カテゴリのメタ情報値を表示します。

属性	属性説明
category	カテゴリを指定します。属性名・カテゴリは省略可能です。カテゴリを省略すると現在のカテゴリを意味します。
	●例 us_ion カテゴリに登録されているメタ情報 ID が「check」メタ情報を表示します。 [[--CatMetaValue,us_ion,metaid:check--]]
metaid	メタ ID を指定します。(必須)
	●例 現在のカテゴリのメタ情報 ID が「check」のメタ情報値を表示します。 [[--CatMetaValue,metaid:check--]]

8-13 CatMetalImage

カテゴリの Image タイプのメタ情報値を表示します。

属性	属性説明
metaid	Image タイプのメタ ID を指定します。(必須)
	<div>●例</div> <div>Image タイプのメタ情報 ID が「 meta_img」のメタ情報を表示します。</div> <div>[[--CatMetalImage,metaid:meta_img--]]</div>

8-14 CatIndex

カテゴリに対して連番を割り振り、表示します。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 [[--ForCategoryStart,row:*--]] [[--CatIndex--]] hien thi so id con [[--ForCategoryEnd--]]

9. ディレクトリタグ

9-1 RootDir

最上位のディレクトリ情報を表示するときに使用します。[アドミンマネージャ]－[サイトおよびホスト]で指定したサイト URL がディレクトリ情報として生成されます。

属性	属性説明
なし	<div>●例</div> <div></div>

9-2 CurDir

現在のディレクトリ情報を表示するときに使用します。[アドミンマネージャ]－[サイトおよびホスト]で指定したサイト URL と現在のカテゴリまでのディレクトリ情報として生成されます。

属性	属性説明
なし	●例
category	該当カテゴリのパスを表示します。
	●例 カテゴリ ID が us_ion のカテゴリパスを表示します。

9-3 ImgRootDir

ファイルサーバ(イメージサーバ)の最上位のディレクトリ情報を表示するときに使用します。RootDir タグと同じ機能ですが、HTML サーバとイメージなどのファイルサーバが分離されている場合に使用します。
[アドミンマネージャ]－[サイトおよびホスト]で指定したファイルサーバの URL がディレクトリ情報として生成されます。

属性	属性説明
なし	<div>●例</div> <div></div>

9-4 ImgCurDir

ファイルサーバ(イメージサーバ)の現在のディレクトリ情報を表示するときに使用します。CurDir タグと同じ機能ですが、HTML サーバとイメージなどのファイルサーバが分離されている場合に使用します。
[アドミンマネージャ]－[サイトおよびホスト]で指定したファイルサーバの URL と現在のカテゴリまでのディレクトリ情報として生成されます。

属性	属性説明
なし	●例
category	該当カテゴリのパスを表示します。 ●例 カテゴリ ID が us_ion のカテゴリパスを表示します。 [[-ImgCurDir,us_ion--]]

10. その他のタグ

10-1 BreakAction

Action(Start) などの繰り返し処理の途中で明示的に次のコンテンツに切り替える事が可能です。
<table>タグなどと組み合わせて、段落でコンテンツ一覧を表示する際に使用します。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 <pre>[[--BreakAction--]]</pre>
endmessage	<p>次のコンテンツが無い場合に表示する文字列を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none">●例 <p>2 列のテーブルでコンテンツを表示します。 コンテンツ数が奇数の場合、最後に <td></td> を表示します。</p> <pre><table> [[--ActionStart,row:*--]] <tr> <td>[[--ArtTitle--]]</td> [[--BreakAction,endmessage:<td></td>--]] <td>[[--ArtTitle--]]</td> </tr> [[--ActionEnd--]] </table></pre> <p>【注意事項】</p> <p>[[--BreakAction--]] タグが呼び出された時点で [[--Action--]] タグの対象となる アーティクルの処理が全て完了していた場合、[[--BreakAction--]] 以下に指定した内容の 表示は行われませんが、内部的にアクションタグの解釈は行われますので注意してくだ さい。</p> <p>たとえば以下のような記述の場合、[[--Action--]] タグの対象となるアーティクル数が 奇数であったとしても、変数 buf の値は「1」ではなく「2」となります。</p> <ul style="list-style-type: none">●例 <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--Define,name:buf,value:1--]] [[--BreakAction--]] [[--Define,name:buf,value:2--]] [[--ActionEnd--]] [[--Write,name:buf--]]</pre>

10-2 Print

Start と End の間の内容をそのまま表示します。
アクションタグが記述されている場合もそのまま変換せずに表示されます。改行を行っている場合はも、改行は無視されます。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 <pre>[[--PrintStart--]] 表示する内容 [[--PrintEnd--]]</pre>

10-3 PublishOnly

配信時のみ Start と End の間の内容が表示されます。
プログラミングコード等、プレビュー時は表示したくない内容がある場合に使用します。

属性	属性説明
なし	<div>●例</div> <div>[[--PublishOnlyStart--]]</div> <div>配信時のみ表示する内容</div> <div>[[--PublishOnlyEnd--]]</div>

10-4 PreviewOnly

プレビュー時のみ Start と End の間の内容が表示されます。
プレビュー時のみ確認したい内容などに使用します。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 [[--PreviewOnlyStart--]] プレビュー時のみ表示する内容 [[--PreviewOnlyEnd--]]

10-5 DateFormat

文字列を日付書式に変換します。

属性	属性説明																																																												
from to	<p>from : 登録されている日付書式を指定します。</p> <p>to : 表示する日付書式を指定します。</p> <p>Java「java.text.SimpleDateFormat」クラスのフォーマット規則を従います。</p>																																																												
	<p>●予約語</p> <table><tr><th>文字</th><th>説明</th><th>例</th></tr><tr><td>G</td><td>紀元</td><td>西暦</td></tr><tr><td>y</td><td>年</td><td>2012,12</td></tr><tr><td>M</td><td>月</td><td>07</td></tr><tr><td>w</td><td>年における週</td><td>27</td></tr><tr><td>W</td><td>月における週</td><td>2</td></tr><tr><td>D</td><td>年における日</td><td>189</td></tr><tr><td>d</td><td>月における日</td><td>10</td></tr><tr><td>F</td><td>月における曜日</td><td>2</td></tr><tr><td>E</td><td>曜日</td><td>木</td></tr><tr><td>a</td><td>午前 / 午後</td><td>午後</td></tr><tr><td>H</td><td>一日における時(0～23)</td><td>0</td></tr><tr><td>k</td><td>一日における時(1～24)</td><td>24</td></tr><tr><td>K</td><td>午前 / 午後の時(0～11)</td><td>0</td></tr><tr><td>h</td><td>午前 / 午後の時(1～12)</td><td>12</td></tr><tr><td>m</td><td>分</td><td>30</td></tr><tr><td>s</td><td>秒</td><td>55</td></tr><tr><td>S</td><td>ミリ秒</td><td>978</td></tr><tr><td>z</td><td>タイムゾーン</td><td>JST,Japan Standard Time</td></tr><tr><td>Z</td><td>RFC822 タイムゾーン</td><td>+0900</td></tr></table> <p>大文字小文字を区別します。</p> <p>●例</p> <p>Date タイプのアクションフィールド af_datefield にあるデータ「20121030-110534」を「2012/10/30」形式に変換して表示します。</p> <p>[[--DateFormatStart,from:yyyyMMdd-HHmss,to:yyyy/MM/dd--]]</p> <p>[[--ArtFieldValue,field:af_datefield--]]</p> <p>[[--DateFormatEnd--]]</p>	文字	説明	例	G	紀元	西暦	y	年	2012,12	M	月	07	w	年における週	27	W	月における週	2	D	年における日	189	d	月における日	10	F	月における曜日	2	E	曜日	木	a	午前 / 午後	午後	H	一日における時(0～23)	0	k	一日における時(1～24)	24	K	午前 / 午後の時(0～11)	0	h	午前 / 午後の時(1～12)	12	m	分	30	s	秒	55	S	ミリ秒	978	z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time	Z	RFC822 タイムゾーン	+0900
文字	説明	例																																																											
G	紀元	西暦																																																											
y	年	2012,12																																																											
M	月	07																																																											
w	年における週	27																																																											
W	月における週	2																																																											
D	年における日	189																																																											
d	月における日	10																																																											
F	月における曜日	2																																																											
E	曜日	木																																																											
a	午前 / 午後	午後																																																											
H	一日における時(0～23)	0																																																											
k	一日における時(1～24)	24																																																											
K	午前 / 午後の時(0～11)	0																																																											
h	午前 / 午後の時(1～12)	12																																																											
m	分	30																																																											
s	秒	55																																																											
S	ミリ秒	978																																																											
z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time																																																											
Z	RFC822 タイムゾーン	+0900																																																											

locale

表示する日付書式の言語を指定します。
Javaがサポートするlocale情報を使用して表示します。
※ Pattern 属性と共に使用します。

● 主要国のエンコードコード

言語	設定値
韓国語	ko
英語	en
日本語	ja
中国語	zn
ラテン語	la
スペイン語	es
フランス語	tr

●例

現在の日付データ「20121030-110534」を「AM 11:05 (Tue)」形式に英文字で表示します。

[[--DateFormatStart,to:a K:mm (E), Locale:en--]]

[[--Date,pattern:yyyyMMdd-HH:mm:ss--]]

[[--DateFormatEnd--]]

op, opvalue

日付を計算します。
op : 日付を計算する演算子を指定します。
opvalue : 日付計算に必要な演算値(定数)を指定します。
※ 属性、演算子は既存の dateFormat タグと同様です。
(Java「java.text.SimpleDateFormat」クラスのフォーマット規則に従います。)

演算子(op)	演算値(opvalue)	説明
addYears	定数	年に opvalue まで演算
addMonths	定数	月に opvalue まで演算
addDays	定数	日に opvalue まで演算
addHours	定数	時間に opvalue まで演算
addMinutes	定数	分に opvalue まで演算
addSeconds	定数	秒に opvalue まで演算
addWeeks	定数	週に opvalue まで演算

	<div>●例 1</div> <div>現在日付データ「20121030-110534」から年に[-1]まで演算します。</div> <div>[[--DateFormatStart,op:addYears,opvalue:-1--]]</div> <div>[[--Date,pattern:yyyyMMdd-HHmss--]]</div> <div>[[--DateFormatEnd--]]</div> <div>●例 2</div> <div>現在日付データ「20121030-110534」から時間に[+1]まで演算します。</div> <div>[[--DateFormatStart,op:addHours,opvalue:1--]]</div> <div>[[--Date,pattern:yyyyMMdd-HHmss--]]</div> <div>[[--DateFormatEnd--]]</div>
--	---

10-6 SubString

Start / End タグに囲まれた対象文字列を指定した文字数で抜き出します。

属性	属性説明
数字 1~ 数字 2	<p>数字は文字数でカウントします。</p> <p>数字 1 : 表示する値の省略文字数（省略可）</p> <p>数字 2 : 終了位置（省略可）</p> <p>+ (プラス) : 先頭から指定（ただし、「+」の記述は必要なし。）</p> <p>- (マイナス) : 最後から指定</p> <p>~ : 幅を指定（省略可、省略すると 1 文字のみ）</p>
	<p>●例 1 4 文字目から 8 文字目まで</p> <pre>[[--SubstringStart,3~8--]]1234567890[[--SubstringEnd--]]</pre> <p>結果: 45678</p> <p>●例 2 6 文字目から最後まで</p> <pre>[[--SubstringStart,5---]]1234567890[[--SubstringEnd--]]</pre> <p>結果: 67890</p> <p>●例 3 最初から 7 文字目まで</p> <pre>[[--SubstringStart,~7--]]1234567890[[--SubstringEnd--]]</pre> <p>結果: 1234567</p> <p>●例 4 最後から 3 文字目まで</p> <pre>[[--SubstringStart,-3---]]1234567890[[--SubstringEnd--]]</pre> <p>結果: 890</p> <p>●例 5 後ろ 2 文字目を除く</p> <pre>[[--SubstringStart,~-2--]]1234567890[[--SubstringEnd--]]</pre> <p>結果: 12345678</p> <p>●例 6 先頭から 7 文字目</p> <pre>[[--SubstringStart,6--]]1234567890[[--SubstringEnd--]]</pre> <p>結果: 7</p> <p>●例 7 後ろから 4 文字目</p> <pre>[[--SubstringStart,-4--]]1234567890[[--SubstringEnd--]]</pre> <p>結果: 7</p>

10-7 NextCategory

ForCategory (Start) の繰り返しの処理の途中で、明示的に次のカテゴリに移動させます。

属性	属性説明
なし	<div>●例</div> <div>[[--NextCategory--]]</div>
endmessage	<div>次のカテゴリが無い場合に表示する文字列を指定します。</div> <div>●例</div> <div>2 列のテーブルでカテゴリ名を表示します。</div> <div>カテゴリ数が奇数の場合、最後に <td></td> を表示します。</div> <div><table></div> <div> [[--ForCategoryStart,row:4,search:parentId=AAA&&type=general--]]</div> <div> <tr></div> <div> <td>[[--CatTitle--]]</td></div> <div> [[--NextCategory,endmessage:<td></td>--]]</div> <div> <td>[[--CatTitle--]]</td></div> <div> </tr></div> <div> [[--ForCategoryEnd--]]</div> <div></table></div>

10-8 Tplid

テンプレート ID を表示します。

属性	属性説明
category	カテゴリを指定します。
form	カテゴリにテンプレートが複数存在する場合、テンプレート番号を指定します。 指定しない場合はテンプレート番号 1 の ID が表示されます。
	●例 us_ion カテゴリの 2 番目のリストテンプレート ID を表示します。 [[--Tplid,us_ion,form:2--]]
kind	リストテンプレートまたはストーリーテンプレートを指定します。デフォルトは「l」です。
	●予約語 s : ストーリテンプレート l : リストテンプレート
	●例 ストーリーテンプレートの 2 番目のテンプレート ID を表示します。 [[--Tplid,kind:s,form:2--]]

10-9 TplLastUpdateDate

リストテンプレートまたはストーリーテンプレートの最終変更日の情報を表示します。

属性	属性説明																																																												
なし	<div>●例</div> <div>[[--TplLastUpdateDate--]]</div>																																																												
pattern	<div>format 属性より詳細な時間表記が可能です。 Java「java.text.SimpleDateFormat」クラスのフォーマット規則に従います。</div> <div>●予約値</div> <table><thead><tr><th>文字</th><th>説明</th><th>例</th></tr></thead><tbody><tr><td>G</td><td>紀元</td><td>西暦</td></tr><tr><td>y</td><td>年</td><td>2012,12</td></tr><tr><td>M</td><td>月</td><td>07</td></tr><tr><td>w</td><td>年における週</td><td>27</td></tr><tr><td>W</td><td>月における週</td><td>2</td></tr><tr><td>D</td><td>年における日</td><td>189</td></tr><tr><td>d</td><td>月における日</td><td>10</td></tr><tr><td>F</td><td>月における曜日</td><td>2</td></tr><tr><td>E</td><td>曜日</td><td>木</td></tr><tr><td>a</td><td>午前 / 午後</td><td>午後</td></tr><tr><td>H</td><td>一日における時(0～23)</td><td>0</td></tr><tr><td>k</td><td>一日における時(1～24)</td><td>24</td></tr><tr><td>K</td><td>午前 / 午後の時(0～11)</td><td>0</td></tr><tr><td>h</td><td>午前 / 午後の時(1～12)</td><td>12</td></tr><tr><td>m</td><td>分</td><td>30</td></tr><tr><td>s</td><td>秒</td><td>55</td></tr><tr><td>S</td><td>ミリ秒</td><td>978</td></tr><tr><td>z</td><td>タイムゾーン</td><td>JST,Japan Standard Time</td></tr><tr><td>Z</td><td>RFC822 タイムゾーン</td><td>+0900</td></tr></tbody></table> <div>大文字小文字を区別します。</div> <div>●例</div> <div>テンプレートの変更日を「2012,07,04 AD at 12:08:56 PDT」形式で表示します。 [[--TplLastUpdateDate,pattern:yyyy.MM.dd G 'at' HH:mm:ss z--]]</div>	文字	説明	例	G	紀元	西暦	y	年	2012,12	M	月	07	w	年における週	27	W	月における週	2	D	年における日	189	d	月における日	10	F	月における曜日	2	E	曜日	木	a	午前 / 午後	午後	H	一日における時(0～23)	0	k	一日における時(1～24)	24	K	午前 / 午後の時(0～11)	0	h	午前 / 午後の時(1～12)	12	m	分	30	s	秒	55	S	ミリ秒	978	z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time	Z	RFC822 タイムゾーン	+0900
文字	説明	例																																																											
G	紀元	西暦																																																											
y	年	2012,12																																																											
M	月	07																																																											
w	年における週	27																																																											
W	月における週	2																																																											
D	年における日	189																																																											
d	月における日	10																																																											
F	月における曜日	2																																																											
E	曜日	木																																																											
a	午前 / 午後	午後																																																											
H	一日における時(0～23)	0																																																											
k	一日における時(1～24)	24																																																											
K	午前 / 午後の時(0～11)	0																																																											
h	午前 / 午後の時(1～12)	12																																																											
m	分	30																																																											
s	秒	55																																																											
S	ミリ秒	978																																																											
z	タイムゾーン	JST,Japan Standard Time																																																											
Z	RFC822 タイムゾーン	+0900																																																											

format	日付表記のフォーマットを指定します。															
	<div>●予約値</div> <table><tr><th>文字</th><th>説明</th><th>例</th></tr><tr><td>%Y</td><td>年(4文字)</td><td>2012</td></tr><tr><td>%y</td><td>年(2文字)</td><td>12</td></tr><tr><td>%m</td><td>月</td><td>03</td></tr><tr><td>%d</td><td>日</td><td>25</td></tr></table>	文字	説明	例	%Y	年(4文字)	2012	%y	年(2文字)	12	%m	月	03	%d	日	25
	文字	説明	例													
	%Y	年(4文字)	2012													
%y	年(2文字)	12														
%m	月	03														
%d	日	25														
大文字小文字を区別します。																
<div>●例</div> テンプレートの変更日付を「05 月 06 日 2012 年」形式で表示します。 <div>[[--TplLastUpdateDate,format:%m 月%d 日%Y 年--]]</div>																
locale	pattern 文字列の言語設定を指定します。使用可能な値は以下の URL をご確認ください。 <div>ISO Language Code(ISO-639 に定義された小文字二文字コード)<div>http://www.loc.gov/standards/iso639-2/php/English_list.php</div></div> <div>ISOCountryCode(ISO-3166 に定義された小文字二文字コード)<div>http://www.chemie.fu-berlin.de/diverse/doc/ISO_3166.html</div></div>															
	<div>●予約値</div> <div>ja : 日本語</div> <div>en : 英語</div> <div>ko : 韓国語</div>															
	<div>●例</div> テンプレートの変更日を「at 12:08:56 PDT」形式で表示します。 <div>[[--TplLastUpdateDate,Pattern:'at' HH:mm:ss z,locale:en--]]</div>															

10-10 TplKind

タグが作成されたテンプレートがリストテンプレートか、ストーリーテンプレートかを区分します。結果はページに「s」(ストーリーテンプレート)または「l」(リストテンプレート)で表示します。

属性	属性説明
なし	<div>●例</div> <div>[[--TplKind--]]</div>

10-11 Replace

Start / End タグに囲まれた対象文字列の中で、指定された正規表現に一致する全ての部分文字列を置換します。

属性	属性説明
regex to	<p>regex : 対象文字列との一致を判定する正規表現</p> <p>to : 置換文字列</p> <p>正規表現は Java「java.util.regex.Pattern」クラスの構文規則に従います。</p> <p>置換文字列では「\」または「\」はエスケープ文字として扱われます。「\$数値」は先方参照された部分シーケンスを示します。</p> <p>詳細は Java「java.util.regex.Matcher」クラスの仕様に従います。</p>
	<p>●to の予約値</p> <p>#BLANK# : 空文字</p> <p>#SPACE# : 半角スペース</p> <p>#NEWLINE# : 改行 (CR+LF)</p> <p>#TAB# : 水平タブ (\t)</p>
	<p>●例 1</p> <p>「>」を「&gt;」に置換します。</p> <pre>[[--ReplaceStart,regex:>,to:&gt;--]]CatA > CatB[[--ReplaceEnd--]]</pre> <p>●例 2</p> <p>ActionStart タグで生成される文字列に対し、空白文字 (半角スペース、\t、\r、\n) を全て除去します。</p> <pre>[[--ReplaceStart,regex:\s,to:#BLANK#--]] [[--ActionStart,row:*--]] 繰り返し表示する内容 [[--ActionEnd--]] [[--ReplaceEnd--]]</pre> <p>●例 3</p> <p>コンテンツの内容の中で <p> ~ </p> に囲まれた 1 行分を全て
 タグに置き換えて表示します。</p> <pre>[[--ReplaceStart,regex:<p>(.*?)</p>,to:\$1
--]] [[--ArtText--]] [[--ReplaceEnd--]]</pre>
	<p>【注意事項】</p> <p>[[--Replace--]]タグの対象の文字列が非常に多い場合、大量のメモリを使用しメモリ不足のエラーなどが発生する可能性があります。</p> <p>[[--Replace--]]タグの対象を、必要部分のみに絞るなどの注意が必要です。</p>

10-12 Stopwatch

主にアクションタグのデバッグやチューニングのために用意されたタグで、プレビュー開始時点を基準にして、タグが呼び出された時点までに経過した時間を出力します。1 ミリ秒より小さい場合はナノ秒単位となり、「actual time(ns) : 」形式で表示します。1 ミリ秒以上の場合はミリ秒単位となり、「actual time(ms) : 」形式で表示します。

配信時には何も行いません。

属性	属性説明
なし	<div>●例</div> <p>Action タグの前後に Stopwatch を記述し、それぞれの時間を出力します。 この差を求めることで、ActionStart～ActionEnd の部分の処理にどれくらいの時間がかかったのかを計測することができます。</p> <pre>[[--StopWatch--]] [[--ActionStart,row:*--]] ... [[--ActionEnd--]] [[--StopWatch--]]</pre>

10-13 EscapeXml

テンプレート配信時、XML ファイル形式で表示します。

属性	属性説明																		
なし	<div><ul style="list-style-type: none">●例1 テンプレートに入力された内容を配信する時、XMLファイル形式で変換します。 [[--EscapeXmlStart--]] 変換対象になる内容（xml entity 参照） [[--EscapeXmlEnd--]]● 例 2 Start / Endタグにアクションタグを入れて使用することができます。 [[--EscapeXmlStart--]] [[--ArtTitle--]] [[--EscapeXmlEnd--]]</div> <div><ul style="list-style-type: none">● xml entity 注意事項<table><tr><th>Name</th><th>Character</th><th>Code</th></tr><tr><td>quot</td><td>"</td><td>&quot;</td></tr><tr><td>amp</td><td>&</td><td>&amp;</td></tr><tr><td>apos</td><td>'</td><td>&apos;</td></tr><tr><td>lt</td><td><</td><td>&lt;</td></tr><tr><td>gt</td><td>></td><td>&gt;</td></tr></table></div>	Name	Character	Code	quot	"	"	amp	&	&	apos	'	'	lt	<	<	gt	>	>
Name	Character	Code																	
quot	"	"																	
amp	&	&																	
apos	'	'																	
lt	<	<																	
gt	>	>																	

10-14 URLEncoder

Start / End タグに 囲まれた対象文字列を URL Encoding して表示します。
文字列の Encoding 方法はサイトカテゴリで設定された「Encoding 方法」によって変換されます。

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例1 テンプレートに入力された文字列を URL ncoding します。 [[--URLEncoderStart--]] 変換対象になる文字列 [[--URLEncoderEnd--]]●例2 Start/Endタグにアクションタグを入れて使用することができます。 [[--URLEncoderStart--]] [[--ArtTitle--]] [[--URLEncoderEnd--]]

10-15 DynamicInfo

Dynamic サービス情報を表示します。

属性	属性説明
name	表示するDynamic情報を指定します。 属性名、nameは省略可能です。 nameを指定しない場合はDynamic Addressを意味します。

10-16 CurTplid

タグが記述されたテンプレート ID を表示します。

属性	属性説明
なし	●例1 [[--CurTplid --]]

■ 変数タグ

11. 変数タグ

11-1 Define

Start と End の間の内容を変数として宣言します。アクションタグが記述してある場合は、変換せずに文字として宣言されます。アクションタグを解釈しないため、Record タグよりも高速に動作します。

本ドキュメントでは見やすいよう便宜上改行してありますが、実際は変数宣言の際にはタグ間に改行を入れません。改行も文字列の一部とみなされますのでご注意ください。

変数の初期値は空文字(長さが 0 の文字列)となります。

属性	属性説明
name	変数の名前を指定します。
	●例 menu という名前の変数に「変数の値」という値を代入して宣言します。 [[--DefineStart,name:menu--]] 変数の値 [[--DefineEnd--]]
value	変数の値を指定します。
	●例 1 menu という名前の変数に「AAA」という値を代入して宣言します。 [[--DefineStart,name:menu,value:AAA--]][[--DefineEnd--]] ●例 2 menu という名前の変数に「AAA」という値を代入して宣言します。 このとき Start / End は省略できます。 [[--Define,name:menu,value:AAA--]]
update	変数を更新するかどうかを指定します。
	●データ値の予約語 yes : 同じ名前の変数がすでに存在する場合上書きします。(デフォルト) no : 同じ名前の変数がすでに存在する場合上書きしません。
	●例 2 つ目の Define で宣言した値は 1 つ目の Define で宣言した値を上書きしません。 [[--DefineStart,name:menu--]] 変数の値 1 [[--DefineEnd--]] [[--DefineStart,name:menu,update:no--]] 変数の値 2 [[--DefineEnd--]] [[--Write,name:menu--]] ... 「変数の値 1」が表示される

write	変数の宣言と同時に変数の値を表示するか指定します。
	●予約値 yes : 宣言と同時に表示します。 no : 宣言のみを行います。(デフォルト)
	●例 宣言した値が宣言と同時に表示されます。 [[--DefineStart,name:menu,write:yes--]] 変数の値 [[--DefineEnd--]]

11-2 Record

Start と End の間の内容を変数として宣言します。アクションタグが記述されている場合は変換された内容が変数として宣言されます。

本ドキュメントでは見やすいよう便宜上改行してありますが、実際は変数宣言の際にはタグ間に改行を入れません。改行も文字列の一部とみなされますのでご注意ください。

変数の初期値は空文字(長さが 0 の文字列)となります。

属性	属性説明
name	変数の名前を指定します。
	●例 menu という名前の変数に <code>[[--ArtTitle--]]</code> の結果を代入して宣言します。 <code>[[--RecordStart,name:menu--]]</code> <code>[[--ArtTitle--]]</code> <code>[[--RecordEnd--]]</code>
value	変数の値を指定します。 Define タグの value 属性と同一です。
	●例 1 menu という名前の変数に「AAA」という値を代入してを宣言します。 <code>[[--RecordStart,name:menu,value:AAA--]][[--RecordEnd--]]</code> ●例 2 menu という名前の変数に「AAA」という値を代入してを宣言します。 このとき Start / End は省略できます。 <code>[[--Record,name:menu,value:AAA--]]</code>
update	変数を更新するかどうかを指定します。
	●データ値の予約語 yes : 同じ名前の変数がすでに存在する場合上書きします。(デフォルト) no : 同じ名前の変数がすでに存在する場合上書きしません。 ●例 2 つ目の Record で宣言した値は 1 つ目の Record で宣言した値を上書きしません。 <code>[[--RecordStart,name:menu--]]</code> <code>[[--ArtTitle,id:20--]]</code> <code>[[--RecordEnd--]]</code> <code>[[--RecordStart,name:menu,update:no--]]</code> <code>[[--ArtTitle,id:40--]]</code> <code>[[--RecordEnd--]]</code> <code>[[--Write,name:menu--]]</code> ... アーティクル ID「20」のタイトルが表示される
write	変数の宣言と同時に変数の値を表示するか指定します。
	●予約値 yes : 宣言と同時に表示します。 no : 宣言のみを行います。(デフォルト)

	<div>●例</div> <div>宣言した値が表示されます。</div> <div>[[--RecordStart,name:menu,write:yes--]]</div> <div>[[--ArtTitle--]]</div> <div>[[--RecordEnd--]]</div>
--	--

11-3 Write

変数の値を表示します。

属性	属性説明
name	変数の名前を指定します。
	●例 menu という名前の変数の値を表示します。 [[--Write,name:menu--]]
action	変数の値にアクションタグが含まれる場合、変換して表示します。
	●予約値 yes : 値を変換します。 no : 値を変換しません。(デフォルト)
	●例 menu という名前の変数の値に格納された [[--ArtTitle--]] という文字列を アクションタグとして変換し表示します。 [[--DefineStart,name:menu--]][[--ArtTitle--]][[--DefineEnd--]] [[--Write,name:menu,action:yes--]]

11-4 Remove

変数を削除します。

属性	属性説明
name	削除する変数の名前を指定します。
	<div>●例</div> <div>menu という名前の変数を削除します。</div> <div><code>[[--Remove,name:menu--]]</code></div>

11-5 アクションタグ内での変数呼び出し

変数で指定した内容をアクションタグの記述内で呼び出します。

属性	属性説明
[%変数名%]	変数に格納されている値を展開します。 変数の展開はアクションタグの解析が実行される前に行われます。 変数展開が可能な箇所については、『VI. 変数の値が展開できるアクションタグ』の項目を参照してください。
	<p>●例 1</p> <p>現在のカテゴリが「cat1」の場合、カテゴリ名を太字で表示します。[%current_cat%] の部分が変数の値(カテゴリ ID の値)に置き換えられ、「cat1」と等しいかを文字列比較します。</p> <pre>[[--RecordStart,name:current_cat--]][[--CatID--]][[--RecordEnd--]] [[--IfStart,is:[%current_cat%=cat1--]] [[--ThenStart--]] [[--CatTitle--]] [[--ThenEnd--]] [[--IfEnd--]]</pre> <p>●例 2</p> <p>sc_usion と us_com のカテゴリ ID を「 id=」区切りで文字列として変数に格納し、そのまま ForCategory タグの search 属性の条件値として展開します。</p> <pre>[[--DefineStart,name:condition--]]sc_usion id=us_com[[--DefineEnd--]] ... (中略) ... [[--ForCategoryStart,search:id=[%condition%]--]] 繰り返し表示する内容 [[--ForCategoryEnd--]]</pre> <p>これは以下と完全に等価です。</p> <pre>[[--ForCategoryStart,search:id=sc_usion id=us_com--]] 繰り返し表示する内容 [[--ForCategoryEnd--]]</pre>
変数名	変数で指定した内容を呼び出します。変数名を直接指定した場合、変数はアクションタグ実行時に解釈されます。 変数の直接呼び出しが可能な箇所は、If タグのみです。[% %] で変数展開するよりも高速に動作します。
	<p>●例</p> <p>現在のカテゴリが「cat1」の場合、カテゴリ名を太字で表示します。変数「current_cat」の値が「cat1」と等しいかを比較します。</p> <pre>[[--RecordStart,name:current_cat--]][[--CatID--]][[--RecordEnd--]] [[--IFStart,is:current_cat=cat1--]] [[--ThenStart--]] [[--CatTitle--]] [[--ThenEnd--]] [[--IFEnd--]]</pre>

■ ビジュアル編集タグ

テンプレートのプレビュー画面から内容を変更する際に使用するアクションタグです。変更できる内容はコンテンツ・
アーティクル・テンプレートソースになります。ビジュアル編集のタグを記述したテンプレートをプレビューすると、
ツールバーが表示され、その場で情報を変更することができます。
ビジュアル編集の詳細については、『NOREN6_04_User's_Guide_SiteManager』を参照してください。

12. ビジュアル編集タグ

12-1 SourceEditTool

テンプレートのプレビュー画面から、テンプレートソースを変更することができます。

属性	属性説明
なし	<div>●例</div> <div>[[--SourceEditToolStart--]]</div> <div>変更するソースの内容</div> <div>[[--SourceEditToolEnd--]]</div>

12-2 ArticleActionTool

テンプレートのプレビュー画面から、指定しているアートを別のアートのに変更することができます。
アートののカテゴリ・ID を指定する必要があります。

属性	属性説明
category	アートののカテゴリを指定します。(必須)
id	アートのの ID を指定します。(必須)
	<div>●例</div> <div>カテゴリ ID が「us_ion」のアートの ID「1172097」を表示します。</div> <div>[[--ArticleActionToolStart,category:us_ion,id:1172097--]]</div> <div>表示する内容</div> <div>[[--ArticleActionToolEnd--]]</div>

12-3 ArticleEditTool

テンプレートのプレビュー画面から、特定のコンテンツ情報を変更したり、アーティクルの設定値を変更することができます。

属性	属性説明
なし	<div>●例</div> <div>[[--ArticleEditToolStart--]]</div> <div>表示する内容</div> <div>[[--ArticleEditToolEnd--]]</div>

■ コンポーネント

13. コンポーネント

13-1 コンポーネント ID 指定呼び出し

コンポーネント ID を直接アクションタグとして記述した場合は、そのコンポーネントを呼び出します。
ただし、『Ⅶ. コンポーネント ID の予約語』に記載されているコンポーネント ID については指定できません。

また、以下の文字が含まれる属性名 / 値はアクションタグで誤って認識するため、コンポーネントで使用することはできません。

<> = () ! && || , ; []

属性	属性説明
なし	<ul style="list-style-type: none">●例 コンポーネント ID「cmp_menu」のコンポーネントを呼び出します。 [[--cmp_menu--]]
parameter	<p>コンポーネントを呼び出す際の引数を「引数名=値」の形式で指定します。 複数の引数を指定したい場合は、「; (セミコロン)」で区切ります。 呼び出されたコンポーネントでは、引数名を変数として扱うことができます。 変数のスコープは「template」です。 属性名は省略可能です。</p> <ul style="list-style-type: none">●例 1 引数を 1 つ渡して、コンポーネント ID「cmp_menu」のコンポーネントを呼び出します。 属性名を省略します。 【呼び出し元】 [[--cmp_menu,arg1=us_ion--]] 【コンポーネント cmp_menu】 [[--Write,name:arg1--]] [[--CatAddress,category:[%arg1%]--]] <ul style="list-style-type: none">●例 2 引数を 2 つ渡して、コンポーネント ID「cmp_list」のコンポーネントを呼び出します。 【呼び出し元】 [[--cmp_list,parameter:arg1=us_ion;arg2=test--]] 【コンポーネント cmp_list】 [[--ActionStart,category:[%arg1%],search:subject=[%arg2%]--]] 繰り返し表示する内容 [[--ActionEnd--]]

13-2 Custom

コンポーネントを呼び出します。
呼び出すコンポーネントを動的に変更したい場合に使用します。

属性	属性説明
tag	<p>呼び出すコンポーネントの ID を指定します。</p> <p>●例 1 コンポーネント ID「cmp_menu」のコンポーネントを呼び出します。 [[--Custom,tag:cmp_menu--]]</p> <p>●例 2 変数の値に応じて呼び出すコンポーネントを切り替えます。 cmp_menu1, cmp_menu2, cmp_menu3 のコンポーネントを順次呼び出します。 [[--ForStart,name:index,from:1,to:3--]] [[--Custom,tag:cmp_menu[%index%]--]] [[--ForEnd--]]</p>
parameter	<p>コンポーネントを呼び出す際の引数を「引数名=値」の形式で指定します。 複数の引数を指定したい場合は、「; (セミコロン)」で区切ります。 呼び出されたコンポーネントでは、引数名を変数として扱うことができます。変数のスコープは「template」です。 属性名は省略可能です。</p> <p>●例 1 引数を 1 つ渡して、コンポーネント ID「cmp_menu」のコンポーネントを呼び出します。 属性名を省略します。 【呼び出し元】 [[--Custom,tag:cmp_menu,arg1=us_ion--]] 【コンポーネント cmp_menu】 [[--Write,name:arg1--]] [[--CatAddress,category:[%arg1%]--]]</p> <p>●例 2 引数を 2 つ渡して、コンポーネント ID「cmp_list」のコンポーネントを呼び出します。 【呼び出し元】 [[--Custom,tag:cmp_list,parameter:arg1=us_ion;arg2=test--]] 【コンポーネント cmp_list】 [[--ActionStart,category:[%arg1%],search:subject=[%arg2%]--]] 繰り返し表示する内容 [[--ActionEnd--]]</p>

V. NOREN6 CS で追加されたアクションタグ・属性・予約語・演算子

以下のアクションタグ・属性・予約後・演算子が追加されました。詳細は各タグの説明をご確認ください。

1. ArtFieldFileSizeValue タグ

File / Image タイプのアクションフィールドにアップロードしたファイルの容量を取得するタグが追加されました。

* 使用方法は該当のタグを参照してください。

2. URLEncoder タグ

コンテンツを配信する場合に、サイトカテゴリのキャラセットを利用して文字列をエンコードできるタグが追加されました。

* 使用方法は該当のタグを参照してください。

3. EscapeXml タグ

HTML・XML などの出力で文字を実体参照に変換したり、特定の文字をエスケープするタグが追加されました。

* 使用方法は該当のタグを参照してください。

4. ForTemplate タグ

指定されたサイトカテゴリの、テンプレート ID・テンプレート名・種類(list / story)・最終変更日・テンプレートの URL を取得するタグが追加されました。

* 使用方法は該当のタグを参照してください。

5. ArtFieldImage タグ

アクションフィールドにアップロードした画像ファイルを表示するタグを追加しました。

* 使用方法は該当のタグを参照してください。

6. CatMetaImage タグ

Image タイプのメタ情報値を表示するタグが追加されました。

* 使用方法は該当のタグを参照してください。

7. Dynamicinfo タグ

Dynamic サービスの情報を表示するタグが追加されました。

* 使用方法は該当のタグを参照してください。

* Dynamic サービスのご利用にはライセンスが必要となります。

8. CurTplid タグ

タグが記述されたテンプレートの ID を表示するタグが追加されました。

* 使用方法は「該当タグを参照してください。

9. countid 属性

全体の件数を任意の変数名に代入できる「countid」属性が追加されました。

* 使用方法は「Action」タグの countid 属性を参照してください。

10. metaid 属性

[[--CatSub--]]タグでサイトカテゴリのメタ情報値を利用できる「metaid」属性が追加されました。

11. locale 属性

表示する日付の言語を指定できる「locale」属性が追加されました。

* 使用方法は「DateFormat」タグの locale 属性を参照してください。

12. op 属性

日付の＋－の計算をするための演算子を指定する「op」属性が追加されました。

* 使用方法は「DateFormat」タグの op 属性を参照してください。

13. opvalue 属性

日付計算に必要な演算値を指定する「opvalue」属性が追加されました。

* 使用方法は「DateFormat」タグの opvalue 属性を参照してください。

14. type 属性

[[--IF--]]タグで「string」または「number」を指定することができる「type」属性が追加されました。

14. If タグの is 属性の演算子(==)

[[--If--]]タグの is 属性に「==(含む)」演算子が追加されました。
search / is 属性ともに、前方・部分・後方一致検索が可能です。

* 使用方法は「IF」タグの is 属性を参照してください。

15. sort 属性の予約語(orerNo)

sort 属性で指定する条件予約語に「orderNo」が追加されました。
[アーティクルの整列]で指定した並びの逆順で整列が可能です。

* 使用方法は「Action」「ForCategory」タグの sort 属性を参照してください。

VI. 変数が展開できるアクションタグ

1. 変数を展開できるアクションタグ

変数を展開し、値を出力可能なアクションタグの属性は以下のとおりです。
これら以外の場所で [%変数名%] のように指定しても効果がないのでご注意ください。

アクションタグ	属性名
Custom	tag
	parameter
Action	category
	search
	sort
	row
	index
ArtAction	sort
	index
RelatedAction	sort
	index
RangeAction	category
	search
	sort
	index
ForTemplate	category
BreakAction	endmessage
ArtAddress	category
	id
	tplid
ArtCatTitle	category
ArtCatAddress	category
	tplid
ArtTitle	length
	category
ArtWriteDate	format
	pattern
	locale
ArtStartDate	format
	pattern
	locale

アクションタグ	属性名
ArtWriteTime	format
	pattern
	locale
ArtStartTime	format
	pattern
	locale
ArtEndDate	format
	pattern
	locale
ArtLastUpdate	format
	pattern
	locale
ArtFieldName	field
ArtFieldValue	field
ArtFieldFileNameValue	field
ArtFieldFileSizeValue	field
ArtNextTitle	length
ArtPrevTitle	length
Charset	category
CatAddress	category
	tplid
CatTitle	category
CatType	category
CatExp	category
CatID	category
CatSub	category
	skip
	separator
	style
CountArt	category
	below

アクションタグ	属性名	アクションタグ	属性名
CurDir	category	Remove	name
ImgCurDir	category	For	name
Date	pattern		in
	format	CatMetaName	category
	locale		metald
	dday	CatMetaValue	category
Time	pattern		metald
	format	CatMetaImage	metald
	locale	Replace	regex
DayOfWeek	pattern		to
	locale	CatIdSub	category
If	exist		skip
	is		separator
PageNavList	curpageformat	CatDirSub	category
	pageformat		skip
	pagediv		separator
ForCategory	search	MultiCatAction	catids
	sort		search
	row		sort
NextCategory	endmessage		row
DateFormat	to		index
	locale	TplId	category
Define	name		kind
	value		pattern
Record	name		locale
	value	TplLastUpdateDate	pattern
Write	name		format
			locate

表 VI-1 :変数を展開できるアクションタグ

VII. コンポーネント ID の予約語

1. NOREN6 CS 内部で予約されているコンポーネント ID の予約語

以下に示すコンポーネント ID は、アクションタグにて「13.1 コンポーネント ID 指定呼び出し」ができない ID として NOREN6 CS 内部で予約されています。

- ・ 末尾が「Start」で終わる ID
- ・ 末尾が「End」で終わる ID
- ・ 予約語一覧に該当する場合

これらのコンポーネント ID を呼び出したい場合は、[--Custom--] タグを使用する必要があります。もし、ID 指定呼び出しを行った場合、エラーが発生したり予期せぬ結果が返ってくる可能性がありますので、ご注意ください。

予約語一覧	
ActionSearch	ICSSNotExist
ArtBreak	ICSSPage
ArtInImage	ICSSParam
ArtNextAction	ICSSQuery
ArtPrevAction	ICSSRangeDate
ArtWapText	ICSSRanking
ChildAction	ICSSSelect
ChildrenArtAction	ICSSSuggest
Emoji	ICSSSynonymity
ForTemplate	ICSSText
FullToHalf	ICSSUrl
ICSS	ImageInArt
ICSSCategory	PageAction
ICSSCheckbox	PageNavValue
ICSSCount	RangeActionSearch
ICSSDate	RelatedArtAction
ICSSEqual	StoryChidInNext
ICSSExist	StoryChidInNextTitle
ICSSField	StoryChildPrev
ICSSIndexCount	StoryChildPrevTitle
ICSSIterate	StoryNext
ICSSIterateBreak	StoryNextTitle
ICSSIterateIndex	StoryPrev
ICSSLabel	StoryPrevTitle
ICSSNavigator	TplName
ICSSNotEqual	

表 VII-1 : NOREN6 CS 内部で予約されているコンポーネント ID の予約語

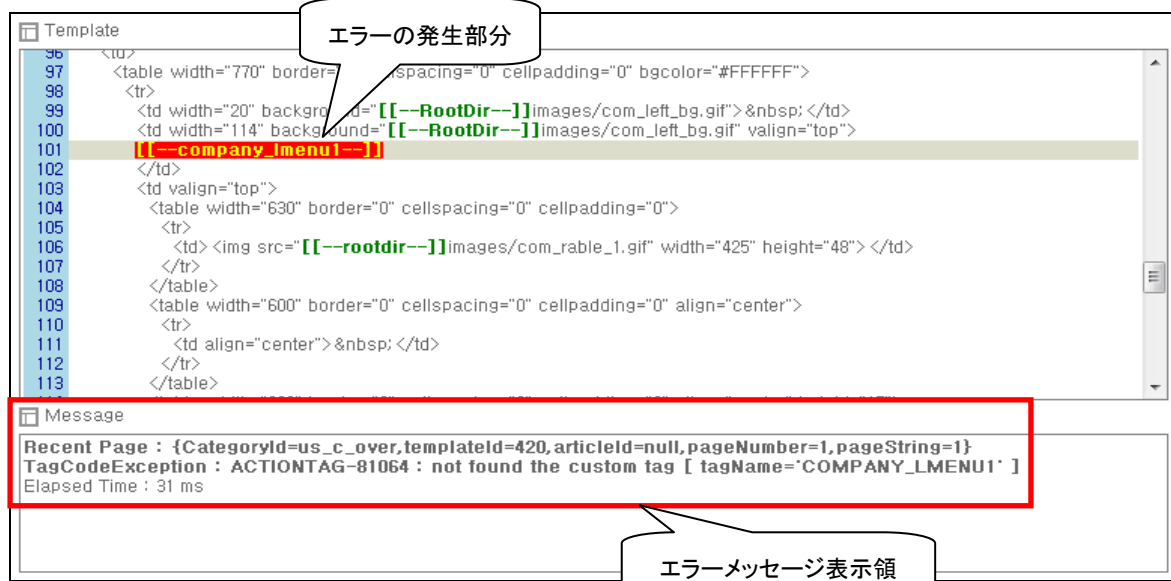
VIII. エラーリファレンス

■ エラーの発生

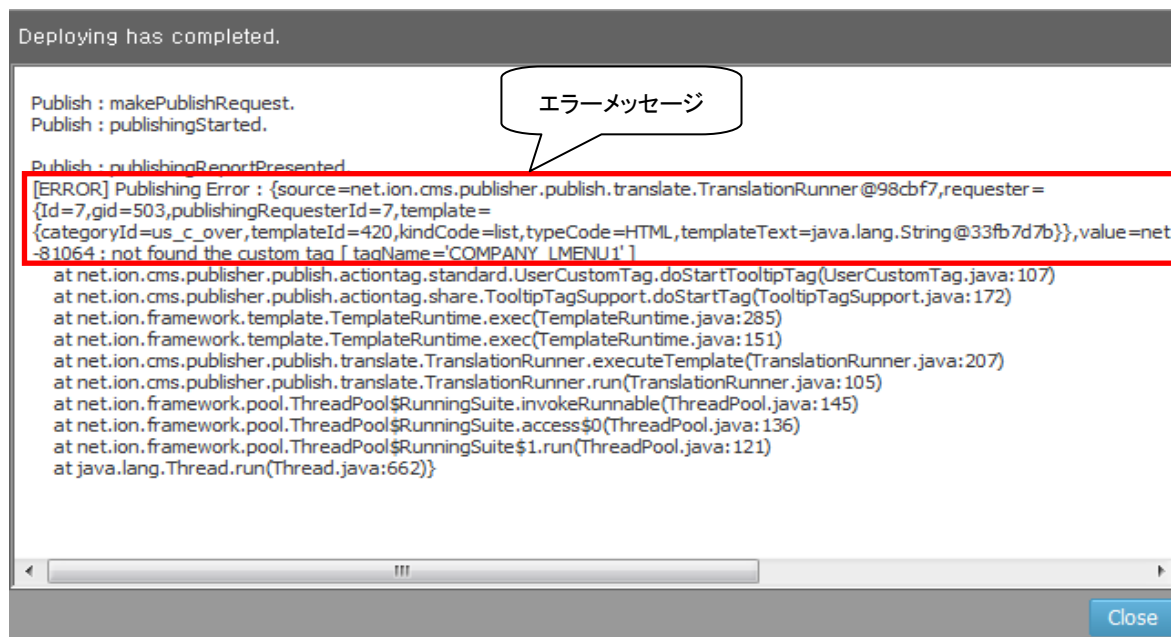
アクションタグを用いたテンプレートをプレビューまたは配信するとき、アクションタグの使い方や記述方法の違いなどによりエラーが発生する場合があります。エラー発生時にはエラーメッセージが出力されますので、メッセージを元に原因を把握することができます。

● 例1

(プレビュー時)



(配信時)



この例ではテンプレート上にて

「**TagCodeException : not found the custom tag [tagName="COMPANY_LMENU1]**」というエラーが発生しています。これは、存在しないコンポーネント「COMPANY_LMENU1」を呼び出そうとして失敗していることを示しています。

テンプレート上ではなく、テンプレートから呼び出したコンポーネント上でもアクションタグのエラーが発生する場合があります。コンポーネント上で発生する場合も同様に、出力されたエラーメッセージから原因を把握することができます。

● 例2

(プレビュー時)

エラーの発生した
コンポーネントのソース

エラーの発生部分

コンポーネントを呼び出した
テンプレートのソース

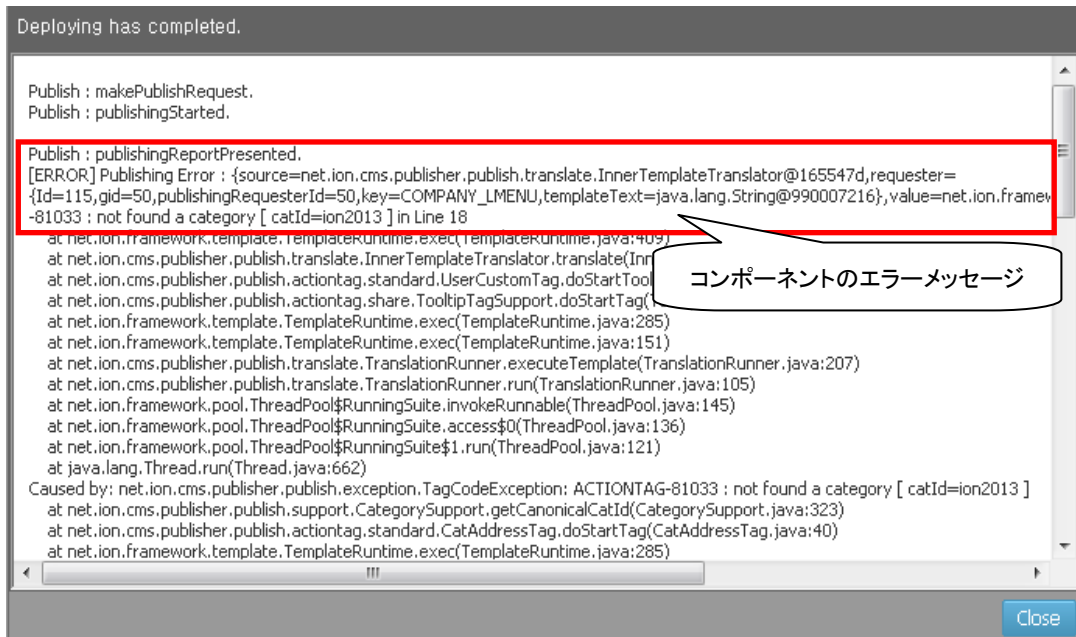
エラーメッセージ表示領域

```
Template
9      <td><a href="[[--CatAddress,us_c_story--]]"></a></td>
10    </tr>
11    <tr>
12      <td><a href="[[--CatAddress,us_c_pr--]]"></a></td>
13    </tr>
14    <tr>
15      <td><a href="[[--CatAddress,ion2013--]]"></a></td>
16    </tr>
17  </table>
18  <td><a href="[[--CatAddress,ion2013--]]"></a></td>
19  </tr>
20  </table>
21

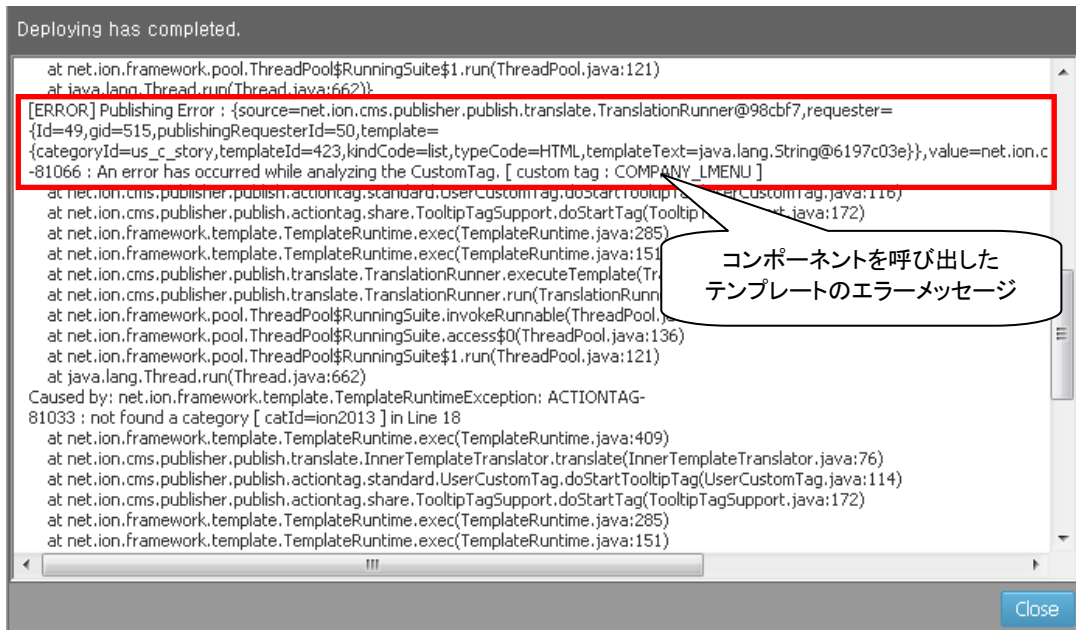
1 <html>
2 <head>
3 <title>+ I-ON Communications + </title>
4 <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=euc-kr">
5 <STYLE type="text/css">
6 BODY { font-family: "tahome", "Arial", "Helvetica", "sans-serif"; font-size: 9pt; text-align: justify; line-height: 12pt}
7 TD {font-family: "tahome", "Arial", "Helvetica", "sans-serif"; font-size: 9pt; line-height: 12pt; color: #000000};
8 INPUT {font-family: "tahome", "Arial", "Helvetica", "sans-serif"; font-size: 9pt; line-height: 13pt; color: #333333};
9 HTML {font-family: "tahome", "Arial", "Helvetica", "sans-serif"; font-size: 9pt; line-height: 13pt; color: #333333};

Message
Recent Page : {CategoryId=us_c_story,templateId=423,articleId=null,pageNumber=1,pageString=1}
TemplateRuntimeException : ACTIONTAG-81033 : not found a category [ catId=ion2013 ] in Line 18
TagCodeException : ACTIONTAG-81066 : An error has occurred while analyzing the CustomTag. [ custom tag : COMPANY_LMENU ]
Elapsed Time : 124 ms
```

(配信時)



... (中略) ...



この例ではコンポーネント上にて

「TemplateRuntimeException : ACTIONTAG-81033 : not found a category [catId=ion2013] in Line 18」というエラーが発生しています。これは、存在しないカテゴリを参照しようとして失敗していることを示しています。

実際にエラーが発生したコンポーネントの情報は上段に、そのコンポーネントを呼び出したテンプレートの情報は下段に記載されます。これにより、エラーを発生させたコンポーネントだけでなく、呼び出し元のテンプレートも特定することができます。

■ エラーの凡例

プレビュー時 メッセージ	<div>①</div> <div>②</div> <div>③</div> <div>④</div> <p>CompilerException : duplicated default attribute at 'id=asc' in Line 1</p>
配信時 メッセージ	<pre>[ERROR] Publisng Error : {source=net.ion.cms.publish.translate.TranslationRunner@1e7bff8,requester= {Id=99,gid=602,publishingRequesterId=100,template= {categoryId=s_ion,templateId=1222,kindCode=list,typeCode=HTML, templateText=java.lang.String@21eae7f} } value=net.ion.framework.template.CompilerException : duplicated default attribute at 'id=asc' in Line 1 ... (中略) ... }</pre> <div>①</div> <div>②</div> <div>③</div> <div>④</div> <div>⑤</div>

- ① エラーの種類を表します。
- ② エラーメッセージです。
- ③ エラーが発生したポイントを表します。
- ④ エラーが発生した行数を表します。
- ⑤ エラーの発生したテンプレートを特定するための情報で、配信時のみ出力されます。
 - ・ categoryId : エラーの発生したテンプレートが存在するサイトカテゴリ ID
 - ・ templateId : エラーの発生したテンプレートの ID
 - ・ kindCode : 該当テンプレートの種類(リスト/ストーリー)
 - ・ typeCode : 該当テンプレートのソースタイプ (HTML, XML, Text, PHP など)

■ エラー 一覧

CompilerException

アクションタグの構造や形式が合っていない、または使用できない属性名・属性値を指定した場合などに発生します。プレビューや配信時に表示されるメッセージと以下の内容を参照し、エラーを修正します。

プレビュー時 メッセージ	CompilerException : duplicated default attribute at 'id=asc' in Line 1
配信時 メッセージ	<pre>[ERROR] Publisng Error : {source=net.ion.cms.publish.translate.TranslationRunner@1e7bff8,requester= {Id=99,gid=602,publishingRequesterId=100,template= {categoryId=s_ion,templateId=1222,kindCode=list,typeCode=HTML, templateText=java.lang.String@21eae7f} } value=net.ion.framework.template.CompilerException : duplicated default attribute at 'id=asc' in Line 1 ... (中略) ... }</pre>
使用例	<pre>[[--ActionStart,row:*,s_ion,id=asc--]] [[--ArtTitle--]]
 [[--ActionEnd--]]</pre>
予想原因	s_ion カテゴリにある ID: 1222 のリストテンプレートの 1 行目において、アクションタグには属性値のみが指定されていて属性名がない。デフォルトの属性名と重複している。
対処例	<p>属性名なしで値のみが指定されている場合、属性名を明示します。</p> <pre>[[--ActionStart,row:*,s_ion,sort:id=asc--]] [[--ArtTitle--]]
 [[--ActionEnd--]]</pre>

プレビュー時 メッセージ	CompilerException : null value at " in Line 1
配信時 メッセージ	<pre>[ERROR] Publisging Error : {source=net.ion.cms.publish.translate.TranslationRunner@695a6a,requester= {Id=126,gid=608,publishingRequesterId=123,template= {categoryId=s_ion,templateId=1222,kindCode=list,typeCode=HTML, templateText=java.lang.String@805ce85c} } value=net.ion.framework.template.CompilerException : null value at " in Line 1 ... (中略) ... }</pre>
使用例	<pre>[[--ActionStart,--]] [[--ArtTitle--]]
 [[--ActionEnd--]]</pre>
予想原因	s_ion カテゴリにある ID: 1222 のリストテンプレートの 1 行目において、アクションタグの属性に値が指定されていない。
対処例	<p>, (カンマ) の後に続けて属性を指定する必要があります。ここでは、カテゴリ ID を入力します。</p> <pre>[[--ActionStart,s_ion--]] [[--ArtTitle--]]
 [[--ActionEnd--]]</pre>

プレビュー時 メッセージ	CompilerException : unknown attribute name at 'test:10' in Line 2
配信時 メッセージ	<pre>[ERROR] Publisging Error : {source=net.ion.cms.publish.translate.TranslationRunner@1e7bff8,requester= {Id=129,gid=609,publishingRequesterId=125,template= {categoryId=s_ion,templateId=1222,kindCode=list,typeCode=HTML, templateText=java.lang.String@8aad6198} } value=net.ion.framework.template.CompilerException : unknown attribute name at 'test:10' in Line 2 ... (中略) ... }</pre>
使用例	<pre>[[--ActionStart,row:*,s_ion--]] [[--ArtTitle,test:10--]]
 [[--ActionEnd--]]</pre>
予想原因	s_ion カテゴリにある ID: 1222 のリストテンプレートの 2 行目において、アクションタグに定義されていない属性が指定されている。
対処例	<p>各アクションタグで定義されている属性を使用するように修正します。ここでは、「test」を「length」に変更します。</p> <pre>[[--ActionStart,row:*,s_ion--]] [[--ArtTitle,length:10--]]
 [[--ActionEnd--]]</pre>

プレビュー時 メッセージ	CompilerException : incorrect tag hierarchy, too much end tag. in Line 4
配信時 メッセージ	<pre>[ERROR] Publisging Error : {source=net.ion.cms.publish.translate.TranslationRunner@d3e679,requester= {Id=134,gid=610,publishingRequesterId=129,template= {categoryId=s_ion,templateId=1222,kindCode=list,typeCode=HTML, templateText=java.lang.String@2d74e2ce} } value=net.ion.framework.template.CompilerException : incorrect tag hierarchy, too much end tag. in Line 4 ... (中略) ... }</pre>
使用例	<pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtTitle--]]
 [[--ActionEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>
予想原因	s_ion カテゴリにある ID: 1222 のリストテンプレートの 4 行目において、対応する Start タグがない状態で End タグが指定されている。Start タグと End タグの構造が合っていない。
対処例	<p>Start タグと End タグはペアで指定される必要があります。End タグを削除するか、適切な位置に Start タグを追加します。</p> <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtTitle--]]
 [[--ActionEnd--]]</pre>

プレビュー時 メッセージ	CompilerException : incorrect tag hierarchy, too few end tag.
配信時 メッセージ	<pre>[ERROR] Publisging Error : {source=net.ion.cms.publish.translate.TranslationRunner@6f9856,requester= {Id=138,gid=612,publishingRequesterId=131,template= {categoryId=s_ion,templateId=1222,kindCode=list,typeCode=HTML, templateText=java.lang.String@30660c2} } value=net.ion.framework.template.CompilerException : incorrect tag hierarchy, too few end tag. ... (中略) ... }</pre>
使用例	<pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtTitle--]]
</pre>
予想原因	s_ion カテゴリにある ID: 1222 のリストテンプレートにおいて、Start タグに対応する End タグがない。Start タグと End タグの構造が合っていない。
対処例	<p>Start タグと End タグはペアで指定される必要があります。適切な位置に End タグを追加します。</p> <pre>[[--ActionStart,row:*--]] [[--ArtTitle--]]
 [[--ActionEnd--]]</pre>

プレビュー時 メッセージ	CompilerException : incorrect tag hierarchy, check the start and end of a tag. in Line 2
配信時 メッセージ	<pre>[ERROR] Publisg Error : {source=net.ion.cms.publish.translate.TranslationRunner@7a1904,requester= {Id=140,gid=613,publishingRequesterId=132,template= {categoryId=s_ion,templateId=1222,kindCode=list,typeCode=HTML, templateText=java.lang.String@74b20963} } value=net.ion.framework.template.CompilerException : incorrect tag hierarchy, check the start and end of a tag. in Line 2 ... (中略) ... }</pre>
使用例	<pre>[[--IfStart--]] [[--ActionEnd--]]</pre>
予想原因	s_ion カテゴリにある ID: 1222 のリストテンプレートの 2 行目において、Start タグと End タグの構造が一致していない。
対処例	Start タグには同じアクションタグ名の End タグが必要です。適切な位置に Start タグと End タグを追加します。 <pre>[[--ActionStart--]] [[--IfStart--]] [[--IfEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>

OperationException

コンパイルが完了したアクションタグに各種属性を適用し、テンプレートを実行する際に発生するエラーです。値の存在可否のチェックや、入力された属性値の演算過程が含まれます。プレビューや配信時に表示されるメッセージと以下の内容を参照し、エラーを修正します。

プレビュー時 メッセージ	OperationException : not support a series of 'ART-' tags without a parent ACTION tag in a non-story template in Line 1
配信時 メッセージ	<pre>[ERROR] Publisg Error : {source=net.ion.cms.publish.translate.TranslationRunner@695a6a,requester= {Id=144,gid=614,publishingRequesterId=135,template= {categoryId=s_ion,templateId=1222,kindCode=list,typeCode=HTML, templateText=java.lang.String@a25e3d75} } value=net.ion.cms.publishOperationException : not support a series of 'ART-' tags without a parent ACTION tag in a non-story template in Line 1 ... (中略) ... }</pre>
使用例	<pre>[[--ArtTitle--]]</pre>
予想原因	s_ion カテゴリにある ID: 1222 のリストテンプレートの 1 行目において、「Art」で始まるタイプのアクションタグをリストテンプレートで使用しているが、[[--Action--]]タグ内に記述されていない。
対処例	リストテンプレートではなくストーリーテンプレートで使します。もしくは、[[--Action--]]タグで囲みます。 <pre>[[--ActionStart--]] [[--ArtTitle--]] [[--ActionEnd--]]</pre>

プレビュー時 メッセージ	OperationException : not found the category 'ion_home' in Line 1
配信時 メッセージ	<pre>[ERROR] Publisng Error : {source=net.ion.cms.publish.translate.TranslationRunner@1e7bff8,requester= {Id=147,gid=615,publishingRequesterId=137,template= {categoryId=s_ion,templateId=1222,kindCode=list,typeCode=HTML, templateText=java.lang.String@7e56b3d0} } value=net.ion.cms.publish.OperationException : not found the category 'ion_home' in Line 1 ...(中略) ... }</pre>
使用例	<pre>[[--ActionStart,row:*,category:ion_home--]] [[--ArtTitle--]]
 [[--ActionEnd--]]</pre>
予想原因	s_ion カテゴリにある ID: 1222 のリストテンプレートの 1 行目において、アクションタグが「ion_home」カテゴリを参照できない。
対処例	サイトカテゴリに ID が「ion_home」のカテゴリを登録します。もしゴミ箱に存在する場合は、ゴミ箱からリカバリーします。

プレビュー時 メッセージ	OperationException : not found the action field 'ion_string' in Line 2
配信時 メッセージ	<pre>[ERROR] Publisng Error : {source=net.ion.cms.publish.translate.TranslationRunner@d3e679,requester= {Id=169,gid=616,publishingRequesterId=158,template= {categoryId=s_ion,templateId=1222,kindCode=list,typeCode=HTML, templateText=java.lang.String@1b2ab3bd} } value=net.ion.cms.publish.OperationException : not found the action field 'ion_string' in Line 2 ...(中略) ... }</pre>
使用例	<pre>[[--ActionStart,row:*,s_ion--]] [[--ArtFieldValue,field:ion_string--]]
 [[--ActionEnd--]]</pre>
予想原因	s_ion カテゴリにある ID: 1222 のリストテンプレートの 2 行目において、アクションタグが参照しているカテゴリ s_ion に対してアクションフィールド ID 「ion_string」が適用されていない。
対処例	アクションフィールドを参照するためには該当のサイトカテゴリにアクションフィールドが適用されている必要があります。未設定の場合は、アクションフィールドを登録・適用します。

プレビュー時 メッセージ	OperationException : not found the 'ION' custom tag in Line 1
配信時 メッセージ	<pre>[ERROR] Publisg Error : {source=net.ion.cms.publish.translate.TranslationRunner@d13a01,requester= {Id=175,gid=617,publishingRequesterId=162,template= {categoryId=s_ion,templateId=1223,kindCode=story,typeCode=HTML, templateText=java.lang.String@8bfea448} } value=net.ion.cms.publish.OperationException : not found the 'ION' custom tag in Line 1 ...(中略) ... }</pre>
使用例	[[--ion--]]
予想原因	s_ion カテゴリにある ID: 1223 のストーリーテンプレートの 1 行目において、「ion」という ID を持つコンポーネントが参照できない。
対処例	[共通メニュー]－[コンポーネント]タブより、コンポーネント ID「ion」を登録します。

プレビュー時 メッセージ	OperationException : not found a template. catId=s_ion,form=0 in Line 1
配信時 メッセージ	<pre>[ERROR] Publisg Error : {source=net.ion.cms.publish.translate.TranslationRunner@19b800a,requester= {Id=202,gid=656,publishingRequesterId=196,template= {categoryId=s_ion,templateId=1223,kindCode=story,typeCode=HTML, templateText=java.lang.String@1cc62a7} } value=net.ion.cms.publish.OperationException : not found a template. catId=s_ion,form=0 in Line 1 ...(中略) ... }</pre>
使用例	[[--CatAddress,s_ion,tplId: 1223--]]
予想原因	s_ion カテゴリにある ID: 1223 のストーリーテンプレートの 1 行目において、s_ion カテゴリにリストテンプレートが存在しない。
対処例	該当のサイトカテゴリにリストテンプレートを登録します。

プレビュー時 メッセージ	OperationException : not found a story template. catId=s_ion,form=0 in Line 2
配信時 メッセージ	<pre>[ERROR] Publisng Error : {source=net.ion.cms.publish.translate.TranslationRunner@6f9856,requester= {Id=179,gid=618,publishingRequesterId=166,template= {categoryId=s_ion,templateId=1222,kindCode=list,typeCode=HTML, templateText=java.lang.String@5b68cfb4} } value=net.ion.cms.publish.OperationException : not found a story template. catId=s_ion,form=0 in Line 2 ... (中略) ... }</pre>
使用例	<pre>[[--ActionStart,row:*,category:s_ion--]] [[--ArtAddress--]]
 [[--ActionEnd--]]</pre>
予想原因	s_ion カテゴリにある ID: 1222 のリストテンプレートの 2 行目において、s_ion カテゴリのストーリーテンプレートが存在しない、または URL リンクを参照できない。
対処例	該当のサイトカテゴリにストーリーテンプレートを登録します。または、該当のサイトカテゴリにあるアーティクルに対して[URL リンク]を設定します。

プレビュー時 メッセージ	OperationException : incorrect IS condition. in Line 2
配信時 メッセージ	<pre>[ERROR] Publisng Error : {source=net.ion.cms.publish.translate.TranslationRunner@3d967d,requester= {Id=214,gid=657,publishingRequesterId=207,template= {categoryId=s_ion,templateId=1222,kindCode=list,typeCode=HTML, templateText=java.lang.String@c4d264c4} } value=net.ion.cms.publish.OperationException : incorrect IS condition. in Line 2 ... (中略) ... }</pre>
使用例	<pre>[[--ActionStart,row:*,s_ion--]] [[--IfStart,is:af_string=title --]] [[--ThenStart--]]True[[--ThenEnd--]] [[--ElseStart--]]False[[--ElseEnd--]] [[--IfEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>
予想原因	s_ion カテゴリにある ID: 1222 のリストテンプレートの 2 行目において、[[--If--]] タグの is 属性に指定した値や条件が間違っている。
対処例	<p>[[--If--]] タグの is 属性の値や条件を確認し、適切に修正する必要があります。この例では、演算子 の後に続く条件がないことが原因です。演算子 を削除するか、続く条件を入力します。</p> <pre>[[--ActionStart,row:*,s_ion--]] [[--IfStart,is:af_string=title subject=title--]] [[--ThenStart--]]True[[--ThenEnd--]] [[--ElseStart--]]False[[--ElseEnd--]] [[--IfEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>

プレビュー時 メッセージ	OperationException : not found the value in contexts, name=v_value in Line 2
配信時 メッセージ	<pre>[ERROR] Publisng Error : {source=net.ion.cms.publish.translate.TranslationRunner@e4225c,requester= {ld=225,gid=658,publishingRequesterId=217,template= {categoryld=s_ion,templatelid=1222,kindCode=list,typeCode=HTML, templateText=java.lang.String@b68cae1} } value=net.ion.cms.publish.OperationException : not found the value in contexts, name=v_value in Line 2 ... (中略) ... }</pre>
使用例	<pre>[[--ActionStart,row:*,s_ion--]] [[--IfStart,is:af_string=[%v_value%]--]] [[--ThenStart--]]True[[--ThenEnd--]] [[--ElseStart--]]False[[--ElseEnd--]] [[--IfEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>
予想原因	s_ion カテゴリにある ID:1222 のリストテンプレートの 2 行目において、[% ... %] で展開すべき変数「v_value」が見つからない。
対処例	<p>[% ... %] で変数を展開する場合、その変数はあらかじめ宣言する必要があります。 [[--Define--]] タグまたは [[--Record--]] タグを使用します。</p> <pre>[[--ActionStart,row:*,s_ion--]] [[--RecordStart,name:v_value--]][[--ArtTitle--]][[--RecordEnd--]] [[--IfStart,is:af_string=[%v_value%]--]] [[--ThenStart--]]True[[--ThenEnd--]] [[--ElseStart--]]False[[--ElseEnd--]] [[--IfEnd--]] [[--ActionEnd--]]</pre>

プレビュー時 メッセージ	OperationException : not found the article image data. in Line 1
配信時 メッセージ	<pre>[ERROR] Publisng Error : {source=net.ion.cms.publish.translate.TranslationRunner@d3e679,requester= {ld=235,gid=659,publishingRequesterId=227,template= {categoryld=s_ion,templatelid=1223,kindCode=story,typeCode=HTML, templateText=java.lang.String@ed538af8} } value=net.ion.cms.publish.OperationException : not found the article image data. in Line 1 ... (中略) ... }</pre>
使用例	[[--ArtImage--]]
予想原因	s_ion カテゴリにある ID:1223 のストーリーテンプレートの 1 行目において、参照しているアーティクルにサムネイルが指定されていない。
対処例	<p>参照しているアーティクルに対してサムネイルを登録します。もしくは、[[--If--]] タグの exist 属性を利用して条件分岐します。</p> <pre>[[--IfStart,exist:artimage--]] [[--ArtImage--]] [[--IfEnd--]]</pre>

NOREN Content Server6.1 (Ver6.1.0.5)

Basic ActionTag Guide

初版 : 2015 年 3 月 16 日 発行

作成元 : 株式会社 アイオン

監修 : 株式会社 のれん

発行元 : 株式会社 のれん

Copyright© 2015 NOREN Corporation All rights reserved.
